

会 誌

恵迪

— 第16号 —



平成 28 年

恵迪寮同窓会

会費の納入について

【本会の運営は、あなたの年会費・3,000 円に支えられています。】
【65 歳以上の方の終身会費は 30,000 円です。これを納入されますと以後の会費は免除されます。】

1. 会費納入実績のある方々に、会誌「恵迪」をお送りしています。
2. また、新規卒寮・住所判明の方にも、恵迪寮同窓会の活動状況を知っていただくために会誌「恵迪」をお送りしています。
3. 過去の年度の未納会費については特に請求しませんので、まず**本年度の会費を別添の郵便振替用紙（手数料無料）**でお納めください。
4. 年会費を超えるご納入につきましては、「**支援金**」として受け付けております。同窓会活動の健全運営のため、会員諸兄弟のご理解とご協力をお願いいたします。
5. 郵便振替による払込みの場合の**本会の領収書**は、郵便振替の払込領収書を以てこれに替えさせていただきます。

住所等の変更通知について

【同窓会の健全な運営は、健全な名簿から】
【住所等変更の際は、速やかに同窓会事務局に通知を！】
【不明者の探索に、ご協力を！】

1. 会員宛てに送付する会誌や支部ニュースなどが転居先不明で返送されるケースが多々あります。住所等変更された場合には速やかに同窓会事務局に通知願います。
2. 通知の方法は、以下の二通りあります。
 - ①巻頭綴じ込みの「**住所等変更通知はがき**」に記入し、切手を貼って投函する。
 - ②**同窓会ホームページの「同窓会の登録と変更」**にアクセスして入力・送信する。

<http://www.keiteki-ob.jp/> より、インターネットからの会員登録・変更ができます。必要事項をご記入の上、記入内容をご確認いただき送信してください。
3. 同窓会事務局名簿に登録されている会員数は、現在累計約 9,000 名になりますが、3 割ほどの方が「**現住所不明**」になっています。同期生・先輩・後輩会員の「住所不明」となっている方々の消息をご存知の方は、是非ともお知らせくださいますようご協力をお願い致します。
4. 海外赴任の方は国内連絡先に会誌等を送付させて頂いております。
5. 会員の住所、連絡先など個人情報、同窓会名簿の作成と同窓会活動のお知らせ以外には使用しません。また名簿情報の管理は「**恵迪寮同窓会個人情報保護方針**」に則って適正な管理に努めておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

会誌 恵 迪

(第 16 号)



恵迪 OB のまほろば 北海道開拓の村旧寮舎

恵迪寮同窓会

2015～2016 恵迪寮同窓会グラフィティ

ホームカミングデー 2015 協賛 「文化講演と寮歌の集い」

(平成 27 年 9 月 26 日・クラーク会館)



友情参加の北大交響楽団弦楽四重奏のメンバー

第 13 回 開識社講演会

(同 10 月 28 日・札幌市時計台ホール)



多彩なパフォーマンスでプロ野球審判員の苦楽を語る山崎さん

恵迪寮同窓会東日本大会

(平成 27 年 10 月 3 日・恵比寿ガーデンパレス)



開識社講演会
応援団時代を彷彿とさせる、羽織はかまの正装で講演する加藤秀弘教授



全国から参集した OB で会場もびっしり。
賑やかな雰囲気で終始した大寮歌祭



旧制高校出身者から現寮生まで寮歌を愛する 100 余名が参集した東日本大寮歌祭。

平成 28 年度新年歌始めの会

(1 月 30 日・札幌市中央区氷雪の門)



大谷幹事の発声で「都ぞ弥生」を斉唱



横山会長も夫人とそろって寮歌を合唱



勇ましい応援吹奏団の演奏に元気をもらおう



役員、ご来賓による鏡割り



小樽商大応援団も現役の女性団員からいぶし銀の OB まで友情参加



宴もそろそろ終演。最後は「別離の歌」で来年の元気な再会を誓いあう



藤田副会長ら応援団 OB が登壇すると、ボルテージも急上昇

旧恵迪寮舎で献歌・観花会

(平成 28 年 5 月 14 日・北海道開拓の村)



コブシの花が
満開の中庭で昼食会



20 人を超える参加者の「都ぞ弥生」が旧寮舎に響き渡った

恵迪寮 円山公園観桜会

(平成 28 年 5 月 1 日)



新人団員も
しっかり檄文を
披露した



ジンギスカン鍋を囲みながら OB らと懇談する現寮生

10 年ぶりに ホームページリニューアル



フロント面にクラーク博士像

CD「都ぞ弥生 音楽の風景」 完成、現在発売中



「都ぞ弥生」を
13 種の楽器で
表現。爽やかな
色彩のジャ
ケットに解説
書付き



北大構内の鮮やかな四季や歴史的
建造物が数秒ごとに回転する



OB と北大生が作った「都ぞ弥生」の決定
版。北大交響楽団管弦四重奏の収録風景

恵迪16号もくじ

巻頭言

温故知新／先人の遺訓を未来の糧に……………恵迪寮同窓会会長 横山 清 8

ご挨拶

引継がれるフロンティア精神……………北海道大学総長 山口 佳三氏 10

私たちの恵迪スピリッツ……………恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一 11

「栄えゆく我等が寮」のために……………北海道支部長 内藤 春彦 11

二先輩のご逝去に思うこと……………東日本支部長 坂倉 雅夫 12

恵迪精神の発揚と発信……………西日本支部長 植松 高志 12

寮歌を愛する人の英知と絆の結晶……………CD制作委員長 白浜 憲一 13

特集 CD「都ぞ弥生 音楽の風景」

「都ぞ弥生」の訓え……………第32代応援吹奏団団長 山村 頌太 15

「都ぞ弥生」との出会いに感謝……………元北大邦楽研究会々員 長谷川陽子 16

「都ぞ弥生」の4番はアイヌ語がよく似合う……………千川 浩治 17

クラーク博士の肖像画を描いた男／飯田雄太郎の光と影……………大隈 昭二 19

校歌「永遠の幸」は札幌農学校校歌ではない……………高井 宗宏 24

魂高貴なる者／穴戸昌夫君追悼……………前島 一淑・柴田 俊夫 28

大先輩、安井勉さんを思う……………和 孝雄 29

校史探訪

追悼

郷関録と青春……………奥村 正文 30

恵迪寮で育まれた複眼思考で人生三回……………船越 一幸 35

涯てしなく蒼い空へ……………前島 一淑 37

周期表を覚えて見ませんか……………砂川 隆久 40

果たせなかった再会―福田裕君への想いを込めて……………佐藤 忠昭 44

バンカラ姿でフランスを激走―ボルドー・メドックマラソンに参加して……………栗山 恵二 47

新聞記者から研究者へ―人間復興の視点……………野呂 雅之 50

私の行商人生……………宇治 弘晃 51

「都ぞ弥生」楽節再編の試み……………鍵和田忠男 55

俳句 夜長……………小沢 久弥 59

10年ぶりの進修学寮同窓会―オバンケラの米寿を祝う―……………大橋 香 60

昭和49・50・51年入寮同窓会 支笏の湖に還暦の寮歌を響かせる……………山本 牧 63

「都ぞ弥生」を読売書法展に連続出展―書家、中村光弘さん……………第306期執行委員長 早川 留架君 66

留学生との交流で国際化をめざそう……………平成27年度 寮歌「咲く六華よ」……………作詞 鈴木美奈君 作曲 小松遼貴君 68

同窓会

トピックス

現寮から

文化講演

開識社講演会

「北大ホームカミングデー2015協賛」「有島武郎と北大・恵迪寮」……………北大名誉教授 神谷 忠孝 70

「捕鯨を巡る近年の国際情勢」ICJ国際司法裁判所とIWC国際捕鯨委員会」

……………講師・東京海洋大学大学院教授 加藤 秀弘 73

演題「一途一心の野球道」……………講師・プロ野球審判技術員 山崎 夏生氏 80

イベント案内

平成28年恵迪寮同窓会北海道大会のご案内・文化講演会……………81

恵迪寮同窓会通信

恵迪寮同窓会第13期平成28年度理事会報告……………83

編集後記……………106

*表紙はクラーク博士ゆかりの札幌農学校第2農場モデルバーン
(藤田正一君撮影)

巻頭言



温故知新

先人の遺訓を未来の糧に

恵迪寮同窓会会長

横山

清

(S 31年入寮)

北海道大学が、その前身である札幌農学校として創立され、初代の教頭にW・S・クラーク博士を招聘し開校してから本年を以って丁度140年を迎えるに至りました。

クラーク博士の教えに基づく建学の精神を受け継いでフロンティアスピリット、全人教育、国際性の涵養、そして実学の重視を枢軸として産業の発展を大きく支えてきたことは周知の事実です。20世紀を越えて「スーパーグローバル大学」に選定され世界ランキングの上位を目指す本学は、グローバルリーダーを養成するための新たな取り組みに奔走しています。私達はOBとしての協力、とりわけ恵迪寮同窓会の先輩として今後どの様な視点で考え行動していくべきかをしっかりと定めなければ、我々の存在は単なるアナクロニズムの集団と見做されかねません。

私の恵迪寮入寮時は、北大創基80年の年でした。歴史のある大学だなあ、と深く感動したものでしたが、爾来60年を加えた現在を考えると、現役学生の立場は私達が入学時に遙か彼方に札幌農学校を偲んだ時間軸にあたる訳です。皆が貧しかった時代に寮生活を体験し、大自然を讃えた寮歌を心ゆくまで唱った青春時代を懐かしんでいるだけでは、世代の隔壁が広がる同窓会活動の継続は極めて困難であることは間違いありません。

20年前、ダニエル・ゴールマンの著書「EQこころの知能指数」が刊行され、世界的ベストセラーになりました。「知脳指数(IQ)至上主義ではダメだ、心の知能指数(EQ)をしっかり教えないと大変なことになる」と問題提起がありました。それから今日まで人間の頭脳の働き等についての研究は急速に進み、当時の悲観主義もやや後退したかに思われます。

一方でインターネットやスマートホンに広く深く侵蝕された人々がネット情報に振り回され、ゲームに熱中のあまり、リアルとバーチャル^{現実 仮想}の狭間で混沌の世界に沈む病魔も急増し社会問題になりつつあると言われています。生身の人間同士で

遊んだり喧嘩したりする機会が激減している青少年が、既に親となり、私達の理解の範疇外にあることも強く意識しなければなりません。溢れる情報に追い立てられ、長い文章を読んだり、他人の話をよく聞き、深く考えたり理解する余裕を失いつつある社会の中でどの様に生きていくのか、恵迪寮という共同生活によって得た「こころの知能指数」の恩恵を如何に承継するかが大きな課題です。

さて、世界が大きく変わろうとするこの時、昭和十一年寮歌「嗚呼、茫々の」の作者宍戸昌夫先輩と幽明境を異にする悲報を受けました。百寿にして知能、精神力に些かの衰えもなく永年に亘ってご指導を賜りました。「嗚呼、茫々の」誕生八〇周年記念祭を実現したいと提言し続けてきただけに、残念至極であります。宍戸先輩の生き様こそが、私達が抱えている課題の解答であると理解し、「真の高志」には新旧は無く、茫々の大広野で最先端の技能を英語で学んだ明治時代も「新渡戸カレッジ」の計画をもって世界に羽ばたく平成時代の北大も「高邁たる大志」を貫く人間としての真の生き方と受け止めました。これからは温故知新を胸に秘め、自信を持って終生同窓会活動に尽力する所存です。

最後に宍戸先輩からのお手紙を記載して、心からの敬意と感謝を捧げます。

〈宍戸先生の手紙〉

①「都ぞ弥生」百年記念祭は、盛大裡に滞りなく挙行されましたことは誠に御同慶に堪えない所であり年余の準備、当日の運営に絶大なる努力を賜りました諸兄に衷心より敬意と謝意を表するものであります。

こんな立派な催しは他大学その他、どこに見られることでしょうか。おそらく外に出ていない縁の下の方力持ちのような努力を重ねられた人達がおられたことと推察いたします。そうした蔭の人達のご尽力にも心から感謝いたします。(中略)

中央ローンでの大合唱も素晴らしく、外国語五カ国に翻訳されてそれぞれ高唱されるなど、他のどこにもない、将来とも類をみない快挙というべく世界に誇るべき大事業であったと思います。今後何らかの方法で広く日本中に知らしむべきものであると考えます。北大でこそ出来た快挙であります。(後略)

②(前略) もう札幌へ行く機会も得られないこととて、市内の各所を車で廻り、藻岩山の途中までドライブし山頂に行き、すっかり変わった景観に驚きながら市内の展望を楽しみました。札幌は自作の寮歌に詩ったとおり永遠に「魂のふるさと」です。恵迪寮同窓会の益々の発展を祈念いたします。

敬具

【ご挨拶】



引継がれる フロンティア精神

北海道大学総長 山口 佳三氏

恵迪寮同窓会の皆様には、日頃から本学のためにご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。今年は、これまでにならぬほど雪解けが早く、札幌では例年よりも早い春の訪れとなりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

総長就任以来、学部同窓会や地区等同窓会の様々な機会に出席させていただき、同窓生の母校に寄せる熱い思いを感じております。

その中でも、昨年9月にクラーク会館講堂で行われた、北海道大学ホームカミングデーの「歓迎式典・記念講演会」では、会の締めくくりに、恵迪寮同窓会有志の皆様と呼びかけで、我々役員もステージに上がり、観客席を占めていた大勢の学生、同窓生は席を立つて隣同士で肩を組み、「都ぞ弥生」を斉唱しました。

歌い終えると割れんばかりの拍手に包まれ、会場が一体となったフィナーレを迎え、改めて北大の絆の強さを感じることができました。これからも、寮歌を通じて、本学の教育研究の基本理念である「フロンティア精神」を引継いでいただきたいと思います。

本学では、現代日本学プログラム課程、新渡戸カレッジ及び新渡戸スクールを実施するとともに、分野横断型の三

つの国際大学院（医理工学院、国際感染症学院、国際食資源学院）の平成29年度設置を目指して準備を進めるなど、大学のさらなる国際化を進め、「世界の課題解決に貢献する大学」たることを目指して挑戦し続けております。

また、今年6月には、現在の同窓会に加え、大学の教職員、在学生、さらには保護者などを含めた全ての本学関係者で構成する新たな全学的組織となる「北海道大学校友会エルム」（通称エルム会）が設立されました。本学への支援体制を強化し、新たな協働・連携を創造していきますので、恵迪寮同窓会の皆様にも、是非、ご協力いただきたいと思います。

最後に、北海道大学の良き伝統の証として「都ぞ弥生」が、これからもたくさんの方々の方に歌い継がれるとともに、恵迪寮同窓会が今後も益々実り多く発展されることを祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

[ご挨拶]



私たちの恵迪スピリッツ

恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一
(S 40 年入寮)

クラーク精神の薫陶を受けた歴史上の人物は数多く、彼らの思想や足跡を学ぶことは大切である。戦後であれば札幌農学校第一期生大島正健の影響を受け、1956年に内閣総理大臣になった石橋湛山もその一人である。「少欲を去って、大欲に就く」、「小日本を目指せ」、「社会を明朗ならしむる第一条件は言論の絶対的自由だ」、「言論人として一人でも発言する」など、教養と見識と筋金を欠く今の政治家たちに聞かせたい名言ばかりである。

恵迪寮という「場」で過ごした多感な時間は、今を生きる私たちの心棒にどのような精神を培養したのであろうか。人それぞれで異論もあろうが、最大公約数としていくつか挙げてみる。

- ①民主主義社会における主権者たる一市民としての個の確立。
 - ②一般教養を身につけたリベラルなものの考え方。
 - ③お互いに一人の人間としての存在を認め尊重し合う。
 - ④清く正しく正義を堂々と主張する「be gentleman」の生き方。
 - ⑤強きを挫き、弱い者の側に寄り添う信念を堅持し行動すること。
 - ⑥今を生きる人とその子々孫々までが安心して暮らせる恒久の絶対的平和。
- などなどであるが、恵迪寮出身の市井の人としての生き方の中に、数多くあるであろう無意識の恵迪スピリッツの片鱗を探してみたい。

[ご挨拶]



「栄えゆく我等が寮」のために

北海道支部長 内藤 春彦
(S 40 年入寮)

「都ぞ弥生」の種々の音源による演奏集が完成した。演奏も制作も北大関係者で担い、プロから素人並まで様々なレベルが無報酬で手作りしたものである。皆忙しいスケジュールをやり繰りし、それぞれが北大への熱い思いを込めたものであり、大いに普及したい。

今年には三支部の持ち回りによる大寮歌祭を北海道支部が担当する。寮歌祭は大学からホームカミングデーの中核とも位置付けられており、盛大な集いになることを期待したい。

現寮の建物も30年を経て構造上の問題が生じてきた。修繕問題で大学側と寮生側との意見調整が上手く行っていないと聞く。現在の自宅外通学生の生活問題は昭和の時代とは大きく変わっている。住居費、学費は大幅に値上がりし、仕送りは減額傾向にある。講義・実習の出席管理は厳格でクラブ活動の余裕もなく、アルバイトに大きく時間を割き、卒業後高額の利子付き返済に追われる奨学金受給者も増加している。そんな世知辛い青年期の寮生活でも、同じ屋根の下で協同生活を行い、将来を担う人間達のそれなりのモラトリアム時代としての意義を持つものである。近い将来、改築となる時も「栄えゆく恵迪寮」であるように我が同窓会は活動していかなければならないだろう。

【ご挨拶】



二先輩のご逝去に 思うこと

東日本支部長 坂倉 雅夫
(S 44年入寮)

平成27年は私にとって思い入れの深い先輩お二人の訃報に接した年でした。一人は山中義正氏（S 32入寮・H 27年4月4日逝去、享年76歳）です。私の前任の東日本支部長を2期務められました。普段は穏やかな物腰で、幹事長の私が動き易いように配慮される一方、筋の通った考えを持って支部運営を見事に仕切られ、15年以上共に活動して来た恵迪の「同志」でした。

もうお一人は宍戸昌夫氏（S 11年入寮・H 27年11月26日逝去・享年99歳）で、恵迪寮歌の申し子とも言うべき大先輩です。命日は奇しくも白寿の誕生日でした。氏は恵迪寮寮歌3曲の作詞・作曲者です。その中で「嗚呼茫々の（S 11）の序文・檣陵謳春賦「吾等が三年契る絢爛の……若き日の感激を歌謳はん。」は、ここ半世紀ほど「都ぞ弥生」の前口上として吟ずることが通例となっていますが、宍戸先輩は兼々この前口上を付けて歌うのは、作詞者・横山芳介氏に対して失礼であり「都ぞ弥生」に対してもおこがましいと、時には激昂して抗議しておられました。正しく歌って欲しいと主張するほど「都ぞ弥生」を愛し尊崇の念すらお持ちでした。

先輩のご逝去に際して、我々後進が恵迪精神の発露でもある恵迪寮歌を元気に歌い継ぐ事こそが、亡き先輩方への一番の花むけになるのではないかと改めて思う次第です。

【ご挨拶】



恵迪精神の発揚と発信

西日本支部長 植松 高志
(S 44年入寮)

平成28年度理事会において、同窓会活動の共有基盤として「恵迪精神の伝承」を採択した。理事会の翌日、5時間を「札幌市時計台」で過ごした。1階の展示板を興味深く閲覧した後、演武場の額が掛かる2階では鐘を打つ仕組みの解説を聞いた。1階の図書コーナーには、北海道の開拓をはじめ、札幌農学校や北海道帝国大学、北海道大学、有島武郎や恵迪寮に関する資料が豊富にあった。札幌農学校は、全員が寄宿舎に入り、衣食住は官給、小遣いも与えられ、卒業後は開拓使に奉職することが義務付けられていた。明治40年東北帝国大学農科大学に昇格。農学、農芸化学、林学、畜産学の4学科が設置された。予科生は、星を桜の枝で囲んだ札幌農学校章を引き継いだ。大正7年に北海道帝国大学として独立したが、陸軍北海道大演習で農学部本館に大本営が設置されたこともあり、昭和22年に北海道大学となったのである。

数ある図書の中で「写真で綴る百十有余年、青春の北大恵迪寮」の写真集は多くのことを語りかけてくれた。明治の初めからの歴史をふり返る中で、自治を貫き通してきた寮生の生きざまに「恵迪精神」が浮かび上がってくるような感激を覚えた。

寮歌を愛する人の

英知と絆の結晶

CD制作委員長

白 浜 憲 一

(S40年入寮)

2014年12月、横浜市在住の前島一淑先輩(S31年入寮)から一通の手紙が届いた。「S19年入寮の角幡春雄先輩から自分の葬儀の時には、短調「都ぞ弥生」と「別離の歌」のチェロ演奏で送って欲しいとの私信を頂いた。ついで、北大と関係があるチェロ奏者を探して欲しい」と。これがCD「都ぞ弥生 音楽の風景」制作の発端である。

チェロ奏者探しが始まった。初め北大オケラOBが候補に挙がったが不調に終わり、現役の北大交響楽団員にお願いすることにした。収録準備に入る過程で、レクイエム版だけでなくいろいろな楽器で「都ぞ弥生」を奏でるCDのアイディアが浮かんた。既存の音源として使えるものとしては、ピアノ、口笛、オケラ、オルゴールがある。弦楽器、管楽器、和楽器などほかの楽器を加えることで、これまでとは違った「都ぞ弥生」の音楽の風景が立ち上がるかも知れないと考えた。

我が同窓会の誇り「都ぞ弥生」を広く活かし普及するために、「都ぞ弥生 音楽の風景」、外国語・アイヌ語版、アンビシャス・レクイエムの三種類のCDを制作することを、2015年4月の理事会に提案し決議された。5月に制作委員会を結成し、演奏者の選定・交渉が始まり、収録のた

めのリハーサルなどが計画された。当初、経費を削減するために、東京の川原幸則先輩(S31年入寮)の全面協力で録音と編集などを自賄いで行う予定であったが、先輩の体調不良により、札幌在住の同窓会役員がカバーすることになった。右往左往、試行錯誤の始まりであったが、そこは恵迪寮魂で何とか乗り切ることになる。また、本格的なスタジオで収録するには高額な料金が発生するので、録音場所として、クラーク会館講堂、北大山岳館を選定した。11月にクラーク会館講堂で、弦楽器、吹奏団、尺八・箏の演奏を収録し大きな山を越えた時は、編集の大詰め雑音発覚で、年が明けた2、3月に再収録することになるとは

ついぞ考えてもみなかった。山あり谷ありである。10月の制作委員会、北大出身のプロのギタリスト宮下祥子さんに演奏依頼をすることになった。意外にすんなりと2月であればと快諾。彼女の企画協力により、「音楽の風景」に一つ箔がかった。

明治45年に赤木顕次が紡ぎ出したメロディを、各種楽器によって



奏でるといふ前代未聞の企画「都ぞ弥生 音楽の風景」への挑戦の想いを、CDジャケットの挨拶文に次のように綴った。

『北大恵迪寮歌「都ぞ弥生」は、日本三大寮歌の一つである。歌の要素である歌詞とその音楽で異彩を放つ。歌詞は、美しくも厳しい北の大地の自然と高遠なる誇りと野心に満ちたクラーク精神を八七調八行詩で高らかに歌い上げる。その音楽は、約百年前の時代としては進取の気風に富み、冒頭の三音「レーファ#ーラ」を六回繰り返す西洋音楽の「モチーフ」が登場する。この曲の言葉と音楽の卓越した見事さが、今なお感慨をもつて口伝により時空を超えて歌い継がれる理由である。

音楽は自然と人間によって創り出される。「都ぞ弥生」の五番の「自然の芸術」^{（なつてい）}「樹々を渡る風の音、川のせせらぎの音、浜に押し寄せる波の音、山から湧き立つ雲の音……北海道の美しい春夏秋冬とそこに生きる人々の情景が広がる。自然が奏でる音楽は素晴らしい。

この音楽を様々な楽器の音色に乗せてみると、それぞれの特性が生かされた不思議な「都ぞ弥生」の風景が現れる。人間の声に最も近いといわれるビオラ、口笛は人そのものが楽器、軽快な管楽器、癒しの弦楽器とフルート、叙情あふれる撥弦楽器とオルゴール、多彩な響きを生み出すピアノ、心を和ませる和楽器。人間が創り出す音楽と楽器演奏は、人の心の平安や癒し、歓喜や怒りの感情の機微、明るく前へ進もうとする元氣や勇氣、清く美しい逞しき想像力の世界を掻き立てる。楽器が奏でる音楽もまた素晴らしい。

い。』

「都ぞ弥生」を愛し歌い続ける多くの方々にこの意図が伝わることを願って止まない。

この企画では、北大交響楽団、北大応援吹奏団などの現役学生・恵迪寮生、北大出身の二人のプロ演奏家、口笛奏者柴田晶子さん、ギターリスト宮下祥子さん、阿部純一さん率いる北大アウロラOB会を始めとする楽器を愛好するセミプロ演奏家の皆さんなどの a lofty ambition のDNAが如何なく発揮された。また、寮歌にかける情熱の人前島一淑さん、病を押してCDマスター版制作にご協力いただいた川原幸則さんに敬意と感謝の言葉を送りたい。さらに、学生との折衝や制作工程表作成に時間と労力をかけていただいた野本健・千川浩治副委員長、交響楽団渉外係として同窓会と楽団員の仲介をしてくれた澤田遼さん、連絡が取れ難かった応援吹奏団と根気強いコンタクトの労を厭わなかった大谷文昭さん、録音収録に機器操作の習得と実演に力を割いていただいた氏平増之さん、マスター版の仕上げに技術と時間を費やして頂いた佐藤市雄さん、渾身の気合で題字を書いて頂いた佐藤静珠さん、たくさんの校内写真を提供して頂いた藤田正一さん、ジャケット・チラシ・ポスターを一手に引き受けてくれた吉成久和さん、録音会場としてクラーク会館使用に尽力頂いた北大広報課と北大山岳館の皆さんにこの場を借りて厚くお礼申し上げます。多くの方々の情熱的な参画とオール北大の協力で完成したこの「都ぞ弥生 音楽の風景」が、これからの寮歌の普及と恵迪精神の発揚に繋がることを期待したい。

「都ぞ弥生」の訓え

第32代応援吹奏団团长 山村 頌太

(H24年入寮)

周囲を見るに入学前から「都ぞ弥生」を知っていたという者はほとんどおらず、私自身もそうだった。ところが、恵迪寮に入寮して最初の寮歌指導が「都ぞ弥生」であった。「北大生なら誰もが歌える」という、先輩寮生の上手な言葉に乗せられて、興味深さと必要性を感じて1番を入寮1週間、全番を1か月足らずで覚えたのである。そして「都ぞ弥生」を歌えるようになった我々には、稀有な感動が待っていた。

大都市の様相を見せる札幌の街は「都ぞ弥生」が生まれた当時と情景を大きく変えている。

しかし、北の大地の自然は、都市化には見向きもせず毅然としてやってくる。したがって現在北大で生活する我々は「都ぞ弥生」に描かれた詞の意味するところを体験することになる。とくに私は、横山芳介、赤木顕次両君と同じ農学部に学び、さらに、赤木君とは同じ畜産を専攻しており、幾度も「羊群声なく牧舎に帰る」の情景を見、「牧場の若草陽炎燃え(る)」のように春を感じることができた。境遇は違っても同じ場所ですごす北大生なら似た経験を持つはずだ。5番の後半にある「懐かしみつ」は横山君からすれば、自然に慣れ親しむという意味で使っていると思うが、私は現在の札幌の自然を感じたものと、100年

前の自然を照らし合わせて思いを馳せるという意味で「懐かしみつ」と歌う。

そして最後は他の多くの寮歌に描かれた恵迪寮生として培った感性や矜持を思いながら、「高鳴る血潮のほとばしりもて 尊き野心の訓え培い栄えゆく我等が寮を誇らずや」と歌い終える。この感激は「都ぞ弥生」でしか味わえないものである。

今回、同窓会の誘いで吹奏楽パートに参加させていただき、心から感謝している。

(農学部3年)



力強く「都ぞ弥生」を演奏する応援吹奏団(筆者左端)

「都ぞ弥生」への出会いに感謝

元北大邦楽研究会々員 長谷川 陽子

北大に入ると決まったとたん、北大出身でもない父が意気揚々と「都ぞ弥生」を歌い出したのを覚えております。これが「都ぞ弥生」との出会いでした。

寮歌や校歌といったものは、弾いて歌って楽しい曲というだけでなく、所属する者にとってはアイデンティティとしての存在でもあります。「都ぞ弥生」という曲が誕生して100年目という記念すべき節目に立ち会えたことを、とても幸運に思います。

今回の箏と尺八の演奏では、拙いながら編曲させていただきました。単純な和音に落ちない旋律を、箏と尺八の合奏用に手を加えるのは、難しいながらも楽しい作業でした。編曲通り弾けたかはわかりませんが、アレンジを楽しんで頂ければ幸いです。

恵迪寮の同窓生ではない私を、このような企画に参加させて頂けたことを、有り難く思います。お誘いくださった千川様はじめ、恵迪寮同窓会の皆様はこの場をお借りして感謝を申し上げます。合奏して下さった千川様と生松様には、私の編曲にお付き合いただいたことに、厚く御礼申し上げます。最後に、「都ぞ弥生」と恵迪寮の末永き発展をお祈り申し上げます。

(理学部大学院生命科学研究センター2年)



箏を演奏する長谷川さん



北大交響楽団による弦楽四重奏（北大山岳館）

「都ぞ弥生」の4番は

アイヌ語がよく似合う

千 川 浩 治

(S 40年入寮)

アイヌ語で「都ぞ弥生」を歌うなんてとんでもない、横山芳介君とアイヌの人たちに失礼だと考える方もいると思う。ただ、名寮歌をあらゆる言語で表現することを決めた以上、北海道に最もゆかりのあるアイヌ語版も欠かせないと考えた。私がアイヌ語に興味を持ったきっかけは、昭和40年の北大入試国語古典に出題されたアイヌに関する一章だった。江戸時代に鮭の皮の靴をはいているアイヌ人を、和人が「常に神とあがめている鮭を履き物にするとは」と揶揄すると「おまえ達も米を大切だと言いながら草履としているではないか」と言い返したというエピソードである。その真偽はともかく、さすが北大らしい問題だと感激したことを覚えている。

アイヌ語版の翻訳を誰がアイヌ語に変換するかという問題に直面した。幸い、若いころ軽馬種の獣医師として日高管内に勤務していた時、アイヌ文化や生活向上に生涯をささげた萱野茂さんの知遇を得た。道庁定年後も日高町にある北海道競馬場の手伝いをしている関係で、萱野さんのお弟子さんに当たる平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員の関根健司さんと親しくなり、アイヌ語変換を依頼した。

自然に富むアイヌ語の語彙

1番の冒頭に出てくる「都」については、日高、胆振、釧路管内に居住するアイヌの人達は二風谷、近文、厚岸などのあちこちに大きな集落があり、変換が難しい。恵迪寮を歌いあげている5番もアイヌ語にはなじまない。結局、アイヌ語に変換できるのは自然を謳歌した4番しかないと思った。難題もあった。延齢草、水芭蕉など食用にならない植物(草)の名詞は、萱野編アイヌ語辞典に収録されていなかったが、後に知里真志保編の辞書に載っていることが分かり採用した。

最後の語句「幸多し」haru rana naのranaは知里幸恵さんのアイヌ神謡集「銀の滴降る降るまわりに」に出てくる「降る」である。また、北原白秋の「あめふり」にあるピッチピッチ、チャップチャップ、ランランランのランもそうではないかと言われている。

ranはアイヌ語では佳語であり「都ぞ弥生」は、haru ranaのこの一語に尽きると関根さんもおっしゃっていた。この歌を通して北大生がアイヌ語に接する機会の一助になれば、幸いである。

(第57代応援団長)

都ぞ弥生

haru ran na

アイヌ語版

横山芳介君 作歌

赤木顕次君 作曲

関根健司君 訳歌



ま き ば の わ か く さ か げ ろ う も え て も り に は か つ ら の
 サ ラ キ タ シ ユ ウ ニ ン ワ フ キ ナ ー ト ム ネ ニ タイ ツ ム タ ラ ア ン コ
 saraki ta siwnin wa hukinatome nitay tum ta ranko
 野原（葦原）で 青 そして 青々としている 森 の 中 で 桂



し り ゚ ゅ く き ざ し く も ゆ く ひ ば り に え ん れ い そ う の
 ニー コ ム ヘ ト ク バ チ ャ ラ ン ケ チ カ ッ ボ ニ ソ ロ ベ カ ホ プ ニ
 nikom hetukupa carankecikappo nis or peka hopuni
 木の芽 芽を出す 雲雀 雲 と ころ を 飛ぶ



ま し ろ の は な か げ さ ゆ ら ぎ て た つ い ま こ そ
 エ マ ウ リ ノ ン ノ ー レ タ ラ ワ ？ ヘ チ ラ シ バ ー エ ア シ リ ー
 emawri nonno retar wa heciraspa easir
 延齡草 花 白 い そ し て 咲 く 初 め て



あ ふ れ ぬ せ い わ の ひ か り お が わ の
 ト ノ ンスク シー チェオ マ レ セ ム コ ラ ー ナ イ ト ウ ラ シ ー
 tononsukus cieomare semkoraci nay turasi
 星の日差し 照らされて いるかのように 川 に 沿 っ て （上 手 に）



ほ と り を さ ま よ い ゆ け ば う つ く し
 コ マ ナ ン ワ タ ネ シ イ ポ プ ケ ー ピ リ カ カ ー
 k=omanan wa tane sirpopke pirka
 私・歩き廻る そして 今 暖かい 美しい



か ら ず や さ く み ず ば し ょ う は る の ひ の
 ソ モ キ ヤ ー パ ラ キ ナ ナ ノ ン ノ ー バ イ カ ウ ア ン
 ka somo ki ya parakina nonno paykar an
 ではないか 水芭蕉 花 春である



こ の き た の く に さ ち お お し
 タ ン ヤ ウ モ シ リ ー ハ ル ラ ン ナ ー
 tan Yaunmosir haru ran na
 この 北海道 みのり（食料） 降る よ

クラーク博士の肖像画を描いた男

～飯田雄太郎の光と影

大隈 昭二

(S40年入寮)

〔はじめに〕

昭和6年の開寮から58年の閉寮まで、二代目恵迪寮の食堂に掛っていたクラーク博士の肖像画。この間に在寮したOBならエッセンの度に見慣れた古びた肖像画をご存じであろう。ところが、この肖像画を描いた札幌農学校画学講師・飯田雄太郎が当時の社会思想事件に関わったという理由でわずか2年足らずで農学校を追われ、40歳半ばで早世したことはあまり知られていない。栄光と屈辱を味わいながら学内を転々としてきたクラーク博士肖像画とともに、謎に包まれた薄命画家の数奇な運命を追ってみた。



昨春秋、北大クラーク会館内の恵迪寮同窓会事務局に二人の老紳士が訪れた。画家・飯田雄太郎の実弟、盛敏の直孫に当たる横浜市緑区在住の飯田裕さん(72)と、大阪府高槻市在住の毅さん(69)のご兄弟である。

「我々にとっては本家筋の長男、雄太郎が40代で早逝したため、飯田家には、彼の遺品や写真類はほとんど残っていません。十数年前亡くなった母が遺した手紙や書類を整理しているうちに祖父の兄・雄太郎の存在が分かり、しか

も北大でクラーク博士肖像画を描き残したことに驚きました」。

札幌農学校や恵迪寮の文化・歴史遺産に詳しい高井宗宏特別顧問の案内で、クラーク博士肖像画が掛っている農学研究センター長室(旧農学部長室)に向かった。つい最近まで存在すら知らなかった先祖の一人が画いたクラーク博士の肖像画を二人は、感無量といった面持ちで見入っていた。

兄弟で北大と法政大の代表人物を描く

雄太郎の足跡を追う前に、雄太郎の2歳下の弟・盛敏を紹介する。法政大学の前身、和仏法律学校に学び、恩師の民法学者・ボアソナードの肖像画を描く。彼は後に官界入りし、三重県四日市市長、台湾総督府参事官などを歴任している。

「長男の雄太



祖父の兄、雄太郎が描いたクラーク博士肖像画を見入る飯田裕、毅兄弟(右から)

郎をはじめ、2歳下の二男・盛敏、日露戦争で戦死した三男・清三も画家でした。雄太郎と盛敏兄弟が同じ時期に北大と法政大を代表する偉人像を描いたのも因縁ですね」。二人は画家を多く輩出している飯田家の手書きの家系図を見ながら祖先の偉業に思いを馳せていた。

本題に戻ろう。クラーク博士肖像画を画いた飯田雄太郎は、江戸で道場を開いていた飯田盛孝の長男として慶応2年（1866）に誕生。東京電信学校で数学や英語学のほか、後に洋画界の大御所となる浅井忠に絵画を学び、卒業後通信技師になる。28歳のとき、北海道に渡り1年間、札幌の尋常小学校で教鞭をとった後、明治31年（1898）、札幌農学校予修科及び土木学科画学講師に採用される。

初のクラーク博士肖像画で脚光を浴びる

画学講師というやや地味な存在だった雄太郎に脚光が浴びるのは明治34年、札幌農学校創立25周年記念祝賀会及び卒業式である。黒田清隆開拓使長官像と共に会場の演武場（現在の時計台）2階に掲げるクラーク博士の肖像画を農学校から依頼される。彼はクラーク博士の農学校教頭時代に撮った数枚のモノクロ写真を手本に当時北海道では珍しいフランス直輸入の高級キャンバスにカラフルな油彩絵具を使い1カ月足らずで描き上げる。この時の農学校学芸会雑誌には「錚々たる容貌の威厳あるは学生の心をして濁りたる心も氏の像に接する毎に一種高潔精神を惹起せしむる心地ぞする」と肖像画の出来栄を讃えた記述がある。

植物画家としても超一流

さらにこの頃、飯田は予科の教え子、川上瀧彌・森廣両君が編集した自然観察・研究の植物図鑑「はな」Ⅱ1903年（明治36）裳華房発行Ⅱに洋画家の第一人者、藤島武二画伯、植物学者・牧野富太郎博士とともに石版画「薔薇」を投稿している。

ところが、画家としての栄光もわずか2年余り、1904年2月29日、農学校から突然、解雇を言い渡される。この件について、当時の農学校生、川嶋一郎君が書いた日記に次のような記述がある。

「昨日頃の北鳴（新報）に飯田雄太郎氏の不敬とか不忠事件とかの記事あり、時節柄愛国者のご機嫌にさわりしものなるべけれど、直ちに露探の名を以てし、警察も聞き捨てならずと取り調べ中とは噴飯の到りなり」（明治37年2月28日付け）

さらに3日後に「飯田雄太郎君免職になりしとか、曲学



植物図鑑「はな」に収録されている飯田の薔薇図

阿世の徒よ、吾れは會て汝を思慮ある基督教徒、品性ある紳士としたりき然るに何事ぞ世界人道の大義をとりて平和博愛を唱うる之の弱き一義人をなやむる「後略」(同年3月3日付け)とある。

当時の川嶋氏はトルストイの崇拜者で、平和主義や日露戦争に対する非戦論を支持し、雄太郎の処分に強い憤りを感じている。

日露戦争で非戦論を支持、免職に

川嶋一郎日記をまとめた北大法学部教授の松澤弘陽氏は、後に論文の中で「日記を通読して札幌農学校当局が、教師の飯田雄太郎を学内外に渦巻いていた非戦論を理由に解雇したのだろう。大学史関係の資料で接したことがなく、誰にも聞いたことのない事実を知って驚いた」と日記の重要性を評価している。

当然ながら、札幌農学校にも、飯田の履歴、業績を示した文書、写真類はいつさい残っていない。

クラーク博士と黒田長官の肖像画は25周年記念式以後、しばらく時計台講堂に掲示されていたようだが、明治36年、農学校が現在の農学部周辺に全面移転すると同時に、落成した図書館集會室に移設された。ところが、クラーク博士肖像画はいつの間にか、現在も中央図書館に掲示されている米国のクラーク家からの寄贈された作品にすり替えられていた。

クラーク家からの寄贈品とすり替え?

この辺の事情について、クラーク博士に直接教えを受けた当時の校長(教授)佐藤昌介が「あまり似ていない」とか「迫力や威厳がない」と言ってクラーク家から贈呈された肖像画にすり替えたという、まことしやかな話も長年図書館に勤務した司書の伝聞として残っている。

当時、帝国大学昇格に躍起となっていた農学校では、不敬事件の嫌疑を受けた飯田雄太郎を即刻解雇したものの、クラーク博士肖像画には何ら罪はないため取り扱いに困り果て紆余曲折の末、新築したばかりの寄宿舎食堂に委託したと考えても不思議ではない。

この時の様子が恵迪寮史1巻に「従前の猛虎哺児、バンジー、フンボルト、グランドストーンの四大額に外に、図書館より借り受けて新たにクラーク先生の肖像画を食堂に掲げる。崇敬措く能はざる先生の面影に朝夕接することの出来るのは、舎生のこの上なき喜びである」と記載されている。

寄宿舎は2年後、札幌農学校の東北帝国大学農科大学へ昇格するとともに恵迪寮と命名。昭和6年、2代目恵迪寮が北18条に移築すると同時にクラーク肖像画も移された。それから昭和58年の恵迪寮閉寮まで78年間、食堂に掲げられ、寮生の食事風景を見守ってきた。閉寮と同時に並行で昭和58年、新々寮が落成したものの、入寮規則や自治権をめぐって寮と大学側の対立が激化。閉寮問題も飛び交う騒然とした寮内ではクラーク肖像画の管理もままならないと、

発足したばかりの恵迪寮同窓会が憂慮して肖像画の一時保管場所としてクラーク博士とも縁が深い農学部に依頼要請して現在に至っている。

一方、雄太郎は解雇された後もしばらく札幌に残り、農学校の佐藤校長も会員だった札幌美以教会（Methodist Episcopal の略、現・日本基督教団札幌教会）で非戦、平和主義を呼びかける「平民新聞」読者の会を組織するなど社会思想活動が続けたという。

やがて雄太郎は札幌を去るが、1年後、意外なところで彼の足跡が見て取れる。

エスペラント協会創設メンバーの一人

「6月12日、神田一ツ橋学士会事務所で日本エスペラント協会を創立し、直ちに第一例会を開きたり。これを同会の誕生となす。当日集まりたるは、黒板勝美（東京帝国大学文学博士）安孫子貞次郎氏をはじめ（略）、飯田雄太郎らすべて十人なりし」（日本の始め・明治事物起源第7学術）とある。

エスペラント語は、ポーランドのザメンホフ博士が反戦、平和を理想に掲げ体系化した世界共通言語で、明治三十年代、外国の英語教師らを通して国内にも急速に広まった。雄太郎がどういう経緯でエスペラント語と出会ったかは不明だが、エスペラント協会創設メンバーの一人であったことは、間違いない事実である。

雄太郎の写真は、札幌農学校や飯田家にも残っていないが、今から15年ほど前、東京外国語大学の礎を築いた初代

英語科主任教授・浅田栄次の顕彰碑除幕式の際に、公開された資料展示会で、浅田や社会主義者の大杉栄らエスペラント運動家の錚々たるメンバーの中に雄太郎が入っている集合写真が披露された。

写真が撮られたのは、明治39年12月16日、国民英学会で行われたエスペラント語学校第1回卒業式の終了後。この写真は、翌年発行の「日本エスペラント」第1巻第7号の表紙を飾り、同号の中で浅田の式辞や同校主任講師の大杉栄の演説とともに、雄太郎もエスペラント語で演説祝辞を



前列左より3人目が大杉栄、1人おいて飯田雄太郎（東京外国語学校正門前で）

述べたと記されている。

農学校での蹉跌を乗り越え、東京で新たに進むべき道を見出した雄太郎だったが、画家にありがちな蒲柳の質もあつて明治42年4月、42歳の若さで死去した。

画家3兄弟、青山墓地に仲良く眠る

また、三男の画家・清三は、雄太郎が農学校を解雇され

た年（明治37年）の9月、日露戦争の旅順要塞攻撃で戦死している。兄の雄太郎が非戦運動に関わっていたことから二男・盛敏家とぎくしゃくしたことは想像に難くないが、どうしたものか青山霊園にある飯田家代々の墓の隣に雄太郎と妻・文子（明治37年没）の名が刻まれた小さな墓がある。

遺族の話によると、兄と弟を失った盛敏が、乃木希典（元帥麾下の歩兵中尉



左端の墓石に飯田雄太郎の名前が刻まれる東京・青山墓地（写真は飯田毅氏）

だった清三に贈られた恩賞で青山墓地の一区画を買い受け、正面に飯田家（清三）の墓、左側に雄太郎と妻、右側に父の飯田盛孝・久子夫妻の墓を建てたという。

夢を抱いて北の大地に渡り、農学校の象徴・クラーク博士肖像画を描く栄誉を受けながら自らの思想で農学校を追われた飯田雄太郎。新世紀の思想や当時の社会風潮に翻弄されながらも常に理想を失わなかった信念の人といえよう。

【参考文献】

札幌農学校学芸会蔵版（北大中央図書館蔵）
札幌農学校・トルストイ・日露戦争——一学生の日記と回想——（松澤弘陽法学部教授著）
明治キリスト教の受容と変貌——浅田栄次の目を通して——（野崎晃市・筑波大学博士學位論文）
「クラーク博士肖像画」の変遷記（高井宗宏同窓会特別顧問）
植物図鑑「はな」（裳華房） 恵迪寮史第1巻

校歌「永遠の幸」は 札幌農学校校歌ではない

高井 宗宏

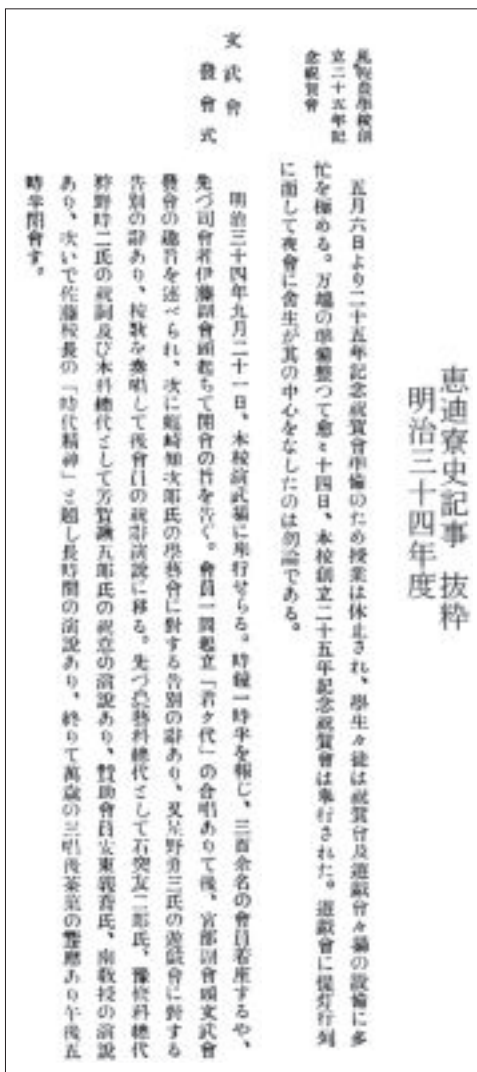
(S31年入寮)

更記載した経過、それに校歌の選曲者・納所弁次郎との関わりについて述べており、本文の3項で言及するように興味深い報告である。

1. 発表・制定

「校歌／永遠の幸」は、明治34（1901）年5月14日の「札幌農学校創立25年記念祝賀会」で歌われたのが最初である。その詳細は「創立25年祝賀会報告書」に掲載されるが、当日配布の「創立25年記念祝賀会誌」に下記のように『大和田建樹君校閲／有島武郎君作歌／納所弁次郎君選曲、校歌』と記載し、歌詞と譜面を載せている。さらに祝賀会経過報告書には、式典が終了して祝賀会が始まり、「生徒一同は新作の校歌をオルガンに連れて歌う」とあって、校歌の発表場所も明確にしている。

誤解を避けるため冒頭にお断りするが、有島武郎作歌「永遠の幸」は、広く愛唱されて全国的に周知の歌であるし、発表時の原典にも校歌と書かれているにも拘わらず、『校歌とは学校を象徴する歌として、その学校が制定した歌・School Songである』と定義した場合、まさしく『札幌農学校が制定した校歌』であるかを検証するのが本書の趣旨である。この動機には、平成24（2012）年に北大総合博物館で「都ぞ弥生百年記念展」を開催し、初めて恵迪寮歌集のバックナンバーを収集した際に『札幌農学校校歌』や『北海道大学校歌』が使われていることに驚いたこと、資料として阿澄昌夫氏（S28入寮）「札幌農学校永遠の幸についての一つの考察」および和泉庫四郎氏（S16入寮）「北海道大学校歌の原曲を尋ねて」を発見したことである。なお両先輩の報告は、校歌の譜がアメリカの北軍進軍歌『T-ramp! T-ramp! T-ramp!』であることを発見して寮歌集に変



資料1 25周年祝賀会では校歌について言及していないが、同年9月の文武会発会式では校歌を奏唱したとある



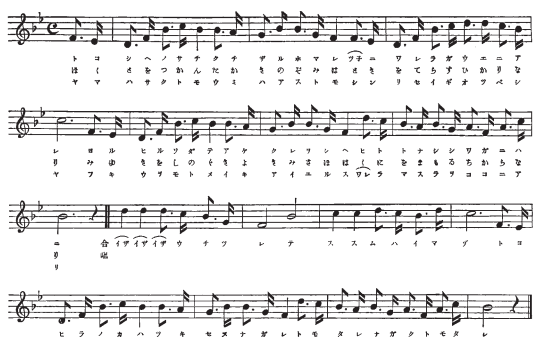
創立二十五年記念祝賀会場の演武場。校歌は式典を終了し、祝賀会の冒頭に歌った

校歌

創立二十五年祝賀会報告書

大和田建樹君 校閲
有島武郎君 作歌
納所弁次郎君 撰曲

一、永遠の幸 朽ちざる譽 つねに我等がうへにあれ
よるひる育て あけくれ教へ 人ぞあしと我庭に
イサイイサイサ うちつれて 進むは今ぞ
豊平の川 畫せぬなかれ 友たれ永く友たれ
二、北斗をつかん たかき希望は 時代を照す光なり
深雪を凌ぐ 潔き節操は 國を守る力なり
三、山は裂くとも海はあすとも 真理正義むつべし
不朽を求め 意氣相ゆるす 我等丈夫此にあり



初めて公示された校歌。しかし、「永遠の幸」の題名はない

2. 「校歌」は札幌農学校校歌ではない

昭和51(1976)年までの恵迪寮歌集は、単に「校歌」または「永遠の幸」と書き、おおむね後述する筆者の観点と大差なくて議論の対象にない。しかし、昭和52年以降の恵迪寮歌集は「校歌永遠の幸(札幌農学校校歌)」と表記し、わざわざ農学校(公認の)校歌と追記している。さらに北大応援団は、毎年新入生に寮歌指導をして「1万人の大寮歌祭」を開催しているが、その寮歌指導の歌詞集には「校歌永遠の幸(北海道大学校歌)」と時代に合わせた変更をし、恵迪寮歌集と共に現在も継続して刊行されている。この変更原因は、北大創立百年記念出版をうたつて昭和51年5月に水野一・川越守校訂「北大寮歌集」を北大図書刊行会が刊行しているが、同一印刷所を使う恵迪寮の寮歌集編集委員会が、それまでの凸版製版を止めて半永久的に使える図書刊行会のデジタル製版を貰い受け、以後の恵迪寮歌集に使用したことにある。したがって、寮歌集には「全曲について原典にあたって復元したし、作曲技法から間違いを修正した」と明記し、巻末に「歌詞校訂後記」「楽譜校訂後記」を記して数々の意見を掲載している。そのため在来の寮歌集とは随所に違いがあるばかりか、同窓会誌「恵迪」に作詞作曲者から「訂正に納得できない」と反論が載る始末である。ここで校歌のみの変更を見ると、①掲載位置を付録冒頭から寮歌集冒頭に戻し、②大和田建樹氏校閲／有島武郎君作歌／納所弁次郎氏選曲と大御所には「氏」、有島には「君」を付けて校訂者の言う原典と照合の意味が疑われる

ばかりか、③題名には、あろう事か「校歌永遠の幸（札幌農学校校歌）」と記載し、それ迄の単なる「校歌」または「永遠の幸」とする題名を根本から変え、札幌農学校が定めた校歌の意味合いを強調している。この「札幌農学校校歌」という追記こそ問題である。ただし「有島武郎全書」の叢文閣版と筑摩書房版は、明らかに「札幌農学校校歌」と記載しているが、この全書には、新渡戸稲造夫妻が貧しい子らの救済のために設けた「遠友夜学校校歌」も有島作品として掲載するため、校歌の所属校を明らかにする必要から校名を付けたに過ぎないと考えられる。なお、当時は全国の小学校で校歌の制定が流行していたことと、有島の「遠友夜学校校歌」（叢文閣版有島全書によると1897年11月または翌98年2月に作詞）が好評であったことが、創立25年記念祝賀会でも校歌を歌おうとなったと想像している。

この有島武郎作歌の「校歌」は、札幌農学校が制定した校歌でないことは次の事例で明らかである。①北大の公式記録・北大史等は、「創立25年記念祝賀会」を盛大に開催したことから式典概要まで書いていながら、「校歌」には一言も触れていない。加えて「式典経過報告書」が、校歌斉唱を式典から外し、祝賀会の冒頭で「学生生徒一同新作の校歌をオルガンに連れて歌い」と記載して区別している。②恵迪寮史の創立25年式典記事すら校歌について触れていない。すなわち、前二者において札幌農学校公認の校歌であれば、式典の中で歌い、公式報告書に「新しく制定した校歌を歌う」などと記載するのが常識であろう。さらに③学

校歌募集

今回學藝部の事業として周く會員諸君に校歌を募集す

規定

- 一 用紙は必ず半紙に認め句讀を附すべきと
- 一 姓名は附記するを要せず圖書閲覧券の番號を以て之れに代ふべし
- 一 締切期限は三十八年一月十五日とす
- 一 投稿は生徒控室に備へ付けたる學藝部投書函に投ずべし
- 一 選者は左の先輩を推戴す

佐藤昌介君
新渡戸稻造君
志賀重昂君
安東義壽君
永田方正君

- 一 當選者へは相當の報酬を呈す
- 一 當選校歌の作曲は大家に請ふて他日發表す
- 一 當選校歌は勿論佳作は之れを會報へ掲載す

（文武會報四十四号 明治三十八年一月刊）

○謝告

一、校歌の再募集

べ切期日に至りて集まりたるもの僅に二通、到底之れを諸大家に送つて撰を乞ふこと能はず、其儘今日に至り候、幸に延引の罪を許され璧に御投吟あらん事編輯員一同の伏して希ふ所に御座候再募集べ切期日は六月末日、其規定は前號所載のものと同じ、但報酬を呈する事は或は出來ざるやもはかられず候

（文武會報四十五号 明治三十八年七月刊）

資料2 文武会が明治38年に出した校歌募集および再募集の文書

生組織の文武会は、4年後の明治38（1905）年1月15日（再募集により6月末日に延期）を締切日として「校歌募集」を行い、「選者に佐藤昌介君、新渡戸稻造君、志賀重昂君、安藤義喬君、永田方正君を推薦し、当選校歌の作曲は大家に請うて佗日発表す」と記載（文武会報44号、第45号）しており、創立25年祝典時の「校歌」を農学校公認の校歌と考えていないことが明らかとなり、有島武郎作歌の校歌を「札幌農学校校歌」と呼ぶべきでない。

3. 納所弁次郎君選曲について

校歌は「大和田建樹君校閲／有島武郎君作歌／納所弁次郎君選曲」となっているが、この経過について理解に苦しむ面がある。冒頭に述べた安澄氏および和泉氏の指摘通り「校歌」の譜面は、アメリカの音楽家 George Frederick Root が1863年に北軍行進曲として作った「Tramp! Tramp! Tramp!」であるが、南北戦争後にアメリカ各大学でも学生歌に用いられているし、英国アイルランド（S31 入寮古川俊実氏による）でも流行した。さらにキリスト教の賛美歌（日本福音連盟2001年版）の186番、救世軍歌（1997年版）の108番などが同一譜と言われるし、クラーク博士の日本人初の教え子新島襄の同志社大学ラグビー部の応援歌「若草萌えて」にもなっている。なお、この頃は文部省の下で大和田建樹・納所弁次郎氏らが協力して小学校の音楽教科書が整備され、たとえば「仰げば尊し」のように外国の譜に日本の詩をつけた小学唱歌が少なくないから、この「校歌」にアメリカの譜を使ったとして

も当時の常識では問題ないと考ええる。

また、発表時の資料からは、有島の歌詞に合わせて納所弁次郎氏が Root の譜を選曲したと理解せねばならないが、外人教師らを通じてすでに農学校内で「Tramp! Tramp! Tramp!」が歌われており、この譜に合わせて有島が作詞したとすると、選曲と作詞の前後関係が疑問になる。さらに有島武郎は現役の学生であるし、大和田と納所は当時の文部省唱歌を選定している大御所であるため、その間に佐藤昌介校長・新渡戸稻造教授または有島家（武郎は、大蔵官僚・実業家・横浜税関長有島武の長男、弟に画家の生馬・作家の里見弴・日本油脂の行郎（その孫に指揮者の山本直純）らがいる、学生時代に北海道狩太村の有島農場を贈与）の仲介があるだろうが、何かしら謎めいて興味深いものがある。

4. 要約

筆者は以上に述べたように有島武郎作歌の「校歌」または「永遠の幸」は、学内の公式文書に校歌制定の文字がないばかりか、校歌を作ったほぼ同一の組織が4年後に校歌を公募する状況のため、「農学校創立25年記念祭の祝典歌としての校歌」と理解し、「札幌農学校校歌ではない」と結論した。

追悼

魂高貴なる者

〱 穴戸昌夫君追悼

前 島 一 淑
柴 田 俊 夫

(S 31年入寮)

寮歌「嗚呼茫々の」、「春まだ浅き」「北を恋う」を残された穴戸昌夫先輩が昨年11月26日に99歳で急逝された。「嗚呼茫々の」歌詞前に置かれた榆陵謳春賦を「都ぞ弥生」発声時に吟じる慣習を先輩が激怒され、寮同窓会幹事ら中心の努力でそれが下火になった経緯を改めて書くまでもない。北国讃歌「都ぞ弥生」と自治寮の伝統を誇るこの賦は相容れず、木に竹を接ぐ違和感を覚えた同窓が少なくなかった。詩的感覚の問題である。

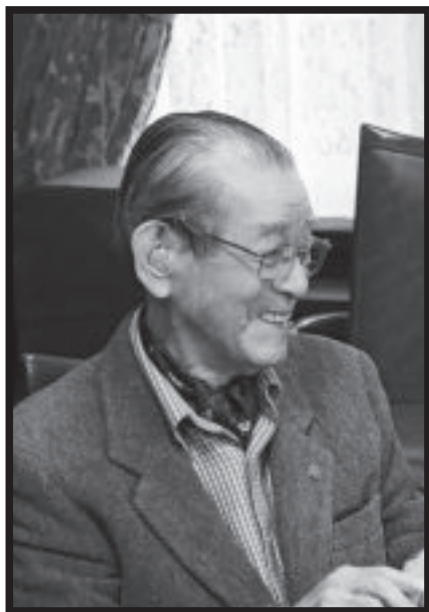
川原幸則、金武彦君らとピアノ演奏寮歌CDの作成を進めていた頃、入寮同期で院生時代の下宿の一室を共同で借りていた柴田俊夫と前島一淑は野沢の穴戸宅をお訪ねした。柴田は故穴戸夫人の姪と結婚しており、前島は二十歳代から寮歌を通じ先輩と交流があった。二人は、穴戸寮歌3部作のフルート演奏CD作成や寮歌祭で寮OBが「嗚呼茫々の」を合唱する企画を伝え、ご不満を和らげて頂

きたいとお願ひした。札幌の「都ぞ弥生」百年記念寮歌祭の壇上で「嗚呼茫々の」を後輩と並んで歌われた先輩の姿が忘れられない。

もちろん先輩の怒りが完全に納まったわけではない。逝去1か月余り前、「君たちが作る寮歌演奏CDには不満がある」と読み取れる手紙を頂いた。そこでは「寮歌とは」に始まり「間もなくこの世から消える年寄りの妄言と聞き置いて結構」と結ばれていた。柴田と前島はそれぞれの事情で葬儀に参列出来なかったが、長男の迪武さんによると、寮歌祭愛用の濃緑の法被を着て寮歌演奏CDを携え奥様や寮友が待つ天国へ旅立たれた由である。

欧米に“noblese oblige”という言葉がある。王侯貴族に属する高貴な者には果たすべき社会的義務があるという意味が原義というが、民主憲法下の日本国では高貴な魂をもつ者の責務と言い換えることが適切であろう。寮歌だけ

でなく、札幌遠友夜学校の支援から日本の公衆衛生への貢献までの幅広い軌跡を想うとき、穴戸先輩こそ「高貴な魂」の具現者であった。外には強面の先輩であったが、家庭で穏やかな姿を見せていた写真を迪武さんから借りてここに添え、心からの哀悼を表したい。



穏やかな表情の在りし日の穴戸先輩



大先輩、安井勉さんを思う

和 孝 雄

(S 32年入寮)

恵迪寮の大先輩、北大名誉教授の安井勉先生が昨年9月他界された。享年90歳。米寿を過ぎても同窓会の行事に元気な姿を見せておられただけに、突然の訃報に驚きとともに寂しく残念なことであった。

安井さんは、私が農学部助手になったとき助教授で、学科は異なったがいろんな場面で人のあり様について学び、その豪胆なお人柄と言動に何かにつけ心惹かれるものを感じていた。恩師への感謝を込めてその人柄やいくつかのエピソードを披露したい。

安井さんが北大に入学された昭和18年(1943)は、戦時体制の緊迫した暗い時代であったが、入寮2年目には寮務部長を務め、寮運営の中心的役割を担われた。この体験は、のちのち自立、自治、自由の気概を培う糧や礎になったと、よく酒席で話されていた。また、いつも人一倍大声で寮歌を高唱する安井さんは、恵迪寮時代の寮友、同窓、何よりも北大で学ぶ若き青年たちへの熱き思いが込められていた。

昭和44年4月、いわゆる「大学紛争」で農学部周辺は学舎封鎖をめぐり攻める側と守る側の攻防が繰り返された。私たち教員は防御側の前面で制止を試みていた時、一人の

白衣の教員が投石飛び交う双方の中央に進み出て「止めろ」「止めろ」と叫び続け、やがて騒ぎは沈静化した。この勇氣ある硬骨の人こそ、若き日の安井教授だった。敵味方区別することなく学生の身を気遣う態度がとても印象深かった。

寮問題、恵迪寮の存続に関わる場面でも、安井さんは重要な役割を担われた。安井さんが二度目の学生委員となった昭和59年当時、新々寮の学寮規則をめぐって大学側と寮側が衝突、寮生による「自主入銓」、大学側による「募集停止」「処分」が繰り返され、「廃寮やむなし」との事態も取り沙汰されていた。この時、安井さんから学生部第一小委員会は、双方の根強い不信を解くため、話し合いによる解決を求め、粘り強い折衝の末、合意が成立し、翌年から正規の入銓が実施された。第一小委員長だった安井さんはのちに「交渉相手の寮生達も結構元氣よくやっているわい」とか「寮生が自主入銓を追求している限り寮自治の伝統は消えない」と学生たちへの労りと期待を込めて述懐されている。

また、同窓会の設立にもかかわり、1991年から同窓

会副会長、2003年から北海

道支部の名誉支部長として高齢にもかかわらず各種寮歌祭や新年歌始めの会などに欠かさず出席され、「自由」「独立」「大志」のクラーク精神を身を以て貫き通しされた信念ある硬骨の人であった。



高齢になっても寮歌祭は皆勤

合掌

寄稿

郷関録と青春

奥村 正文

(S 26 年入寮)

部屋を片付けていると机の中から郷関録が出てきた。私が親元を離れ青春の日々を過ごした北大恵迪寮の名簿である。眺めていると六十数年前の友との懐かしい思い出が昨日のことのように新鮮に蘇ってきた。

昭和26年の郷関録には一年と二年の寮生320名が5人ずつ60の部屋に分かれほかに総務、炊務、会計委員の部屋があって、氏名と出身地、出身校が書かれていた。部屋は運動部と文化部が混在し、運動部は硬庭、馬術、山岳などほとんどが網羅され、水泳、アイスホッケー、ボート、空拳部は2部屋を占めていて、空拳部には当時外国だった沖縄、奄美からの留学生がいた。運動部の一部の寮生は大学の運動部に所属し活躍していた。文科系の部屋は24の部屋があって、哲学、歴史、数学、音楽、英語、映画などの研究会や、寮史編纂など多彩だった。私は以前2部屋あって人気があったと

いう畜産園芸の部屋に所属していた。

寮は古い木造2階建てで、南寮、中寮、北寮、新寮の4棟が並び、中央の玄関を入ると巡視室があった。奥には日用品が揃う購買と浴場があって、その右には全寮生が座れる食堂とその2階には講堂があった。

入寮したときは学制改革になって3年と浅く2年の先輩の中には弊衣破帽で長髪のものもいて威厳があり遠い存在に思え圧倒された。新入寮生の多くは高校を卒業したばかりでようやく髪が伸び始めたところだった。

厳かに入寮宣誓式

入寮するとすぐに恒例となっている宣誓式が委員の前でろうそくの明かりの中で行われた。自己紹介をして書かれてある難解な宣誓文を読まれた。高邁な理想を掲げ恵迪の自治を守るといったような文だったと思う。声が小さかったり読めなくてとまったりするとすぐに野次が飛んできた。

数日して洗礼の儀式が部屋を回って行われた。これは新入生に恵迪のパンと血を与え恵迪寮生として生まれ変わるといふざけた儀式だった。先輩から特製の大きいパンを口の中に押し込まれ、血はポートワインといろいろなものが混ざった赤い液体を飲まされた。

そして教養部長が出席しての新入寮生歓迎会が行われ、何日かして鈍才会が開かれた。寮に入ると皆鈍才だということで新入生が部屋ごとにみんなの前で何か

やらなければならなかった。同室の青森出身の畠山君と私は佐渡出身の中川さんから佐渡おけさを習い厚紙で作った菅笠をかぶり踊った。鈍才と認められ太鼓が乱打された。こうして延々と深夜まで続いた。

また毎夜のように各部屋への歓迎ストームが繰り返された。先輩達が「醒めよ、迷いの夢醒めよ」と朗々と歌って、赤フンドシで時にはスキーを持って「札幌農学校は蝦夷が島」と部屋に押しかけ歌って踊った。まるで嵐のような闖入者だった。

昏迷の中にも恵迪流の秩序と連帯

こうした行事にははじめは度肝をぬかれていたが次第に先輩との連帯感も生まれて寮生活に溶け込んでいった。しかしこれらの慣習に耐えられず退寮するものもいたが、私は蜜カラな生活を欲していたのか次第に同化し楽しい日々を送っていた。

5月の観桜会では寮生が連なって円山公園まで歩いた。太鼓を叩いて寮歌を歌い華々しく花見をした。帰りには三越の前でストームをして電車を止めたこともあったが、市民は遠巻きにして暖かく見守ってくれていたような気がした。よき時代だった。このころにはすっかり寮生活を楽しむようになっていた。

寮歌祭は明治から延々と続く寮歌のうち20曲ほどを全員が食堂に集まって歌って覚えた。その後も毎月コッペパン一個を前に開かれていた。

大学では授業が始まっていて連夜の歓迎会などでは

じめは眠い目をこすりながら出ていたが、そのうち先輩を真似てつまらない授業はさぼるようになっていった。しかし寮はちゃんぽらんなようだったが、自治寮で寮生自身が全て管理していて、一人一人が秩序をわきまえ礼儀正しく、廊下はもちろんどこであつても寮生にはオッスと挨拶した。外に出ると学生服の襟につけた延齢草の金色のバッチが誇りであった。

食事は粗末だったが安いのが何よりだった。入寮したときは戦後六年経っていたが食料はまだ不足していた。それに寮費は下宿料6000円に比べ1800円と安く、一日の食費が45円で賄われていた。それでいつもハングリーだった寮生は食事を知らせるカラ（フオーク）を片手に食堂へと急いだ。食堂ではきちんとした服装をしなければならず、廊下を走ることもなかった。食堂では順番に座り、無言で食べた。また



入寮当時の朝食風景

恵まれたことに授業のある日は寮内にある決まった一部屋が寮の食堂になっていて、昼食は寮の炊務のおばさんがリヤカーで運んでいた。コッペパン一個にザーメンと呼んでいた甘いところみの汁を掛けたものだった。さぼって寝ていてもわざわざ500メートルほど離れた食堂へ出向いて食べ、ついでに昼から授業に出るものもいた。夕食は粗末なおかずに沢庵2切れと具が僅かに浮いている味噌汁だった。成長期の寮生には足りずいつも空腹を抱えていて、会うと「腹減ったな」が挨拶になっていた。私は帰省したとき米を持ち帰り、夜に炊事室にある電熱器で炊いて食べた。湯気が立ち上るアルマイトの鍋を五人が囲み、フウフウいながら競って食べる飯は醤油をかけただけだったが格別に美味しかった。塩辛があると最高のご馳走だった。

良き伝統も悪しき伝統も先輩から

当時寮では以前からアタックと称して寮の裏にある大学の農場から作物を失敬することが行われていた。私の部屋でも空腹が我慢できず何回か芋や玉蜀黍を調達しにでかけたことがあった。いざれ返すからと言っては皆でがつがつと食べたものだった。あるとき他の部屋の連中から玉蜀黍の差し入れがあったことがあった。不味いと思ったら馬に食わす玉蜀黍だった。そのうちにりんご園に入った寮生が大学側に見つかり嚴重に注意されてからは、一切アタックをやめた。今思う

と大変悪いことをしたと反省している。

人気アルバイトは高額売血

寮生はほとんどが貧しく育英資金1800円を貰っていたが足りずにアルバイトをしていた。私もいろいろなアルバイトをしたが肉体労働は苦手で避けていた。引越し、お菓子の配達、お祭りのサーカスのもぎり、野球場のアイスクリーム売り、神輿担ぎ、専門店の抽選、ビラ配りなどをやった。寮にアルバイトの要請があると拡声器で「引越し日曜日二名四百円昼食付き」などと放送があった。希望者は集會室に集まりジャンケンで決めていた。アルバイトは道庁の事務が240円で一般に300円、お祭りの神輿担ぎなどは500円でおにぎりがついた。人気があったのは売血で「A型何名」と放送があると希望者が殺到した。近くの北大病院へ行き短時間で100cc500円がもらえたからである。また恵庭の自衛隊基地で暗渠掘りのアルバイトがあった。寮生をトラックで運び金もよかったのではじめは希望者も多かった。しかし軍事アルバイトに参加するということで臨時の寮生大会が開かれ討議されたが、結局金には換えられないということとで何人かが暗渠掘りに行ったことがあった。

入寮して私はタバコも酒も覚えた。

タバコを吸うようになったのは同室の先輩中川さんの影響だった。中川さんは髪と髭を伸ばし身も心も蜜カラな予科生を彷彿とさせ、いつも布団の上に座り本

を読んでいるか寝ていた。そんな中川さんに少なからず憧れを抱いていたからかもしれない。中川さんは慣れた手つきで刻みタバコをキセルに詰め込み美味そうに煙を吐き出していた。勧められるままに手にしたのが最初だった。はじめは気分が悪くなり先輩に笑われたが、悪戯しているうちにひとかどのタバコのみになっていった。そして先輩に近づいたような気持ちになっていった。その後二十数年ほどでタバコをやめたが、今も肺気腫に悩まされている。

また中川さんには逸話も多かった。金が入ったとき中川さんの提案で何か腹一杯食べようということになった。狸小路に饅頭より一回り小さい蒸したずらん饅頭を売っている店があつて、誰が一番食べるか競争することになった。14、5個で二人が沈没し、畠山君が18個、私は餡を残し18個半だった。皆が沈没した後の中川さんは延々と食べ続け25個を平らげ悠然としていたのには店のおばさんも驚いていた。

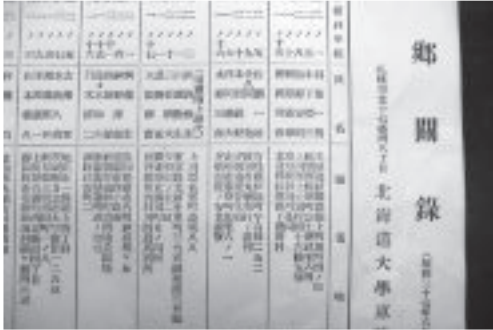
酒を覚えたのはコンパであつたが、いつもは焼酎か合成酒の二級でまれにトリスの丸瓶だった。外へ飲みに行っても安い店で焼酎か合成酒のコップ酒だった。強い連中は酔うために走ったりしていたが私は弱くついていけなかった。そして寮歌を歌うというよりがなり立てていた。時には三高や五高の旧制高校の寮歌や「君死に給うことなかれ……」やハイデルベルグの歌をしみじみと歌っていた。酔いがまわると寮に歌い継がれている猥歌を歌ったりもしていた。そして人生を

論じ青春を謳歌していた。一度中川さんに連れられてススキノにあつた電気ブランの直営店に行ったことがあつた。入ると広い店内と薄い青色の制服を着た美しい女性に圧倒され場違いなところに来たことを悟った。小さいグラスに入った薄茶色の液体を喉に流し込むと、咽で酔いが一気にまわったことがあつた。

人生は出会いと運命の悪戯

しかし寮生は酒を飲んで寝てばかりいたのではなかつた。勉強もした。そして夢を語り、世の中を憂い、人生を論じていた。本も三太郎の日記やカミュ、サルトル、ハイネの詩集などいろいろと読んでいた。雪がちらついているときだった。「チャタレイ夫人の恋人」が発売され話題になっていった。その本が回し読みされて私のところに回ってきた。わら半紙の粗末な本で端の方がめくれていた。一気に読み終わったときには身体が熱くなり、窓の外には大きな綿雪が舞っていた。しばらく本のが頭から離れなかつたのを覚えていた。

試験で特に思い出すことがある。試験が近づくとお互いにノートを見せ合つたりして勉強した。部屋は違つたが水泳部の佐々木ケツさんがいた。ケツさんは東京出身で私より2歳年上でなぜか馬が合つた。酒が強く、知識が豊富で哲学、文学、音楽に造詣が深いことも影響を受けていた。当時クラシックを聞かせるセコンドという喫茶店があつた。そこでコーヒー一杯で



年々物故者が多くなる入寮時の郷関録

二時間近く粘って、チャイコフスキーやメンデルスゾーンの曲などを聞いた。クラシックを好きになったのもケツさんの影響だった。物理の試験のときである。物理の先生は落とすことで有名で、一回目の試験で合格するのは至難の業であった。特に高校で物理を学んでいない私には難関であった。いつものようにケツさんが私のところに来て参考書の頁を開きこれとこれが出そうだといって本を置いていった。私は本気にもせずさっと目を通したただだった。翌日答案用紙を見るとまさしくケツさんがいった問題の一つがあった。結果はケツさんが見事に合格し私は落ちた。哲学か文学でも専攻するのではと思っていたケツさんは理学部の物理を専攻した。そして東大の大学院に学び、後に原子物理の教授になった。計算が嫌いで苦手だったのにとすると不思議でならない。しばらく経ってそのことを話すと笑っていたが、人間の一生は出会いと運命の悪戯によつて決められるのかも知れない。

また忘れられない人に佐藤さんがいる。二年になつて群馬出身の佐藤さんと同室になり、言語研究会を立ち上げた。8歳

年上でシャイな佐藤さんからは人生の機微を学び、あまり語りたがらなかったが戦争の怖さを教わった。寮祭が終わった日の深夜、私は突然激しい腹痛に見舞われた。そのとき佐藤さんの指示で直ちに同室の皆がリヤカーで北大病院に運んでくれた。盲腸の診断ですぐに手術をうけ、手遅れにならずに助かったことがあった。佐藤さんがいたからで、リヤカーの上で腹痛と不安に怯えていたのを腹の傷跡を見るたびに思い出す。寮生は病院の費用が免除されたのも助かった。

閉寮間際の寮は猫や犬も同居しバイ菌も死ぬといわれていたが、私達のころも壁や天井に落書きがあったが部屋は整頓されまだまだきれいだった。しかし夏に寮生の一人が赤痢に罹り10日間一歩も外へ出ることを禁じられたことがあった。部屋にはラジオもなく長い一日を過ごすには本を読むか友と語り合うかであった。しかし十日間ともなると身体を持て余し無聊をかこつていたが、寮生は楽しんでいたようで連帯感が一層増したような気がした。

多士済々の恵迪十傑

秋になると寮祭が開かれた。一般に公開され恵迪座の「俊寛」の公演もあった。また何人かの寮生に送られてきた十通ほどのラブレターの公開もあって、羨ましく思うと同時に大人なのに驚いた。また寮生の前で恵迪十傑が表彰された。十傑は、スイマ（眠る）ベロン（助平）ダスキント（坊ちゃん）オンチ（音痴）ター

ジ（大食）バックス（大酒飲み）ヤマシ（山師）ネイモウ（強引な）ポコ（間抜け）ハツタリ（大法螺吹き）で、自他共にそれにふさわしい者が選ばれ、賞状や賞品も工夫されていて盛り上がった。

冬になると寒さが堪えた。スチームが朝夕2回通るのが時間が短かった。一度北の外れの部屋になったことがあった。スチームが入るとカタンカタンと音がしてからしばらくして部屋が暖かくなった。それも長くは続かず、冷えてくると布団に包まれていることが多かった。深夜、寒くなると巡視の部屋に行つてストーブで暖をとった。巡視のおじさんは嫌な顔も見せず私達を歓迎してくれた。試験も近くなると部屋は寮生で溢れていた。

北大ではなく、恵迪寮に入った

郷関録を眺めていると、あの頃の友の顔が浮かんでくる、同室で青森出身の純朴な畠山君は何度かきんごを食べさせてくれた。

また商大戦の排球で活躍し一緒によくアルバイトをした天日君、同じクラスでバンカラだった水庭君や高橋君、清水君、青山君、林君、辻山君など多くの友の顔が浮かぶ。

「大学に入ったのではなく恵迪寮に入った」とよく言われたが、まさしくその通りなのかもしれない。古きよき時代の寮での多感な青春の想いは、今も身体の一部となつて生き続けている。

（北海道岩見沢市）

恵迪寮で育まれた

複眼思考で人生三回

船越 一幸

（S28年入寮）

今年は年男、10月には84歳になります。北大法学部の永井陽之助ゼミで、ヒトラーと現代大衆社会の手ほどきを受け、研究室・喫茶店と場所を移し、時間を忘れてゼミに集中しました。

ゼミ以外の学びの場は恵迪寮です。なにしろ応用化学、独文、水産、建築、動物など私と異なる分野を目指す猛者がゴマンといましたから、寮生どうし熱く議論を交わし寮歌を歌い、時にはぶつかり合つて、次第に私の知識も感覚も複眼思考になっていったのです。

同窓会設立に奔走

恵迪寮が取り壊されることになったとき、同期の井口光雄君から声がかかり、同窓会を作ろう、閉寮の前に寮の食堂にOBが集まって寮歌を歌おうと。そこで彼の事務所に毎日のように詰め、寮生名簿、各学部同窓会名簿を基に、同窓会設立の案内状を二人で出しました。会費振込用紙の手続きに小樽郵便局に出かけた日はものすごく暑かったことを覚えています。

初代会長は星光一北大名誉教授（S2年入寮・精密工学）、代表幹事に学部と会社が一緒の佐山峻先輩（S



昭和30年春の追い出しコンパ
右端、背広の胸にスプーンをさしているのが筆者

25年入寮）をお願いしました。取り壊される直前の寮の食堂で「都ぞ弥生」を歌った時、感極まって涙にむせんだことは一生忘れられません。

当時の横路知事に恵迪寮を開拓の村に残すよう直談判に行きました。そこに何を残すのか、人気のない旧寮に20人くらいOBが集まり、ベッドの畳を裏返して年代を確認するなど、嬉々として作業したその姿は寮生時代に戻っていました。

恵迪寮で育まれた複眼思考のお蔭で、私は人生を三回送った気がします。最初はHBCで番組をつくり、『安倍公房全集』（新潮社）、「寺山修司ラジオCD」（キングレコード）、『北海道・マスコミと人間』（札幌学院大学生協）などにその痕跡が残りました。

定年直前に北海道大学（元北海学園北見大学）に移って第二の人生、講義とゼミの10年です。66歳のとき『地域情報と社会心理』（北樹出版）を東大教授らと分担執筆。68歳で出した『情報とプライバシーの権利』（北樹出版）が好評で慶応義塾大学に呼ばれて講義しました。

70代から第三の人生

70代から第三の人生です。HBCの同僚に手ほどきを受け、ロマネスクの世界にのめり込みました。芥川龍之介や太宰治のネタ本となった13世紀の『黄金伝説』を読み、カトリックの民衆信仰が聖人崇敬にあることを知り、77歳で『守護聖人の世界』（文芸社）を書き、



人生三回論ですます元気な船越さん



3冊目の出版となる「ロマネスクの社会を散歩する」

82歳で『ロマネスクの社会を散歩する』（共同文化社）を公刊。83歳で札幌市立大学の院生に「ロマネスクの社会的背景」を特別講義しました。

なぜロマネスクか？ それはルネサンスから17世紀にかけて「魔女狩り」（邪魔者は殺せ）がヨーロッパで猖獗を極める直前の、穏やかな社会だったからです。人々は神や悪魔と仲良くゆるやかに付合っていた稀に見る社会でした。

振り返ってみれば、恵迪寮で多彩な俊英に強い刺激を受けたことが、その後の私の人生を方向づけたわけで、改めて「恵迪の自治に栄えあれ」とエールを贈ります。

（北海道江別市）

涯てしなく蒼い空へ

前島 一淑

（S 31年入寮）

昭和30年代を寮で過ごした仲間による一連の寮歌CD制作は、私の個人的意図に偏ったCD「北大恵迪寮歌―フルートとピアノと口笛と―」をもって昨春秋に終止符を打ちましたが、追補番外編として取り組んでいるCD「平成寮歌」がまもなく完成します。

高校受験勉強中だった私の孫娘の齋藤歩が、昨年正月に恵迪寮の自由と青春を扱ったNHK全国放映TV番組を見てこの寮に入りたいと呟いたと聞きました。めでたく志望校に入学した彼女は、中学で担当していたフルートで北大寮歌を吹くのでCD化して欲しいといい出し、これを知った寮仲間が悪乗りして出来上がった作品が冒頭のCDです。一連の寮歌CDの制作経緯はそれぞれの添付リーフレットに書いてあります。

楽譜を渡して気に入った寮歌を好きなように演奏しろと話したところ、「都ぞ弥生」から平成26年「姫月に重ねて」までの9曲を孫は選びました。明治〜昭和寮歌の一部は明らかに私への気遣いで、実情は平成寮歌のほうがずっと彼女の感性に合っていたようです。また、このCDの「都ぞ弥生」演奏形式、とくにテンポ



I am ambitious! 手を広げる少年

様です。

寮同窓会や寮歌祭で、寮歌を作り続けてきた伝統が、だからこそ最後の大騒ぎとしてCD「平成寮歌」作成を企画しました。選曲を現寮生の「寮歌普及委員会」に任せ、演奏はこれまで数々の寮歌をピアノで弾いて下さった吉崎理華（筑波大ジャズ研、東レ）に今回もお願いしています。

音楽を論じる素養に私は欠けていますが、昭和前半までの世代が最初に受けた音楽の洗礼は童謡、唱歌、

はほとんどの〴〵OBに受け入れられなかったでしょう。孫が演奏した平成寮歌4曲についても、若い感性が素晴らしいという〴〵苦しい〴〵賛辞もありましたが、おそらく眉を顰められたOBが少なくなかったと思います。しかし、平成の寮OBや現在の寮生に違和感はなかった模

軍歌で、平成世代のそれはジャズ、ロック、フォーク、ポップで、大多数の現寮生の音感が昔と違うことに間違いありません。合唱や演奏の形態も古い世代のそれと大きく異なっています。彼ら彼女らが楽しく素直に歌い奏でなければ、新しい時代の寮歌が広がることも歌い継がれることも期待出来ません。

歌詞も新しい時代に入っています。歌ってこそ寮歌という意味で、寮歌BGMともいえる私たちの作ったCDへの批判があり、確かに歌詞のない演奏だけの寮歌は片手落ちでしょう。しかしこの議論は措くとして、平成の歌詞の多くは以前と明らかに違います。古い時代の歌詞に現寮生は抵抗があるのではないでしょう。寮歌を作り続ける伝統を繋げと主張するならば、この新しい流れを受け入れるべきと私は思います。

CD「北大恵迪寮歌―フルートとピアノと口笛と―」に添付したリーフレットの作成も孫の齋藤歩が関わりました。とくに、青空に両手を挙げている少年や新緑の原始林の中を寮へ向かう少女のイラスト、演奏者として一言の「I am ambitious」というタイトルについては、OBの年齢に関係なく評価が高く祖父として嬉しい限りでした。大志は他者から要請されて抱くものでなく、自我の確立した者が個人の意志で持つべきものです。

孫の想いは60年前の私のそれと重なります。CD送り状に寮歌「花繚乱の」に先立ち私が書いた口語9文字4行5連の歌詞案を引用しました。そのタイトルが

このエッセイの表題です。参考までに歌詞案を掲げておきますが、北国の自然讃歌である「都ぞ弥生」の現代語訳だと同室者から揶揄されたことも懐かしい思い出です。

涯てしなく蒼い空へ

広がる夏の空 光覆い尽くす 北に向かって佇立ち
君双手を挙げる
豊かな秋の風 稔りの季節に満ち 星高くきらめき
友祈り捧げる
荒れる冬の嵐 天も地も凍りて ポプラの影黒く
われら青春を歌う
戻り来る春の陽 森に緑溢れ 鳥囀り交わし 飲む
を奏でる
涯てしない蒼空 美しい山川 自然よ人よ 明日の
幸讃えよ

現代の寮歌の歌詞は理解の外だという声が喧しく聞こえます。しかし、高校1年生のデザインに共感を寄せて下さった方々が多かった事実は、現代の若者の感性が過去のそれと深いところで繋がっていると私は確信しました。

それでも「明治・昭和寮歌」の遠く懐かしい記憶が私の心の中に去来します。そこで、CD「平成寮歌」の後半に、これまでのCDに収められなかった「タネの氷柱」や「噫妖雲は」等を追加し、最後に古き時

代の寮歌への挽歌として千成睦夫（楡影寮、北大交響楽団）の新らしいフルート演奏「短調・都ぞ弥生」と「別離の歌」を置きました。

妄言を謝してこのエッセイを終わります。もし「平成寮歌」を聴いてみたいと思われる方がおられましたら、下記へ連絡を下さい。年末までにCDを無料進呈します。なお、CD「北大恵迪寮歌―フルートとピアノと口笛と―」をすでに差し上げた方には、住所録の控えがありますから連絡を頂かなくてもお届けします。

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野3-4-1
3-401 前島一淑 kazu-mj.0529@swan.ocn.ne.jp

〈編集部注〉

イラストは筆者の孫娘、齋藤歩さんの作品。



フルートで寮歌を奏でる少女

周期表を覚えて見ませんか

砂川 隆久

(S 33年入寮)

「恵迪」への投稿は2回目である。実は、沖縄の宮古島から昭和33年に恵迪寮に入寮したが、沖縄の実情が当時あまり知られていなかったもので、昭和35年復刊第5号「恵迪」に「同胞へ」と題して当時の沖縄の状況を紹介したことがある。奥付に1960年2月20日発行とあるので、今を去る半世紀以上前のことである。

当時沖縄は米国の信託統治下に置かれていたもので、祖国復帰が大きな目標であった。生きている間に祖国復帰が実現するかと疑問を抱いていたが、現実には昭和47年5月15日に実現し、歴史というものは動くものだという事を実感した。

恵迪寮では沖縄の先輩、西銘さんや浦崎さんが前年までいた恵水会に入った。恵水会は2室あり、元々は聖書研究会と呼ばれていたようだが、我々の頃は一人もクリスチャンはおらず、名前だけが残り、空手部員が数名いて空手部のような雰囲気もあった。会の人の出入りは結構あったので、全員は思い出せないが、佐々木、西川、加久保、和（兄）、佐藤真理、高田、増井、吉田、吉沢他の諸兄がいた。

今回の投稿は、話題を変えて、古事記と周期表と私



昭和33年頃の恵水会、中列右端が筆者

持つ四つの元素を含めた全118元素の諸物性（原子番号、元素名、族―周期、原子量、融・沸・露点のいずれか又は放射性元素の半減期）を覚えることに必死だったもので、このニュースに非常に鼓舞された。というのも、今年の2月7日に奈良県大和郡山市で開催された第12回記憶力大会に出場することになっていたからである。

大和郡山市は、古事記の著述にその抜群の記憶力で貢献したという稗田阿礼の出身地で、稗田阿礼を記念した記憶力大会を町おこしの事業としており、毎年2

の体験との関係について綴ることにする。昨年の大晦日に113番目の元素（暫定名・ウンントリウム）の命名権が理化学研究所に与えられ、今年は愈々周期表に日本に因んだ元素が登場するという晴れがましいニュースが飛び交ったことは記憶に新しい。私は丁度その頃暫定名を

月の第一日曜日に開催され、今年で12回目を迎えた。大和郡山市は金魚の産地としても有名で、8月の金魚すくい大会に腕に覚えのある者が全国から集うように、この日も記憶力を試さんとする老若男女が参集した。大会主催者は、記憶力大会実行委員会（大和郡山市役所生涯学習課内）、後援は市、県と、各教育委員会、各テレビ局、新聞社及び賣太神社である。賣太神社は稗田阿礼を学問知恵の神として祀っている同市稗田町にある神社で、平成24年には古事記撰上千三百年奉祝祭が行われた。地元の企業や商店が協賛、審査は松村奈良教育大学名誉教授を委員長とする5名の有識者、大会実行委員会は名誉会長の大和郡山市長ら市の要職者で構成され、大和郡山市の総力を結集した大会だ。

記憶力大会「自慢の部」で準優勝

大会は競技の部、自慢の部（一般・古事記）、記憶力日本選手権大会の三部門で構成され、2月7日午前10時から午後5時まで、やまと郡山城ホールで行われた。参加者は、競技の部145名、自慢の部30組61名、日本選手権19名、総数225名であった。

私は自分が記憶した内容を発表できる自慢の部に「全元素の原子番号、元素記号等」のテーマで出場した。一人4分間の持ち時間しか与えられないので、前述の全118元素の諸物性を暗誦するには時間が足りない。そこで、司会者がアトラダムに原子番号を出すと私に対応する諸物性を答えるという母集団が多い場



第12回記憶力大会が開かれたやまと郡山城ホール前で

合の抜き取り検査の要領で、4分間にできるだけ多く解答させることにより、全元素の諸物性を覚えていくか試す方式が取られた。

ここで周期表の諸物性の覚え方を原子番号20のカルシウムを例にとって説明しよう。私の覚え方は、人口に膾炙された「水平リーベ僕の船……」式の単純なものではない。記憶法としては、ペグ（掛け釘）方式といわれるもので、原子番号をペグとして語呂合わせの短文（季語を織り込んだ俳句に倣って私は数句と呼んでいる）を掛けて行く。図のかるたの語呂合わせは大部分自明であるが、原子量の「誉や」の「ほ」が分かりにくい、これは英語の4、fourが「フォー」となり「ほ」と変化したものである。

20. 周期表かるた (表)



.....

原子番号: 20 (裏)
 元素名: カルシウム Calcium
 元素記号: Ca
 族—周期: 2—4
 原子量: 40.08
 融点 K: 1112
 櫓(20)の木の下で彼氏有無(カルシウム、Ca)を言わず、自信(2-4)を持って求婚、彼女誉れや(40.08)と承諾、いい一日(1112)とはなりぬ

独自の「語呂で覚える周期表」 考案

このように数字の語呂合わせは、日本語由来、英語由来、麻雀語(中国語)由来の語呂合わせで作られているので、わずかな原則を覚えれば簡単に理解できるように工夫されている。右図のカルシウムで例示したかるたを見れば解るように、数句から元の諸物性に変換(翻訳)することは簡単である。問題は数句を覚え、思い出すことである。

数句を覚えるには、覚えては忘れ、忘れては覚える繰り返しが必要である。新しい数句を覚えるには、それまでの数句を復習(思い出)してから進むという、記録媒体のなかった古代の記憶法ヒンドウメソッドが有効である。

記憶力大会では舞台の大きなスクリーンに図のかる

たが映し出され、後ろ向きに立たされる解答者はスクリーンが見えないが、審査員及び観客からははっきり見える。司会者から4分間に17個の原子番号の質問があったが、数句は全部即答できた。平均1問約14秒で数句を答えたことになる。結果は自慢の部30組61名中準優勝であった。

最後に何故、全元素の周期表を覚えるという無鉄砲なことをしてしまった動機を説明しておきたい。

教養部の理類から工学部の応用化学科に移った頃、化学概論的な講義の一つを担当されていた、水や分析化学の研究で有名な東大から来られた新進気鋭の大蔵先生が、雑談的に「昔、大学院の入試で『周期律表を書け』というのがありましたよ」とおっしゃられたことがあった。そのことが妙に私の記憶に残っており、定年退職後時間的な余裕ができた頃にあふと思ひ出され、どうすれば周期表が覚えられるのだろうかと考えようになった。思い出すきっかけを作るためにイラストを加えた。かるたで表の原子番号とイラストを見て裏の数句を思い出す訓練をするといふ。勿論、巷ではやりの「水兵リーベ僕の船……」式の単純なものではなく、全元素の代表的な物性を覚える方法を考案することに取り組んだ。一冊目の拙著「万能! 二桁暗算簡単! 単位換算 砂川式パイナ算」(丸善プラネット社2007年刊)で91個の単位換算係数を覚えるのに語呂合わせ(数句)が有効であることが解っていたので、周期表を覚えるにも、103番までの元素の数

句を作り、2冊目の拙著「暗算達人を目指す人のための和式暗算のすすめ」(一粒書房2011年刊)に載せた。その際1から10番の元素については、前出の図のようなかかるたもカラーで載せた。その後104と118番の元素の数句と11と118番の元素のイラストを追加で作成し、全元素のかかるたが完成した。

一方、周期表の数句は、多少短縮したりして工夫し、リブリック賛歌(替歌「おたまじゃくしは蛙の子」)でも歌えるようにした4冊目の拙著「周期表の覚え方」を上梓(一粒書房2015年刊)した。付録として、かるたでは表と裏になっていたイラストと数句を合体させ、周期表の所定の位置に配列する事により、A1サイズ(841×94mm)の「語呂で覚える周期表」も作った。

本の上梓は本の記憶を意味しない。記録と記憶は別物である。仏を作って魂入れずでは立場がない。そう思っただけで昨年の一年かけて「周期表の覚え方」と「語呂で覚える周期表」を使って全元素の諸物性を必死で覚えた。そして12月に記憶力大会へ参加申し込みをした。

11月までは周期表を昇順や降順で書くテストを課していたが、大会直前の12月と2月は乱数発生関数を使って1から118までの原子番号をアトラダムに15秒ごとに発生させ数句を口頭で答えるという実践的なテストに集中した。大会ではその効果が現れて全問即答できたことと、周期表の暗誦という話題の新鮮さが準優勝につながったのではないかと推察している。

最後に、誰でも一年位掛ければ全元素の周期表の諸物性を覚える事ができます。周期表を覚えて見ませんか。百人一首のように「語呂で覚える周期表」を日本の新しい文化にしようではありませんか。ご連絡をお待ちしております。筆者の連絡先は、〒286-0003 千葉県成田市加良部4-20-3です。



語呂で覚える周期表と筆者

果たせなかった再会

「福田裕君への想いを込めて」

佐藤 忠昭

(S 39年入寮)

50年ぶりの近況報告

恵迪寮39・40年会の「入寮50周年のつどい」が、平成26年9月12日に宇治川河畔の舟宿で開催された。その模様は、昨年の会誌15号に佐竹正治氏（S 39）が詳しく紹介してくれている。

当日、世話役から配られた資料の中に、懐かしい福田君の近況報告があった。

福田君は1年後輩の水産学部生で、部屋が隣の時期があった。彼は快活なスポーツマンで、笑った時の白い歯が印象に強く残っている。陸上ホッケーやアイスホッケーをやっていたせいだろうか、お尻の筋肉が良く発達していた。

近況報告には、「たびたびご連絡を頂きながら、回答せずに失礼して申し訳ありません。9月12日は、残念ながら出席できませんが、ご盛会をお祈りします。現在私は、釜石市にある岩手大学三陸水産研究センターに駐在し、震災地域の水産業の復興のために微力を尽くしております。今年の春には、40年入寮の紺谷克孝君（経済学部）と森憲治君（工学部）が陣中見舞いに

来てくれ、仮設の飲み屋で北大ホッケー部や四方山話に花を咲かせました。また、40年入寮の山内皓平君（北大元水産学部長）は、震災復興事業の関係でたびたび来訪します。50周年参加者の名前入りの記念写真の配布を勝手ながら期待しております」とあった。

互いに過去を知り、びっくり

彼とは卒業以来一度も会っていなかったので、彼がその後どのような人生を歩いてきたかは全く知らなかった。

旧交を温めるべく、私自身の来し方を述べながら（農学部畜産学科を卒業後、農水省に就職。農林本省や牧場に30年勤め、今は競馬関係団体に勤務）、彼の卒業後の状況や現在を尋ねる手紙を書いた。

彼からの返信（平成26年9月28日消印）は、

「佐藤さん、懐かしいお便りに感激しました。お元気なご様子で嬉しく思いました。恵迪寮への思い入れは、ずっと持っていたのですが、今度初めて接触したところ佐藤さんを釣り上げた次第です。」

佐藤さんには、水産学部移行の時に「畜産利用学（養賢堂）」を頂き、今も大切に読んでおります。畜肉と魚肉の蛋白質を比べるのに役に立ちました。

私は青森県庁に就職、45歳で農水省水産研究所、水産大学校で退職し、今は東京海洋大学ですが、いずれも水産利用の研究分野を歩いてきました。

長いようで短い仕事の人生です。もう少しアクセク



2014年、京都・宇治川河畔の同期会で福田君の近況報告を知る

したいと思っ
ております。

機会があり
ましたら、釜
石（現宅）、八
戸（本宅）に
お寄り下さ
い。お待ちし
ています」と
あった。

彼からの手
紙によつて
「彼は青森県
に就職したこ
と（私も青森
県七戸町にあ
る奥羽牧場に3年間勤務していた）」「その後彼は農水
省に移ったこと（研究職とはいえ、同じ農水省なのに
私はまったく知らなかった）」「彼にあげた本が役立っ
ていたこと（私はあげたこと自体を忘れていた）」等々
が分かり、感慨一入（ひとしお）であった。

その後、佐竹さんから50周年の集合写真がメールで
送られてきた。

近況報告にあった福田さんの要望に応えるべく、プ
リントした写真に少々説明を加えて送ると共に、こち
らのメール番号も知らせた。

シヨッキングなメール

半月ほど経過した平成26年10月14日、彼から次のよ
うなメールが入った。

「返信が遅くなり申しわけありません。写真有難う
ございます。佐藤さんも恵迪のころと同じです。私
は、水産畑で全国を渡り歩きましたが、八戸に自宅が
ありますので、近い釜石に奉公先を見つけたわけです。
実は、返信が遅れたわけは、10月3日から仙台の東
北大病院に急遽入院するはめになり、現在は検査と
治療に入っています。しばらく病院で治療の毎日で
す。」

恵迪から函館での水産学部、青森県就職、水産庁研
究所（横浜）、つくば（JIRCA）、三重県（養殖
研究所）、水産大学校、東京海洋大学と、長いようで短
く、短いようで長い研究生生活でした。いつかお会いで
きることを楽しみにして頑張ります。 福田裕

彼の東北大学病院入院には少々驚き、早期快癒を祈
る返信を送ると共に、病が癒えた暁には、一度は会っ
て互いに積もる話をしてみたいと無性に思った。

その後彼からの便りはなかったもので、年が明けた1
月8日に次のようなメールを入れた。

「福田さん、明けましておめでとうございます。こ
ちらでも氷点下を割る朝冷えが続いていますが、如何
お過ごしでしょうか？ 昨春秋、『10月3日から東北大



陸上ホッケー OB 大会で在りし日の福田君（手前）

に入院し、検査と治療に入っている』とのメールを頂きましたが、少々気になっておりますので、様子をお知らせ頂ければ幸いです」

1月10日に入ったメールはショックなものであった。

「私は福田裕の妻です。メールを頂きまして有り難うございます。夫は昨年11月13日に末期のがんにより亡くなりました。お身体御自愛下さいませ。今まで有

り難うございました。

福田裕子」

そのメールを見た途端、呆然となった。

何と彼は私にメールを発信してくれた10月14日から、1カ月後に亡くなっていたのである。

あまりの急展開に言葉もなく、世の無常を感じつつ、奥さんにお悔みのメールを打った。

「心の中で生きる」を願う

「人は死しても、周りの人の記憶の中にその人は生き続けている。だから肉体の死は本当の死ではない。記憶する周りの人が絶え、誰の心の中にも『その人』が存在しなくなるとき、本当の死が訪れる」との、先人の言葉がある。

あれから1年が過ぎようとしているが、彼の『白い歯の笑顔』はしっかりと私の記憶に残っており、先人の言葉に従えば、彼は私の心の中で生き続けていることになる。

そして、彼と寮生活を共に過ごした多くの仲間達や、彼を知る数多の人々の心の中にも、彼が永く永く生き続けてくれることを願って止まない。

（神奈川県大和市）

〈追記〉

本文は、福田裕君の奥様の了解を得て投稿しました。

バンカラ姿でフランスを激走 「ボルドー・メドックマラソン」に参加して

栗山 恵二
(S 46年入寮)

きっかけは旧寮の傍を走る道マラソン

最近、健康志向もあって、ランニングを楽しむ方が増えておりますが、私もその一人です。8月末に開催される北海道マラソンに老体に鞭打って毎年参加しているのですが、最近コースが変わり、北大構内を走るようになりました。特に、昔の恵迪寮があった近くを走るため、その付近では、ああここで青春の一時期を過ごしたのだなと感傷にひたり「都ぞ弥生」を歌いながら走りぬく、と言いたいのですが、制限時間に追われ死ぬか生きるかの必死の思いで恵迪寮付近を走っているのが現実です。そんなランニングを続けるなか、仕事の関係で、フランスに行くことがあり、その度に、フランスで「都ぞ弥生」を歌いたいと思っていました。が、ついに、その夢が実現しました。

昨年、ワインで有名なボルドーで開催されるメドックマラソンに参加してきました。このマラソンは、葡萄畑の中を巡っていくのですが、二つの特徴があります。一つ目は、必ず仮装して走ることに、二つ目は、ワインを製造するシャトー（ワイナリー）の給水地点で

ワインとともに牡蠣などのフランス料理が振舞われることです。ゴールに近くなるほど良いワインが振舞われるそうです。

夢であったフランスでの「都ぞ弥生」の合唱はメドックマラソンで実現することになりました。スタート前に、参加する方々の健闘を祈って「都ぞ弥生」で応援し、小樽商大との定期戦の応援合戦（対面式）も同じ形で実施しました。

ボルドーの葡萄畑に「都ぞ弥生」流れる

バンカラな青年応援団長（小生）と和服を着た昔の娘（私の奥さん）とで、北の大地に100年にわたり脈々と受け継がれている応援合戦を想定して行いました。マラソンの制限時間にちなんで630チームと名付けた敵チームとメドックチームの戦いとの想定です。一緒に日本から参加したツアーには、若い方からシニア世代までの男女が参加しましたが、その方々と一緒に「都ぞ弥生」を歌って応援合戦を行いました。スタート地点に向かうバスのなかで、参加者に、応援合戦の内容を紹介し、皆さんで「オリアー」の掛け声と「都ぞ弥生」の練習を行いました。参加者の中には、「都ぞ弥生」を初めて聴く人もいましたが、全員参加で「都ぞ弥生」を合唱し大盛り上がりでした。

あいにくスタートに向かう時は、雨が降っていましたが、到着した時には雨はやんでいました。バスを降りると、スタート地点には様々な仮装をした世界中か

ら集まってきたランナー達で大いに盛り上がっていました。さすがに、赤フンのグループはいませんでした。おしり丸出しのTバックの男女のグループ、すすきのが似合いそうな蝶々達、焼き肉を振舞うための屋台車を押しながら走るグループなどなど。そんな中でも、小生の恵迪寮応援団長のスタイルは外国の方々には大変興味魅かれるものがあるらしく、大勢の人々が寄ってきては「ワンダフル」と声をかけられ記念写真の的になりました。

夫婦で樽商戦の応援合戦を自演

応援合戦は、小生の自作自演ですが、小樽商大との定期戦そのもので行いました。まず、相手の630チームの女性(私の奥さん)より、花束贈呈。相手チームからは何物をも受け取れないバンカラなメドックチームの応援団長(小生)はこれを投げ捨てる。次に、用意した巻紙を使って檄文の読み上げとツアーに参加された方々による「オリヤー」の掛け声。これは、定期戦ながらに、行いました。檄文の一部を紹介します。

富貴名門の女性に恋するを……だれが言うぞう

オリヤー~~~~~

雨降らば雨降るもよし風吹かば風吹くもよし

オリヤー~~~~~

フランスのボルドーに集いし諸君よ今日は美味しいワインを

たらふく飲むのではないかな
オリヤー~~~~~
メドックマラソンに参加する若き血潮みなぎる諸君の健闘と

完走を祈ってここに応援歌を歌わん

オリヤー~~~~~

明治四五年度寮歌……「都ぞ弥生」

そして、全員で輪になって「都ぞ弥生」の合唱。応援団長の「メドック」の掛け声と全員の「マラソン」の掛け合いコールの後、紙吹雪が舞うなかスタートしていききました。外国のランナーからは、応援団長のスタイルは勿論ですが、特に、下駄で走ることに、驚いたようで、抜かれるたびに「クレイジーランナー」と冷やかされました。最初の給水地点では奪い合うようにしてワインを飲み、次の給水地点でのワインを楽しむに、再び走り出していききました。あいにく、途中で



夫妻で北大 VS 樽商戦の対面式を実演

大降りの雨となったため、さすがに下駄での走りと、雨に濡れた袴などがずっしりと重くのしかかってきました。しかし、美味しいワインと料理で疲れも吹き飛びましたが、走るにつれ足の疲れとワインによる疲労回復の繰り返し。そして、恵迪寮時代、飲みながら赤フンで札幌市内を練り歩き大通公園の噴水に飛び込んだ時を思い出しました。ゴール近くでは、目当てのスーテキはすでになくなっていましたが、アイスクリームと最高級のワインを両手にゴール。無事完走し、記念のメダルと景品のワインをゲットしました。ゴールタイムは何と制限時間ピッタリの6時間30分ジャスト。おかげで、美味しいワインをたらふく飲むことができました。恵迪寮時代の思い出とゴールの感激とワインによるほろ酔い（泥酔）が重なり、楽しい思い出を刻むことができました。

日本に帰国してから心残りのことがあります。スタートと同じスタイルで寮歌を歌いながらゴールするつもりでしたが、天候や疲れのせいで叶いませんでした。また行く機会があればリベンジしたいと考えています。

追伸。恵迪寮に入寮した時の部屋が「朝マラ研（早朝マラソン研究会）」でした。発足した日の朝、クラ館まで走ったのですが、その後は案の定、一度も走るこ

とがなかったことをご報告いたします。

（札幌市東区）



世界各国から参加したランナーの人気を集めた応援団長スタイル

新聞記者から研究者へ

「人間復興の視点」

野呂 雅之

(S 51年入寮)

朝日新聞の記者から研究者に転身し、昨春、甲子園球場に程近い関西学院大学災害復興制度研究所の主任研究員・教授に就きました。

新聞記者になった経緯と校歌「永遠の幸」のルーツをたどった記事の裏話は、「都ぞ弥生」百年記念号に詳述しましたので、今回は災害における「人間の復興」について書きたいと思います。

記者生活で大きな転機になったのが、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災でした。

戦後50年、その節目の年に起きた震災は、わずか十数秒の揺れで6434人もの犠牲者を出しました。戦後築き上げてきた文明社会の脆さをさらけ出したのが震災でした。

震災から2年後、朝日新聞神戸支局のデスクに赴任して、被災者が暮らす仮説住宅で相次ぐ孤独死に向き合ってきました。「人生80年」の時代に壮年の男たちの孤独死が多く、彼らの生涯をたどると、その人生は驚くほど似ていました。

貧困から抜け出そうと懸命に働いたが、慢性的病気で仕事ができなくなり、家賃の安い家を探しては転居

を重ね、病死や自殺で生を閉じる――。

それは仮説住宅だけの特殊な現実ではなく、豊かな社会という幻想に覆い隠されて、震災前は私たちが見えていなかったただけではないか。被災地に身を置くことで、そのことに気づかされました。孤独死という「見えない死」を震災があぶり出したのでした。

震災では街並みがきれいに復興するにつれ、多くの被災者が取り残されていると感じて、孤立感を深めていきました。

十人十色という

言葉があります
が、被災者が十人
いれば、その復興
には十通りの道筋
があります。そこ
で見えてきた被災
者個人の抱える課
題から普遍性を
探っていけば、社
会の仕組みを変え
ていくことができ
るはずです。そう
考えて「阪神」か
ら学んだ教訓を次
の災害に生かすた
めの報道を続けて



新聞記者から大学研究者へ野呂雅之君

きました。

いま所属している災害復興制度研究所は「人間の復興」を理念に掲げて、阪神大震災から10年たった2005年に設立されました。

瓦礫が片付いて街並みがきれいになると、被災地は復興したかのようにいわれています。そこでは個人の復興、すなわち「人間の復興」が置き去りにされてきました。その教訓を踏まえ、被災者を主体とした制度の構築につなげるのがミッションです。

被災者のための研究と実践に主眼を置いている研究所の取り組みは新聞記者の仕事と共通項も多く、現場を重視するという考え方は同じです。

東日本大震災から5年が過ぎて、被災地ではボランティアの姿も見られなくなり、メディアも沿岸部から取材拠点を撤収しています。「阪神」の経験から考えると、これから復興の正念場です。

記者時代、被災者の視点から政策提言や制度設計につながるような社説やコラムを書いてきました。その経験から復興の課題は複雑かつ多岐にわたることを実感しています。

だからこそ、「被災者のために」という姿勢を変えることなく、執拗に、諦めず、課題の克服に取り組んでいきたいと考えています。

（兵庫県西宮市）

私の行商人生

宇治 弘晃

（S 56年入寮）

寮で学んだ開拓者精神

生まれ育った東京から北海道へ初めての一人旅で別海町の牧場でアルバイトをした中学3年生以来、私の座右の銘は「開拓者精神」である。初めは帯広畜産大学に進んで酪農を学び、どこかの牧場に婿入りして継こうと考えていた。ちょうど松山千春の「大空と大地の中で」が北海道限定で流行っていた頃だ。高校1年の冬休みには3姉妹の牧場を紹介してもらい数日を過ごしたりもした。それは小学生の女の子との見合いの場だったわけだ。

ところが高校2年の冬休みに浜頓別ユースホステルで会った山スキー部の朝日教之さんに恵迪寮に誘われ、帰路に2晩泊めていただいたことで道が変わる。その雰囲気につきかり魅了させてしまい、進路目標は帯畜大から恵迪寮へと変わった。本音10割建前ゼロ、プライバシーの一切ない空間での生活が人生の礎となったのは諸先輩方と同じである。寮生には実に様々な思想信条、性癖の人がいたが、金がないという一点に関しては共通で、そのために工夫が生まれた。（私は受

験から旅行、就職活動まで学生時代のすべての長距離移動はヒッチハイクだった。社会に出てから役に立つことなんて何も学ばなかったが、寮友と過ごした有り余る時間で得た心意気と寛容性という人生の芯はずっとぶれずに今もこれからもある。

ベトナム・インドで売上ゼロから出発

味の素㈱に入社したのは就職活動が1勝14敗だったからだ。「海外で開拓の仕事をしたい」という希望が叶って、設立2年目のベトナムに赴任できたのは入社してから6年目の1993年だった。

当時のベトナム味の素は惨憺たるありさまだった。いつ潰れてもおかしくない状態ととにかく売れない。配給経済に慣れた市場での現金販売は門前払い。せっかく雇った営業マンを鍛えても、少



「もっといい場所に置いてくれ」と注文をつける筆者

し給料の高い募集があると思うに転職してしまふ。私は初代ハノイ営業所長だが、最初の営業所は倉庫の一角でエアコンや電話はおろか電気すらなく、暗くなるとローソクの光でレポートを書いていた。

売れない市場で店主(オバサン)に売りつけるのは手相占い。じつと手相を見て「おばちゃん、20年前は貧乏だったろう」(戦争中だもん)、「旦那は酒飲みで博打好きだろう」(ベトナム人は全員そう)

「今の旦那の前に本当に好きな人がいたんじゃないの?」(誰だっと思っていい当たることはある)、全部当たるところからもうおばちゃんは目がトロンとしてこちらを信じて言う通りに買ってくれる。するとそれを見ていた隣のおばさんが「私のも見て」同じことを繰り返す。



少数民族の地域にも積極的に行商

赤フン土俵入りで人気商売に

地方都市の部下たちの結婚式では赤フンが活きた。

得意先をたくさん招いた席で赤フン横綱土俵入りを披露するのだ。その場では受けない、みんな哑然として拍手もない。しかし次にその町の市場を歩くと「スモー」などと声がかかって面白いように売れていく。

2度目の海外赴任は2007年からのインド。南インドのチェンナイに進出したのだが誰も「味の素」を知らない。ここに日本発の行商を持ち込むには苦労

した。「最も優

秀な国際会議の議長は、日本人に喋らせインド人を黙らせる」

という至言があるが、とにかくインド人は早口でよく喋る。その難しいと言われるインド英語の一部をご紹介します。

“One second”

「黙れ、俺に喋らせろ」(相手



スモー文化で現地人の心を驚づかみ

の会話をさへざる時、女性も使う)

“Wait one minute、” 2〜30分お待ちください”

“I complete it tomorrow、” 今日はやりません”(1年たつてもtomorrowは来ない)

“Yes, I can do it、” あなたが何を言いたいのかわかりました”(やる)とは言っていない)

“Absolutely、” “Definitely、” 確信持てません”(アラビア語のインシャラー=神のみぞ知る、と同義)

“No problem、” “あれまあ”(意味のない間投詞 フランス語のウ・ララーと同義)

これらの人々と一緒に仕事をするのは骨が折れるが工夫もした。誰も知らない商品を普及するために「キーメニユー」を探す。日々現地の食事を食べて「味の素」をかけてどう美味しくなるかを実感する。そこで見つけ出したのが「ラッサム」だった。タマリンドベースの酸っぱいスープでご飯にかけて食べる。「ラッサムに味の素」のキャッチフレーズで売上は飛躍的に伸びていった。

恵迪寮時代と変わらぬカオスの世界を生き抜く

3度目の赴任地は2011年からのエジプト。インドからの横滑りでゼロからの会社立ち上げた。「アラブの春」直後の混乱期ですべてのものは停滞し、思い通りにいくことは何ひとつない。厄災ともいえる目にも遭った。通訳に騙されてカイロ市内から遠く離れた場所に非常な高値でオフィスを借りさせられ(の

ちにこの通訳がそのオフィスビルに入居してきた。オーナーとグルだったのだろう）まともな場所に移転するまで半年間は毎日の通勤と市場への往復だけで5、6時間かかった。トラブルの解決のために顧問弁護士を探したのだが、口車に乗って起用したのが詐欺師。様々な嫌がらせをされた挙句、この弁護士の事務所の所員を当社の社会保険に登録され、数か月間保険料を騙し取られた。起用した輸入代理店が悪徳で、法外な金を要求して商品を引き渡さない。そんな八方ふさがりの状況も「遅々として進む」という言葉を心の支えにし、毎日起きるトラブルを比較文化（私の専攻は文化人類学）研究として日記に残しながら楽しみに変えている。

赤フン姿のミスターサムライ

遅刻が多くて試用期間でクビにしたセールスマンに催涙ガスを撒かれた、不正を追及したセールスマンに「俺はもつと大きな不正をできたのにしなかったのだ You should thank me!」と逆切れされた、など。エジプト人は怒りに対する沸点が低い。待遇に不満を持ったセールスマンが社長室に殴り込みに来るという他国では考えられないことを2度経験した。それ以来私は護衛のために手の届くところに孫の手を置いている。襲われたら孫の手で逆襲する。武器を持っていると思われるのはいけないから時々背中をかいている。エジプトでは肌を見せるのが禁忌でなかなか赤フンにもなれな



中東はテロやトラブルが続発。唯一の息抜きは紅海のリゾート地

いのだが、紅海のリゾート地では赤フン姿が話題になり「ミスターサムライ」と呼ばれている。

50歳を過ぎても座右の銘を実現し、恵迪寮時代と変わらないカオスの世界を生きられているのは誠に幸福な人生だと自分で思っている。

（エジプト味の素社長、留守宅・大阪府豊中市）

「都ぞ弥生」 楽節再編の試み

鍵和田 忠男

(S 39年入学)

過去にもいくつかの編曲

ご存じのことと思うが、「都ぞ弥生」には過去にいくつかの曲があり、統一されていないようである。私が入学した昭和39年版と、会社を1年で辞めてドクターコースに戻ってきた昭和45年版（印刷された手書きのコピー）はまったく同じの2／4拍子であるが、昭和52年版では2／4拍子に4／4、3／4拍子が混ざっている。私自身は入学時の昭和39年版しか知らなかったし、それに親しんでいたので、52年版の「次は4拍子」「今度は3拍子」とめまぐるしく変わる編曲に違和感や戸惑いを覚えた。

しかし考えてみると、なぜ、作曲家以外の後生の間がそんなに編曲するのだろうか、「何かあるな」と疑問に感じ、歌詞のリズムや楽節構成について検証と再編を試みた。

歌詞のリズムと楽節構成

まず歌詞のリズムを見てみよう。2文字を1拍として、行の最後に1拍(休)を付け加える。

みや こぞ やよ いの くも むら さき に(休)
はな のか ただ よう うた げの むし ろ(休)
そうすると、1行は8拍となり、この曲が2拍子だとすると、8拍Ⅱ4小節Ⅱ2動機Ⅱ1「小楽節」に相当する。2行は合わせて、8小節Ⅱ4「動機」Ⅱ2「小楽節」Ⅱ1「大楽節」で、最初の2行を「第一大楽節」と呼ぼう。次の第3、4行は第二大楽節となるが、ここまではリズムに問題はない。

さて次はどうだろうか？

ゆめ こそ ひと とき あお きし げみ に(休)
もえ なん わが むね おも いを のせて(休)
これは第三大楽節と言えるかどうか、答えは「否」である。なぜなら、ここではもはや2文字が1拍ではなく、もっと複雑になっている。

そこでここからは、全角（ひらかな）1文字、半角（カタカナ）2文字をそれぞれ1拍とし、「(休)」も全角1文字である。それに伸ばすのは「ー」で、これも1拍とする。また、各小節を「・」、各動機を「…」で区切ると次のようになる。

第三大楽節

(休) 1x・こそー1ひとときー1あ・きし…3に・

第四大楽節

ー1え・なんー1わ・むねー1む、いを…2て・

第五大楽節

(休) 杉、かげー1や・かにー1か、れる…2を・
(休) …

第六大楽節

トヨ・のーキ・時・知外・知ル・ぬ(休)

初めに「ちよつとおかしいかなとも思う」と述べたが、お分かりいただけたと思う。何かというと、本来なら

第三大楽節

(休) ム・こそート・ときーア・きしーミ・にー

第四大楽節

(休) 丘・なんート・むねー托・いをー地・てー

第五大楽節

(休) 杉・かげーヤ・かにーハ・れるー妙・をー

第六大楽節

(休) ト・のよーのキ・よきー知・ぞとー知ル・ぬ(休)

となるべきだろう。

第三・第四・第五・第六の大楽節において、それぞれの後小楽節が成立せず、したがって当然のこととして、大楽節も成立しない。これは一見何でもなさそうだが、全体の流れとして不自然である。実際に、1番から2番へ歌い継ぐときに、「あれ、何かへんだな」と感じる。それが証拠に寮祭などで学生服の太鼓係の寮生が、ときどき打つべきタイミングを失い、「あれ!!」という戸惑い気味に手を休めるのは、これが原因では

ないかと思う。

要するに、^レ尻切れトンボ^クと言うより、^トトンボの胴にチヨウの尻尾^クの感じである。

過去の編曲の良し悪しを云々する積もりはない。著者が著者の考えを示すだけである。その考えとは、リズムの繰り返しが正しく行われること、即ち楽節が均等であることである。正しい、正しくない、の判断基準は特にないが、「途中でリズムが変わると、なんか変だな」と感じるだけである。

もっと具体的にいうと、**第三大楽節以降の小楽節のリズムがすべて同じ、従ってこれら小楽節を形成する動機のリズムが全て同じになるようにした。**

ところで、著者はこの文の中で、「それぞれの後小楽節が成立せず」とか、「大楽節も成立しない」と言いながら、「第○……の大楽節において」などとの表現は矛盾そのものではないか、とのご指摘もありそうだが、楽譜の上の場所を表すための表現と寛大に見ていただきたい。

楽譜における楽節構成

以上は歌詞におけるリズムを見たが、次に楽譜を見てみよう。第一・第二の大楽節(図1)は問題ない。

図2の第三大楽節(一番上)において、第6小楽節が3小節しかなく、**動機**として1つ半、すなわち小楽節が成立していない。同じことは一段下の第8小楽節にもいえ、3小節しかなく小楽節が成立していない。



図1：第一・第二大楽節（修正不要）



図2：第二～第六大楽節（一部要修正）

さらに第12小楽節に至っては2小節しかない。とにかく、これらの小楽節を完全にして、大楽節も完全にす。各小節を読点「・」で区切り、各動機を「…」で区切ると、第一大楽節（図1）は

タッタタッタ、タッタタッタ。タッタタッタ、

タッタタン。

タッタタッタ、タッタタッタ。タッタタッタ、

タッタタン。

4動機・8小節、即ち2小楽節・1大楽節で、第二大楽節と同様に問題ない。

第三大楽節は

ウンタッタ、タンタン。ダンタッタ、タンタン。

タンタッタ、タンタン。タッタタン、

であり、一見してお分かりのように1小節の不足である。第四大楽節も全く同様である。

第五大楽節は

ウンタッタ、ツンツン。ダンタッタ、ツンツン。

タンタッタ、ツンツン。ダンタッタ、ツンツン。

であり、第一・第三大楽節と同様に問題ない。

第六大楽節は

タッタタッタ、ツーーー。タッタタッタ、

タッタタッタ、タッタタッタ、タン ウン。

なんと、2小節即ち1動機の不足である。

以上の結果をまとめると、完全なのは、第一・第二・第五大楽節のみで、第三・第四大楽節は1小節の不足、第六大楽節に至っては1動機の不足である。この不完



図3：修正した「都ぞ弥生」の第三～第六大楽節

全な動機を完全にする必要がある。

著者の考えた編曲

小楽節を完全にして、大楽節も完全にする。たとえば
第三大楽節

㊦ ムこそーヒときーアきしヘにー
とあるのを、

㊦ ムこそーヒときーアきしヘにー
とすることである。同じように第四大楽節・第六大
楽節も正しくする。

こうして出来たのが図3だが、第10・第12小楽節を
見て頂きたい。著者の手が加わったことで、これらの
リズムがすべて第5・第7・第9・第11小楽節と同じ
になった。ついでに言うなら第三大楽節以降のすべて
の小楽節において、全ての動機が同じリズム

ダン・タッタ・ツン・ツン

となっていることがお分かり頂ける。これで「都ぞ弥
生」のリズムは正しくなったと思う。

結論として図1・図3（図2は省いて）の順に歌っ
ていただければ、作曲者が意図したどおりの曲になる
はずである。

（北大名誉教授・札幌市南区）

夜長

小沢久弥

(S17年入寮)

春

早春の納屋の扉の開きしまあま

出勤の我が家の門の朝桜

静まれる摩周湖畔の朧月おぼろつき

夏

新樹かげバス連なりて待機中

ゴミ置場の掃除も終りしよ柿若葉

バス降りてバス去りゆけば夏の月

秋

学徒征く母校の庭のカンナかな

七夕や十勝の夜空碧々あおあおと

子等帰り元の二人となる夜長

冬

小春日の犬に遊んで貰ひをり

北風に自動扉の開きあ渋る

乗り換えはとんとん拍子初電車

(川崎市麻生区)

10年ぶりの進修学寮同窓会

「オバンケラの米寿を祝う」

大 橋 香
(S45年入寮)



花束や記念品を贈られ感無量の藤沢アサさん(右側2人目)

我らが進修学寮(通称・進修寮)の元寮母「オバンケラ」の愛称で親しまれた藤沢アサさんの米寿祝いを兼ねて10年ぶりの同窓会が昨秋10月31日、クラーク会館大集会室で盛大に開催された。

同窓会開催 までの経過

医学部前の銀杏並木が黄金に輝く10月末から11月初めの週末を開催時期に設定し、札幌市内の会場を探したが、あいにく5

000円以内で開けるホテルはほとんどなかった。そんな時に、恵迪寮同窓会代表幹事の白浜憲一君からクラーク会館なら、安くできるようだと言き、クラーク食堂を運営している北大コープと交渉の末、会場を確保することができた。

筆者・大橋香ら数人の幹事役で準備会を結成し、まず恵迪寮同窓会で名簿作りのノウハウを持つ吉沢武治君に卒寮生名簿の作成をお願いした。そして昭和26年入寮組から昭和58年卒寮組まで393名のうち、消息不明39名、逝去46名を除く、301名に案内状を送付した。その結果、後述する名文の案内状の効果もあって道外在住者31名を含め、80名もの出席者があった。

同窓会の案内状

進修寮同窓会(オバンケラ・藤沢アサさんの米寿のお祝い)開催のお知らせ

拝啓 進修寮が昭和五十八年に閉寮してから、早いもので三十余年の歳月が経過いたしました。同窓生の皆様におかれましてはその後いかがお過ごしでしょうか。

寮母の藤沢アサさんも、本年一月、満八十八歳、目出度く米寿を迎えられました。藤沢さんは今年にかけて長女夫妻を相次いで亡くされるという不幸に遭われましたが、持前の気丈さをもって、明るく元気に過ごされております。

つきましては、寮母の米寿記念に合わせ、久しぶりに

同窓会

同窓生が一堂に会する機会を設け、ここにご案内をする運びとなりました。

この度は会場を懐かしいクラーク会館といたしました。時は晩秋、黄葉の銀杏並木もちょうど見頃を迎えているはずです。少し早めに着いて、榆やポプラの落葉を踏みしめながら、雪虫の舞う北大構内を散策してみるのが一興です。そして胸いっぱいの感傷に浸りつつ、旧友と一献傾け、昔話に花を咲かせ、懐かしい寮歌などいくつか唱和してみるのはいかがでしょうか。

ぜひ多数のご参集をお待ちしております。 敬具

記

日時 平成27年10月31日 午後5時から
会場 北海道大学クラーク会館2階 大集会室
会費 6500円（記念品代等を含む）

平成27年8月15日

幹事 白浜憲一（45年卒寮） 稲田雅久（50年卒寮）
吉沢武治（50年卒寮） 大橋 香（50年卒寮）
吉成久和（53年卒寮） 森川満彦（54年卒寮）

同窓会宴会の顛末

大橋香君の開会あいさつで同窓会は始まり、白浜憲一君からオバンケラに参加者一同からの米寿のお祝いを、森川満彦君から花束を贈呈した。続いてオバンケラ藤沢アサ様から万感極まる挨拶があった。

祝宴は、出席者最年長の西沢郁夫君の乾杯で始まった。



祝宴を发声する参加最年長の西沢君

OB諸兄は、久しぶりの再会に語り合い、しばし寮生活時代にタイムスリップ。年代別に分けたテーブルからのスピーチは、昔のエピソードが盛りだくさんで笑いの渦となった。88個のいちごを盛った大ケーキにオバンケラがナイフを入れると、宴会は最高潮に達した。

寮歌は「水産放浪歌」に始まり、「花繚乱の」、「環珞みがく」、最後に「都ぞ弥生」を全曲斉唱した。宴会終了後、クラーク会館の前庭で「ストーム」が繰り返し行われ、別れを惜しむ光景が見られた。

出席者

藤沢アサ（オバンケラ） 奥原郁子（次女）
西澤郁夫（33入寮・北広島市） 柴野直行（34入寮・札幌市清田区） 佐藤直樹（36入寮・恵庭市） 太田博視（同・札幌市東区） 横山武彦（37入寮・江別市） 中山貞夫（同・茨城県笠間市） 岩井滋（38入寮・札幌市厚別区） 長田博康（同・札幌市豊平区） 水田泰之（39入寮・兵庫県芦屋市） 丸山武（40入寮・旭



フィナーレは「都ぞ弥生」の大合唱

川市) 田村賢治(同・東京都渋谷区) 千葉正喜(同・札幌市東区) 中川晃(同・北広島市) 川原圭二(同・北広島市) 広田知保(同・小樽市) 酒谷茂靖(同・旭川市) 千葉文男(同・札幌市南区) 長浜秋良(42入寮・札幌市南区) 大野泰熙(同・埼玉県所沢市) 曾我部正幸(同・東京都港区) 飯田晏久(同・北広島市) 三亀和雄(42入寮・千葉県印西市) 白浜憲一(同・札幌市北区) 鈴木博史(43入寮・愛知県蒲郡市) 山口幸夫(同・千葉県千葉市) 伊藤哲生(同・音更町) 勝山真吉(同・岩見沢市) 竹内将治(44入寮・札幌市豊平区) 横山健次(45入寮・石狩市) 濱向昭一(同・芦別市) 春名敏弘(同・千葉県習志野市) 黒田正一(48卒寮・札幌市北区) 佐々木真津生(同・川崎市) 財津勲(同・岡山市) 高島秀典(同・札幌市東区) 高瀬晴久(同・栃木県宇都宮市) 札幌市白石区) 多田勝(同・川崎市) 中島章夫(49卒寮・札幌市白石区) 瀬尾和夫(同・横浜市) 澤田伸一(同・札幌市豊平区) 土屋明(同・静岡県沼津市) 吉田唯男(同・札幌市北区) 尾崎秀夫(同・神奈川県山北町) 白井清(50

卒寮・千葉県四街道市) 吉沢武治(同・札幌市南区) 有賀秀夫(同・東京都町田市) 寫田康之(同・札幌市西区) 松井時夫(同・横浜市) 中村純夫(同・旭川市) 大橋香(同・岩見沢市) 稲田雅久(同・札幌市中央区) 丹上正安(同・京都府長岡京市) 佐々木隆(51卒寮・青森市) 松井英樹(同・札幌市中央区) 江本永二(52卒寮・埼玉県鴻巣市) 太田実(同・群馬県高崎市) 吉成久和(53卒寮・札幌市西区) 林正伸(同・札幌市手稲区) 明官秀隆(54卒寮・福岡県久留米市) 島田高敬(同・札幌市手稲区) 境利一(同・旭川市) 竹内渉(同・札幌市北区) 森川満彦(同・江別市) 高橋幹夫(同・札幌市北区) 竹森俊之(同・石狩市) 布谷良二(55卒寮・神奈川県横須賀市) 清水浩行(同・奈良江町) 勝田光雄(同・大阪府大阪市) 樫村敏広(56卒寮・札幌市北区) 藤原清(57卒寮・神奈川県横浜市) 森川潔(同・札幌市中央区) 丹羽岳人(同・静岡県袋井市) 安部敬太(58卒寮・東京都東村山市) 安藤洋一(同・神奈川県横浜市) 栗田明(同・神奈川県横浜市) 千本木要(同・苫小牧市) 吉野宣彦(同・江別市) 寒河江彰(同・札幌市中央区) 杉浦千尋(同・札幌市北区) 酒井康弘(同・宮城県石巻市)(当日欠席した方を含む) (敬称略)

「進修」の由緒

明治44年、旧紀州藩主徳川頼倫公が南葵育英会を設立し、学資不足で進学を断念しようとした旧紀州藩出身の子弟の育英に尽くした。そこで、自分の江戸屋敷の一角に「進修学舎」、京都に「第二進修学舎」、北海道に「第三進修学舎」がつくられた。

戦後、大学がこの寮を買い取り、「進修」の名前を引き継ぎ、「進修学寮」として、北大の学部寮の一つとしたことに由来する。

さすがに紀州藩。当時は白亜の館で、内装も引き戸は、杉の一枚板の立派な建物であった。「第三進修学舎の印」はそのまま寮の決済印として廃寮まで使用していた。

〔編集部注〕進修学寮は当時5棟あった学部寮の一つでしたが、恵迪寮からの移行者がつねに80%を超えていたことから、今回、同窓会として会誌に掲載しました。

昭和49・50・51年入寮同窓会

支笏の湖に還暦の寮歌を響かせる

世話人 山本 牧

(S49年入寮)

2016年5月28、29日の両日、支笏湖丸駒温泉旅館（千歳市）で「あれから40年―昭和49・50・51年入寮同窓会」を開催した。還暦前後となった同窓50名と同窓会の先輩幹事2人、計52名が旧交を温め、寮歌と歓談の夜を過ごした。

どの年次もそうだが、すべては名簿作りから始まる。代表世話人、橋本博行君の指揮の下、半年前から同窓名簿や当時のアルバム郷関録、学科や部活動、個人のつてを辿って空白を埋めていった。ネットの人名検索で、いきなり電話したこともあった。

当初半数以下だった判明者が、最終的に8割に達した。名簿の1行にひとりの40年間の刻まれている。物語者16名も判明。「あの元気な奴が」と顔を見合わせた。

会場は丸駒温泉。支笏湖畔に住む鹿田幸年君が交渉や下見を引き受け、湖面を見渡す大宴会場に太鼓まで用意してくれた。1階客室を占有し、他の宿泊客と隔

離して、心ゆくまで高歌放吟できる場となった。

当日、受け付け後、さっそく名物の露天風呂へ。湖面の向こうは昔と変わらぬ風不死岳。新緑と満開のツツジの下で、「おまえは変わらん」「今何してる」と話が弾んだ。

再入寮式で開宴

夕刻、宴会場に集合。同窓会旗を囲み、全員の集合写真を無事撮り終えた。式次第は40年目の「再入寮式」という趣向。鹿田君は、支笏湖畔の旧北大支笏寮敷地の建物を買い取り、「散星湖寮」と名付けて悠々独居しており、今回の寮長役となった。

「都ぞ弥生」斉唱に続き、最も童顔の内野浩克君が代表として、「再入寮を機に、旧友と共に自治と自立の精神を鍛え直し、来るべき後半生に向けて英気を養う」と高らかに宣言した。入寮祝賀品は鹿田君、山本牧秘蔵の往年の写真を納めた72ページの写真集であった。

会食をしながらのメインは「1人1分挨拶」。太鼓が鳴るまでの60秒間に思いを込め、仕事への誇りや家族のこと、海外生活、寮先輩の思い出など、さまざまな語りに皆聞き入った。

寮歌放吟の二次会

二次会のはの暗い湖面を見渡しながら、広間で上映会と寮歌放吟。昭和のNHK番組では、コンパやストーム、モツラで語り合う若い姿が映し出された。2

00枚近い当時のスライド写真では、見事な赤フン姿のパレードや水泳大会、水産追いコンのほか、窓辺のくつろぎや廊下の佇まい、四季の花々など、静かな日常も映し出された。「誰だ?」「若い!」「今ならできんな」と飛び交う野次に、いっそう思い出が深まった。深夜まで歌い続けた寮歌はおよそ25曲。歌詞を画面に映せば、まだまだ歌える。40年前のメロディが身体の中から気持ちよく流れ出てきた。「都ぞ弥生」5番まで歌いきり、皆この上なく邪気のない、素晴らしい笑顔となった。



明け方まで飲み語り尽くす

三次会は各室に入り、自慢の酒を酌み交わし、往時の記憶、来し方、友人の消息など、深夜明け方まで語り尽くした。

翌朝は別れの時間。空港へ、我が家へと散る。20名ほどが散星湖寮に立ち寄って名残を惜しみ、さらに数名は1泊して延長戦を満喫した。

当日参集したのは50名だが、欠席連絡に思いの

同窓会



たけを綴った寮友は100名余り。後日、往時や当日の写真とともに、友へのメッセージをデジタル化してお届けする予定である。

◆ 参会者名簿 (50音順・敬称略)

■ 49年入寮組

荒木肇 (札幌市) 荒津茂徳 (愛知県日進市) 犬塚秀一 (江別市) 川瀬和博

(三重県いなべ市) 境政人 (埼玉県小川町) 柴野悦男 (富山県富山市) 立見裕 (茨城県水戸市) 坪坂耕吉 (富山県高岡市) 野口裕二 (東京都武蔵野市) 橋本博行 (江別市) 平原伸幸 (神戸市) 深津修一 (札幌市) 水落廣之 (新潟県十日町市) 森川満彦 (江別市) 山本牧 (旭川市) 吉成久和 (札幌市)

■ 50年入寮組

梅津邦夫 (三重県四日市市) 太田充治 (茨城県牛久市) 小木聡 (川崎市) 齋藤憲一 (東京都江東区) 斉藤文彦 (秋田県仙北市) 鹿田幸年 (千歳市) 鈴木弘 (札幌市) 高橋俊 (札幌市) 竹中秀行 (訓子府町) 千原治 (札幌市) 笛木孝雄 (新潟県南魚沼市) 布野洋一 (石狩市) 柳井清治 (石川県野々市市)

■ 51年入寮組

浅沼裕司 (東京都国立市) 浅野泰生 (札幌市) 池浦靖夫 (札幌市) 石川隆雅 (長野県松本市) 稲葉則次 (北見市) 岩井隆郎 (大阪市) 内田敏博 (千葉県市原市) 内野



浩克 (帯広市) 太田勝一 (長野県松本市) 小野高秀 (札幌市) 門沢健也 (室蘭市) 小出良幸 (江別市) 小林次郎 (千葉市) 高石勇光 (函館市) 田畠実 (富山市) 富久日出男 (岡山市) 長尾博 (広島市) 新居康昭 (東京都中野区) 森重正也 (札幌市) 安田健治 (千葉県君津市) 山本慎之介 (兵庫県西宮市)

■ 恵迪寮同窓会役員

白浜憲一 (札幌市) 吉沢武治 (同)



中村光弘さん

「都ぞ弥生」を 読売書法展に 連続出展

書家、中村光弘さん

「都ぞ弥生」の詩歌に魅せられた書道家が一番から五番まで毎年一作ずつ国内最大級の公募展・読売書法展に出展し、連続入選しました。恵迪寮同窓会では書家から寄贈された作品（原本）を一番から五番まで5枚のレプリカにして、寮歌祭などで披露しています。

「都ぞ弥生」を書き上げたのは、元農林水産省局長の中村光弘さん（77）（雅号・騰翻^{とんぱん} 千葉県市原市在住）です。

書道の教師を父親に持つ中村さんは、福岡県八女市の小学校時代から書に親しみ、小学3年から中学3年まで県下の書道自慢が集まる席上揮毫会に参加し、秀逸の成績を残すなど、将来は書家を目指していました。

東大教養学部から農林省（現・農水省）に入局、激務の傍ら著名な書家・浅見錦龍氏（書星会理事長）に師事しながら、3年間の海外勤務（ドイツ・ハンブルグ）でも添削書道で腕を磨き、帰国後の1981年、書星会長賞、82年太玄書展特選、98年読売書法展特選など次々にビッグな賞を受賞しています。

定年を機に念願の書家になり、唐詩選など漢詩を中心に書いていましたが、農水省時代の同僚で今でも親交がある

北大出身者がよく口ずさんでいた「都ぞ弥生」の歌詞に強く興味を覚えました。

「私自身も学生時代駒場寮に住んだ経験があり、寮歌には特別の思いがあります。特に「都ぞ弥生」の歌詞は格別で、いつかは書法展に出そうと思っていました」。そして、北大寮歌が作られて100年の節目に当たる2011年、まず一番を漢字調和体で書き上げ、その年の読売書法展に出品。概ね好評だったことから意を得て、次の年から一挙5冊書体を変えながら書き続け、昨年の五番まで、見事連続出展の偉業を果たしました。

書家は出展ごとに数百枚も書き上げますが、中村さんは5番までの達成記念として手元にあった自信作の一点を、同僚の北大時代の友人を通して恵迪寮同窓会に寄贈。同窓会では作品をレプリカ風の額装にして、今年1月の新年歌始めの会でお披露目したほか、各種イベントなどに貸し出すことも検討しています。



新年歌始めの会で披露された「都ぞ弥生」の額装

留学生との交流で国際化をめざそう

第306期執行委員長 早 川 留 架

(H25年度入寮)



少々前から、日本では英語が求められるようになりました。小学校では英語がカリキュラムに組み込まれ、企業では昇進のためにTOEICの点数が必要などところもあると聞きます。これらは国際的に活躍できる人材を育てるために取り組まれているのでしょうか。その中で北大はスーパーグローバル大学に選ばれ、国際化に舵を切っています。北大生の留学を支援する制度や北大内の留学生の増加など、いくつかの政策を打ち出しています。順調にいけば、留学を志す北大生が増えていくことでしょうか。これは恵迪寮に集まる北大生も同様です。いずれ寮に住む留学生との交流を欲する人たちが増えていくのでしょうか。

一方で寮には排他的な側面もあり

ます。これは寮外を蔑視している訳ではなく、寮内での人間関係に満足したために寮外に求めなくなるというものです。一年生が寮内の行事に参加して、全学行事を欠席するとう話を時々耳にします。このことは同じ寮に住む留学生に対しても同様で、現在自治会として留学生との交流はほぼありません。以前は定期的な交流があったそうですが、現在では時々留学生との交流に力を入れる期があるだけです。

北大が国際化を進めているから寮もするべきという話ではありません。外部の影響にとらわれずに自分たちで新たな生活を求めていくという姿勢は、この寮にとって大切なものだと思います。しかし寮に住む寮生の中に留学生との交流を求める者

が増えれば、いつかは自治会として動いていくことでしょう。そして留学生と関係を築こうとすれば、ハードルがあり、妥協しなければならぬ点があります。言葉の違いは最ものものでしょう。文化や考え方が違う者が同じ催しに参加するには、言葉で説明する必要があります。このようなハードルを解決するには、ノウハウが欠かせません。いずれ来る留学生との交流に備えて、自治会としてそのノウハウを積んでいく必要があります。

寮生活は魅力的であり、一度はまってしまうと外に目を向けることが難しくなります。しかし、自分たちの生活圏を拡大することで魅力が増すこともあります。今後物事にとらわれずに寮生活を謳歌していければと思います。

(理学部数学科3年)

平成27年度 寮歌「咲く六華よ」はな

鈴木美奈君 作詞
小松遼貴君 作曲

昨年女子寮長誕生以降、恵迪寮内における女子力の充実はすさまじく、27年度寮歌の作詞者も、茨城県水戸市出身の水産学部進学課程2年の鈴木美奈さん(19)(県立水戸一高)に決まった。

7作品の中から選ばれた「咲く六華よ」の詩歌は、今どきの女子学生の作と思えないほど高度で巧みな表現を駆使している。例えば、4番の「無何有の郷」は、中国古典の莊子から引用した言葉で、自然のままで何の作為もない理想郷を意味し、すなわち恵迪寮を指すという。同じ4番の「よわいの齡延べたし」は恵迪寮花・延齡草を逆に使ったもの。このほか、寮生活を葛住居と表現したり、ポプラの別名、箱柳を使ったりと、実に語彙に富んでいる。

「1年の夏休みに、過去の寮歌のまねにならないよう、じっくり調べ、ネットなどで話題になっている言葉を探し引用しました。恵迪寮に入って最高の記念になり、感激しています」。

水産学部進学のため、彼女が在寮出来るのはあと1年。学生時代に多くの経験を積もうと、寮委員会活動にも積極的に参加している。

一方、作曲の小松遼貴君は文学部心理学専攻の4年生。

歌詞のすばらしさにほれ込み、寮にあるおんぼろピアノを駆使して作り上げた。

「やや固めのイメージを払拭しようと、リズムミカルで明るい曲に仕上げました。作曲したもののダイナミックに音階が上下するため、オンチの私にはうまく歌えません」と、作曲者に代わって鈴木さんがアカペラで歌ってくれた。

寮では少数派になる道内出身者(滝川高校)。見聞を広めようと3年時に1年間休学し、ヨーロッパや東南アジアなど十数カ国を旅行した。「各国の若者たちと交流してきましたが、寮生たちが国内外から集まっている自由闊達な恵迪寮の良さを再認識しました」と、多忙な就活の合い間を縫って寮生活を楽しんでいる。



作詞の鈴木君(左)と作曲の小松君

咲く六華よ（平成二十七年年度寮歌）

小松 遼貴君 作曲
鈴木 美奈君 作詞

一、 学び舎の野に 咲く六華よ

我らを招く 北寮の幸
のぞみ
大望麗し この道に
ますらお
名花丈夫 集い来る

二、 涼風に舞う 箱柳
すずかぜ
寮歌鳴り響く 夕餉時
うた
ひとみち
先人継ぎし 一途を
未だ踏み初めし 寮友なり
われち

三、 榆影傾く 夜の静寂
ゆえいかたぶ
微睡み知らぬ 蔦住居
ましろう
すまい
憂いの醒めぬ 世の岐も
満ち行く若月が 照らすかな

四、 季節巡りみて 朔風は風ぎ
むか
かぜ
無何有の郷を 離る時ぞ
さ
か
嗚呼忘るまじき 我が迪の
よわい
齢延べたし 青き春

咲く六華よ

♩ = 116

小松 遼貴君 作曲
鈴木 美奈君 作詞

ますゆき なすえせ びかい つ のにたぐ やぜかめ のまぶ り にうく て さはよ か くこのぜ はやしは ななまぎ

ぞんれ あ のせう あ ちきいぞ さどまき のげずと たうたる きゆつか くくぬを まほらと らなろの をりみの れたどか わうまむ

みじい わ うんのす るつさる わぎめ まじ ししぬき こひよわ のとのが みみみみ ちちちち にをもの

1. 2. 3. めいだち よ まみゆい かぶみく の すそつべ らめきた おしがし つわて どれらす くらな すゆき ずえせ

4. あ お き は る

〈北大ホームカミングデー2015協賛〉

「有島武郎と北大・恵迪寮」

北大名誉教授 神谷 忠孝

(S33年入寮)

有島の生い立ちから札幌農学校予科入学、作家へ転身、そして軽井沢での心中まで、この世を一気に駆け抜けた、浪漫あふれた壮絶な人生を、恵迪寮舎監時代の日記からひも解く。

(講演の骨子)

有島は1878(明治11)年、東京で生まれた。父・武は薩摩藩の武士階級で、大蔵省に勤務し、36歳のとき新渡戸稲造の養父の媒酌で幸(当時24歳)と結婚。武郎が生まれた時の役職は、関税諸規則取り調べ御用掛で、一般人の約6倍に当たる月給80円の高給取りだった。

1887年、学習院予備科3年級に編入学。翌年、皇太子・明宮嘉仁はるのみやよしひと(のちの大正天皇)の学友に選ばれ、毎週土曜日、吹上御殿に伺候することになる。

1896年、学習院中等科を卒業し、札幌農学校予科5年級に編入学。新渡戸稲造教授の官舎に寄寓する。翌年、父の努力でマッカリベツ(現ニセコ町)に「国有未開地処分法」の土地約百万坪を取得。武郎名義になったのは1908年。

1901年3月、開校25周年に校歌「永遠の幸」を作詞。

7月9日、札幌農学校本科農業経済科卒業。卒業論文は、奴隷解放をテーマにした「鎌倉幕府初代の農政」。卒業後、一年志願兵として入隊し、11か月の軍隊生活を送る。

1903年、新渡戸稲造の勧めでアメリカのハヴァフォード大学留学を決意。森本厚吉と船便で渡米。1904年、精神病院の看護夫として働き、社会主義者・金子喜一と親しくなる。

1906年、アメリカを発ち、ローマで弟の生馬と合流してイタリア各地を巡る。この時、スイス・シャフハウゼンでホテルの娘、ティルダ・ヘックを知る。

1907年、生馬と別れてロンドンに向い、ロシアの思想家・クロポトキンを訪問した後帰国、5年ぶりに札幌の土を踏む。まもなく東北帝国大学農科大学英語講師に任じられ、予科、土木科、林学科一年生の英語を週11時間担当する。

1908年1月、札幌独立基督教会会員一同の希望で日曜学校校長に就任。1月23日、社会主義研究会に出席し、ラスキンを講義。3月19日、学生監部勤務を命じられ恵迪寮の舎監として10月10日まで約7か月間住み込む。その日の「日記」に、(個人の下宿屋よりも寮生活の方を選ぶに足る理由を見いだしても喜んでゐる。部屋は2階で、明るくて広く、風通しがよく清潔で、しかも最もよいことには、静かだ。荷物を満載した二台の櫓を、その主なものは書物だが、門番達が運び上げてくれ、僕は満足いくようにこれらのものをせつせと整理した。部屋には南側に二つ、西側に一つの窓があり、エルムの森を見下ろし、更に遠く



には藻岩と手稲の山並みが続いている。雲雀や他の鳴鳥に歓迎されて、春が緑や花を身に着けはじめたとき、どんなに素晴らしいだろうと考えただけでも心が躍る。寮生は約百五十人で、皆とてもよく訓練されている。」

3月28日には、〈夕食後、開識社の月例会があった。大勢の学生が話をし、僕もまた話した。寮生が実によく訓練されていることは十分信じてよいと思う。上手に導けば、彼等を勇気ある前途有為の若者に育て上げることができるだろう。〉

この日は恵迪寮に設けられた開識社の第一回だった。有

島は「米国の学生生活」

という題で講演し、アメリカの学生が勉強とスポーツを両立させていること、寄宿舎では相互に信頼し、他人の権利を承認して生涯にわたる友情を養っていることなどを話した。

北大に今も受け継がれているストームは、このとき有島が紹介したものといわれ、恵迪寮二代目委員長の色部米作が「札幌農学校は蝦夷ヶ島、熊が住む」の

作詞を書いた。開識社講演の記録には「宗教と科学」「西洋画発達について」などの講演が行われたことが記されている。

翌29日、学生32名を誘って藻岩山雪中登山を行っている。

4月24日、〈寮の賄いに問題が起こった。どうしても解決しなければならぬところまで来た。委員会が成立した。多分自治が一番いい方法だろう。〉さっぽろ文庫『農学校物語』―〈賄人に適当な者を得ることができず、ついに自炊制を施行することになった。炊務委員が会計、購入、献立の検討に当り、雇人を採用監督することになった〉（筆者は水野一氏）。

5月2日、朝食後、農場の裏手の方へ散歩に行った。〈春がこっそりと地中に息づいている。草も萌えはじめた。針縦は枝一面に緑の新芽をつけている。そして見よ。青空で雲雀が囀っている。僕はじっと立って、荘厳な気持ちで、彼らの歌を聴いていた。僕を感動させているものは希望でも至福でも、喜びでもない。何かもっと悲しいもの、もっと甘酸っぱいものなのだ。多分、死の囁きかもしれない〉

6月1日、陸軍歩兵少尉（予備兵）に任じられ、同4日、予科教授、高等官六等、七級俸発令さる。9月1日、日比谷松本楼で陸軍中将神尾光臣の次女安（安子）と見合いし、9月12日、神尾家で盃と指輪を取り交わす。9月15日、美術団体「黒百合会」発足、顧問に就任する。

10月5日、〈夕食後、高岡教授を訪問。官立の学校で教えるのがいやになってきた。それはある種の研究を閉めだしてしまふ。研究の真の精神を虐げる。かつてブルーノが

オックスフォードのことを「知性の年老いた後家」と呼んだことがある。日本の大学が高潔の士からこれと同じような呼称をもらわないように切に望む。」

10月10日、〈概して晴れ、時々雨。北3条東3丁目9番地へ引越す。守谷、板倉、前田、米田、それに足助が手伝ってくれた。正午までに落ち着いた。安子から手紙なし。寮で僕の送別会。〉

10月15日、社会主義研究会に解散命令が出る。1909年1月、遠友夜学校代表者に就任する。3月下旬、東京で結婚式。1910年、雑誌「白樺」に評論「二つの道」、創作「老船長の幻覚」「かんかん虫」を発表。

1911年、皇太子が札幌入り、東北帝国大学農科大学予科教授陸軍少尉として拝謁する。「或る女のグリンプス」を「白樺」に連載。

1914年4月、北海道拓殖銀行より担保ながれの農場94町歩を7500円で買収し第2農場とする。有島農場は総面積444町歩（約440ヘクタール）となる。9月上旬、安子が発熱し気管支炎で入院。翌年3月、安子を神奈川県の病院に入院させ、大学に休職届けを提出する。

1916年8月2日、安子は3児を残して死去。享年27歳。12月4日、父が胃ガンで死去。74歳。

1917年3月25日、農科大学の休職期間が切れ退職となる。この頃、創作「カインの末裔」を発表。1918年4月、同志社大学英文科講師を委嘱される。8月、東京に出版社・叢文閣を創業。「生れ出づる悩み」完稿。

1920年9月、狩太の農場に着き農場解放の準備を進

める。

1922年1月、評論「宣言一つ」を発表し、多くの批判を受ける。また、農場解放、財産放棄を弟妹に告げ賛同を得るが、母は反対する。7月18日、弥照神社に小作人一同を集め農場解放（無償譲渡）を宣言。12月、財産処分のため、邸内で書画の一部を公売する。

1923年、2月17日、売却公表について、「総坪数千九百九十坪、樹木の多い荘麗な庭園を有し総坪二百坪、間数は西洋間とも二五間で、外に二百七十坪ばかりの貸家その他の付属物が付いてゐて、時価少なくとも五十万円（『読売新聞』）と報じられる。3月上旬、四谷南寺町に借家（家賃75円）を確保し4月10日に移って創作に励む。6月4日、足助素一の縁談のため千葉に赴き、波多野秋子（『婦人公論』編集者）とともに船橋の旅館に宿泊。6日、秋子の夫春房に呼ばれ春房の事務所で会見。「告訴する」、「一万円ほしい」など春房の主張が転々として物別れに終わる。7日の夕方、入院中の足助素一を訪ね一部始終を語る。8日午前、足助が南寺町の借家で有島に会って死を諫めるが、「一期の頼みだ……邪魔をしてくれるな」と繰り返す。足助を帰したのち下六番町の本邸に戻り、母に挨拶して和服で家を出る。新橋駅で待ち合わせた秋子を伴い夜半、軽井沢の別荘に着く。9日未明、ともに縊死。7月6日、遺体発見。9日、本邸で告別式。遺骨を青山墓地に埋葬（後に多磨霊園に改葬）

ご清聴ありがとうございました。

（平成27年9月26日・クラーク会館大集会室にて開催）

恵迪寮同窓会東日本大会開識社講演会

(平成27年10月3日、東京・恵比寿ガーデンプレイス)

「捕鯨を巡る近年の国際情勢

～ICJ国際司法裁判所と

IWC国際捕鯨委員会～」

東京海洋大学大学院教授 加藤 秀 弘

(S46年入寮)

寮歌「楡陵に月は」の作詞者

札幌オリンピック前年の昭和46年に恵迪寮に入寮しました。在寮中は専ら南寮階上に寝起きし、誰も歌ってくれない泡沫作ですが、昭和47年度寮歌「楡陵に月は」を作詞させていただきました。陸上部に所属していましたが、恵迪寮ではまず剣道部の部屋に入れて頂き、その後は南寮階上を遊弋し青春を謳歌させていただきました。学部移行の後、昭和50年に水産学部水産増殖学科を卒業。その後は大学院に進学しアザラシや

トドの生態を専攻しました。博士課程修了前に数奇なめぐり合わせで(財)鯨類研究所に奉職して鯨類の生態研究を専攻するようになり、南極海が主たる研究フィールドになりました。昭和63年に水産庁遠洋水産研究所に転出して、生態研究に加え国際漁業交渉にも関与することICJ併によって平成16年に誕生した東京海洋大学海洋科学部の教授に転出し現在に至っています。現役生活の終末期に後進の教育と育成にあたることとなったと言うことでしょうか。

今回の開識社は、二度目となりま

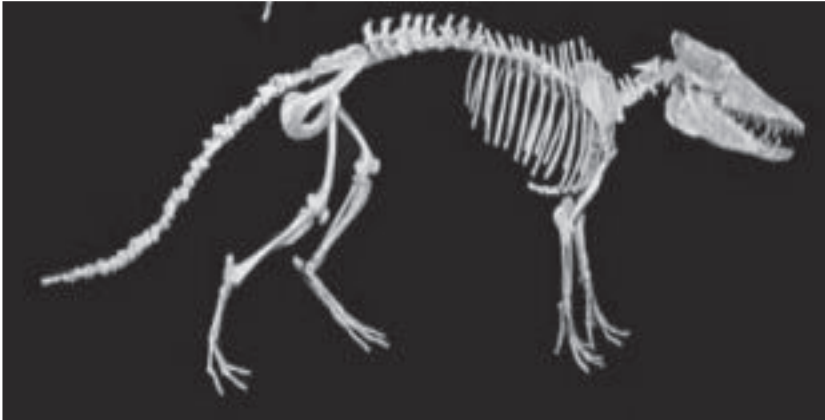


す。上記のテーマは「捕鯨を巡る近年の国際情勢～I

CJ国際司法裁判所とIWC国際捕鯨委員会～」という長々しくまたドロドロしたタイトルの話ですが、まづクジラとは何か? からお話ししたいと思います。

クジラとは何か?

まず、動物群の括りとして、海産哺乳類があります。海産哺乳類は文字どおり海にすむ哺乳類の総称ですが、多くの場合淡水のものも含むため、機能分類的にみれば水生(棲)哺乳類と言う方が適当かもしれません。広義にはラッコ、カワウソ、ビーバー、さらにはシロクマやカバを含む場合もありますが、狭義には海産哺乳類は鯨類、鰭脚類、海牛類を包括する動物群になります。もちろん全てが大気呼吸動物で、鯨類ではさ



最初の鯨類パキケタス。パキスタン西部の5000年前の地層から発掘
Thewissen et al (2009) より

らに特化した構造と機構を持っています。

鯨類は最も代表的な海産哺乳類で、始新世初期のおよそ5,000万年前に陸生哺乳類から分化。従来は陸棲哺乳類の「か（髀）節目」メ

ソニックスから分化したと考えられていましたが、近年では原始的な偶蹄類（カバ類）を祖先と考えるようになりました。初めて出現した鯨類は半陸棲半水棲性のパキケタスという2メートル程度の四肢歩行性の犬型の哺乳類でした（図2参照）。それから1000万年を経て、鯨類の祖先はようやく体は流線型に、尾柄には尾鰭が生じる一方、後ろ足が消えてすっかりクジラ体型になります。漸新世になると（約3400万年前）、現在の鯨類の系譜につながるヒゲクジラ類とハクジラ類の二大グループが出現し、ここから鯨類の大規模な適応放散が始まります。

ヒゲクジラ類は、口腔内にクジラヒゲとよばれる食物ろ過板を有する鯨類の総称で、分類学的にはヒゲクジラ亜目を構成する4科14種からなります。クジラヒゲの獲得によって小型甲殻類（オキアミ、カイアシ類など）や群集性小型魚などの低次生産生物の利用に成功して大量摂餌が可能となり、一般的に大型化しているのが特徴です。地球史上最大の動

物であるシロナガスクジラ（最大体長33m）もこのグループです。

ハクジラ類は、文字どおり口腔内（上顎と下顎、もしくは下顎のみ）に歯牙を有するグループですが、歯牙は陸上哺乳類のような機能別構造と異なり、すべてが犬歯状の同歯列構造に特化しています。歯牙はもっぱら食物を捕らえるために特化していて、咀嚼機能はありません。イルカ類やシャチもこのグループに属し、最小のイロワケイルカ（成体平均1・2m）から最大のマッコウクジラ（雄成体平均16m）まで、多様性に富んだ大小さまざまな計10科75種が知られています。

この二つのグループは、クジラ類という文字を共有していますが、実はゾウとキリンほどに隔絶したグループです。もし私がリンネだったら確実に異なることが分かるような動物群として登録していたと思います。生態や形態をもっと詳細に比較解説したいのですが、時間の都合上省略します。

ですが違いをザックリと要約する

と、ヒゲクジラは環境適応型動物、ハクジラは環境開発型の動物です。動物学進化学的にみると、ハクジラ類とヒゲクジラ類はそうとうに隔離した動物群で、後者の生残ポリシーはむしろヒトに近いのではとの印象があります。

ヒゲクジラ類とハクジラ類の適応戦略比較表

	ヒゲクジラ	ハクジラ
体型	高度に紡錘化、前肢鰭状、後肢消失	高度に紡錘化、前肢鰭状、後肢消失
回遊	地球の季節周期に合わせる	マイペース
食物	クジラヒゲの獲得、環境の餌を効率的に食べる	自分の嗜好に合わせ、歯はむしろ機能低下
繁殖	温暖域で出産し、新生児の負担を減らす	社会的群集の中で新生児を護る
生残戦略	環境に調和させ生残率を保つ	自然淘汰によって、強い遺伝子を継承
いわば	環境調和型	開拓型

捕鯨史概観と

IWC 国際捕鯨委員会

広義に解釈すれば、捕鯨とは動物群で言う全ての鯨類を捕獲することになります。一般的には大型鯨類（全てのヒゲクジラ類とハクジラのうちマッコウクジラとキタトツクリクジラ）を捕獲する漁業となり、ここでは後者を対象とします。

捕鯨の発祥は有史以前に遡りますが、鯨の捕獲行為が「捕鯨業」として組織化されていくのは欧州では11世紀のバスク地方の鯨組、わが国では12世紀の尾張地方での突組の結成になります。欧米では、17世紀初頭になるとスピッツベルゲンや北極地方にまで進出したグリーンランド捕鯨（古代捕鯨とも呼ばれる）、17世紀にはこれが発展した遠洋式のアメリカ式捕鯨、さらに20世紀初頭には捕鯨の集大成である近代捕鯨（ノルウェー式捕鯨ともよばれる）に発展します。

一方わが国でも16世紀に紀州太地浦で網取式捕鯨が発祥すると、これ

が西日本各地に伝播して捕鯨業が盛んとなり、20世紀初頭に近代捕鯨に転換されるまで世界に類をみない捕鯨と鯨食文化の基礎が築かれていきます。

近代式捕鯨はノルウェーのS・フォインによって考案され、船首砲と蒸気機関の導入、さらに工船式母船の建造などにより年々機動力を強化させ、1900年代初頭にはついに南氷洋にまで進出しました。欧米の有力捕鯨国は次々と南氷洋捕鯨に参戦し、1929/30年漁期（南半球の夏に行われるので、こうした呼び方を採用、1929年12月～1930年3月に操業の意味・以下踏襲し、漁期は1930年と表記）には英国、ノルウェー等を主体にシロナガスクジラだけで約3万頭もの捕獲を上げ隆盛期に入り、わが国も1934年にはじめて母船式船団を送りました。その後、第2次世界大戦中の休漁を挟み、1946年には国際的な捕鯨管理機構構築を目指して国際捕鯨取締条約が締結され、48年には国際捕鯨委員会（International

Whaling Commission＝以降 IWC) が設立され、50年代後半から60年代前半に戦後の隆盛期を迎えました。

しかし、70年代になると鯨油価格の暴落から鯨食文化の希薄な欧米諸国は徐々に捕鯨から撤退しはじめました。特に、72年に国連人間環境会議で突然商業捕鯨の存続に対する懸念が提唱されると(背景にはベトナム戦争でのダイオキシン使用非難を回避するためとの噂も)、世界的な鯨類保護の機運が席卷していきます。この決議を受けてIWCが新管理方式を導入すると大型鯨類の相次ぐ捕獲規制やそれに続く母船式操業規制(ミンクジラを除く)を経て、IWCは82年に段階的商業捕鯨モラトリウム提案を採択しました。この決議は各鯨種系群の科学的な資源状態とは無関係の強引な取り決めで、日本、ノルウェー、ソ連など数カ国が異議申し立てを行ったものの、米国の経済制裁等による圧力で結果として1987年を最後にすべての商業捕鯨が停止することになりました。



後期のノルウェー式捕鯨母船・第三日新丸(23,000GT)と舷側で補給を受ける捕鯨船・第18利丸(750GT)。加藤講師撮影

北欧捕鯨国の毅然とした態度

ただし、ノルウェーのみは自主自立の道を選択し、異議申し立てを撤回せず、93年に商業捕鯨を再開、ミンクジラ年間上限670頭を基準に捕獲を2015年まで持続しています。また、アイスランドはモラトリウムに対する異議申し立ての権利を留保した上で再加盟し、2006年に8頭、2007年に6頭を皮切

りにやはり商業捕鯨を継続しています。かつては米国等反捕鯨国が繰り返し圧力をかけましたが、国際法上正当な異議申し立てを盾に一步も譲りませんでした。この辺りが北欧捕鯨国の凄いところです。一方我が国は、2年間は異議申し立てを履行したものの、米国のパックスウッドマゲナソン修正法による経済制裁で、あつてなく異議申し立てを撤回しました。この不可解なモラトリウム異議申し立て撤回は現在まで禍根を残し、将来にわたって捕鯨問題解決の大きな障害となっています。

1982年に採択されたこの商業捕鯨モラトリウム決議には明確に将来0頭以外の捕獲枠を設定できる可能性が付帯されていましたが、当初の数年は具体的な進展はありませんでした。しかし、1994年にIWC科学委員会がほぼ10年の歳月をかけて完成させた改訂管理方式(RMP)がIWC本委員会で承認されると、捕鯨再開に向けた動きが起るようになりました。相変わらず反捕鯨国と捕鯨支持国の議論は膠着し

ていたものの、捕鯨を巡る流れにベクトルの変化がおとずれ、2006年セントキッツ&ネイビスで行われた年次会議において反捕鯨国とほぼ同数にまで増加した持続的捕鯨支持国の提案によるいわゆるセントキッツ宣言が可決されました。この宣言はIWC正常化決議とも呼ばれ、「鯨類資源の多くは回復に向かい、IWC科学委員会が開発」した新たな管理方式のパフォーマンスも良く、もはやモラトリアムは必要ない」とするもので実質的な捕鯨再開宣言でした。しかし、運営規則の変更には総投票数の4分の3が必要で、その場での再開決定にはなりません。反捕鯨国、持続的利用国双方にとって4分の3は到底確保できない高い壁でした。

その時に生じた膠着状態は執拗に続き、以後の審議は完全にデッドロック状態になりました。こうした状況から、IWCは国際機関としての機能すら失われる恐れが出てきました。2008年の状況に業を煮やした当時のIWC議長のアラン・フーガー

ス（米国コミショナー）が両サイドの主張を相容れたパッケージ調停を開始。しかし、多くの国が賛同するなかで、オーストラリアのみが米国の調停に応じませんでした。そこで、フーガース議長は翌年での決着を目指しましたが、皮肉なことに米国の政変（ブッシュからオバマへの政権移行）によりブッシュが任命したフーガースは降板せざるを得ず、彼が主導したIWC正常化に調停は頓挫してしまいました。

その後IWC正常化の道は完全には放棄されていないものの、国際的リーダーの欠落と具体的方策を欠き、将来的にも明るい兆しは見えていません。2012年からIWC総会は隔年開催となりました。これは進展のない討議内容に業を煮やし「双方とも少し頭を冷やしてから……」との意味が込められていると思われる。いずれにしても持続的利用派と反捕鯨派の二極化はますます顕著になっています。2015年9月現在の加盟国数は89カ国となり、反捕鯨国の数がやや上まわって

います。

そのほか2015年時点における捕鯨業の実態としてはアラスカ・イヌイット、ロシア・チュコト、グリーンランド・イヌイットおよびセントビンセント&グラナディンを対象に許可されている原住民生存捕鯨、IWC管轄外種を利用する小型鯨類漁業、そして国際捕鯨取締条約第8条に基づく特別採捕調査（いわゆる調査捕鯨）があります。後で調査捕鯨



ヒゲクジラ類の代表種シロナガスクジラ。最大では体長33m 体重200トンに達する。写真は亜種のビッグミーシロナガス。加藤講師撮影

を巡る話をいたします。なお、IWC非加盟国による捕鯨も一部（カナダのホッキョククジラ捕鯨、同シロイルカ・イッカク漁業、インドネシアのマッコウクジラ捕鯨など）行われています。

調査捕鯨とICJ国際司法裁判

一般的に調査捕鯨と呼ばれているのは、前述のように国際捕鯨取締条約8条に基づくもので、条約の附表（運用規則）にかかわらず締約国政府が自国民に研究目的で鯨を特別に捕獲する許可を与えて行う特別な調査です。

調査捕鯨は日本の専売特許のように思われていますが、実は1950年代から70年代にかけて、イギリス、オランダ、南アフリカなどが調査捕鯨を盛んに行い、米国ではコクジラを対象にかなり規模の大きい調査捕鯨を実施してきました。ただ、ここで議論するような規模が大きくなった長期にわたる調査捕鯨は日本のプログラムのみです。日本の調査捕鯨は1987年に開始された南極海鯨

類捕獲調査と95年の北西太平洋鯨類捕獲調査があり、後者は、さらに沖合域と沿岸域に区分されます。ここでは、前者についての話を進めます。

南極海鯨類捕獲調査はプログラム英名の頭文字をとり、通称JARPAと略称されています。第一期計画は南半球の夏（12月から翌年3月までの4ヶ月間）を対象に、資源管理上不可欠な生物学的特性値（主に自然死亡係数）の推定を主目的として、クロミンククジラを年間300頭、440頭捕獲し南半球で毎夏実施されてきました。この計画は比較的順調に推移し1986年～2006年まで実施されました。

翌年からは、南極海生態系モニタリングを主体とした第二期調査（JARPA II）となり、年間でクロミンククジラ850頭（±10%の許容範囲）に増加し、ナガスクジラ10頭も追加して調査が行われることになりました。この計画は実質的に2013年まで継続されたわけですが、09年以降、反捕鯨団体シーシェパードなどの違法な妨害行動が激化し、

IWC総会にてこれらの妨害行為に対する非難決議が採択されたものの、妨害は一向に収まる気配はありませんでした。

一方、最有力反捕鯨国のオーストラリアは、IWCのシーシェパード等妨害行為非難決議には加わったものの、2010年5月、日本が実施しているJARPA IIが国際捕鯨取締条約に違反しているとして国際司法裁判所（ICJ・オランダ・ハーグ）に日本を提訴しました。ICJの裁判では双方が参加を承諾しないと訴訟が成立しませんが、日本政府もこれを受けることとしたようです。その後12年11月ニュージーランドが原告として訴訟に参加、翌年6月に審議が開始されました。

結果として、ICJ調査捕鯨訴訟は14年3月に結審しました。判決文は長文で難解ですが、訴訟は最終的判決では日本は敗訴しました。しかし、主要7項目のうちオーストラリアの主張が退けられた項目もあり、全体的には惜敗と評価できるものでした。また、私としては最も注目し

ていた捕獲調査自体の正当性と副産物（鯨肉等）の利用（条約8条で認められている）の妥当性は明確に正当と認められました。しかし、調査捕鯨の科学的側面が十分に審議されたか否かに大きな疑問が残りました。実はこの時期にはほぼ時を同じくして、IWC科学委員会による、JARPA IIの評価会議がはじまりました。この評価会議はIWC科学委員会の外、つまり国際的枠組みでの外部評価委員による科学的審議行われています。この評価会議は最終的に2014年2月に完結し、科学的內容としては概ね妥当な評価を受けていました。しかし、このIWC評価会議の評価はその後に結審したICJの審議に一切参照されませんでした。科学性の有無を審議するのに何故、敢えて専門家による会議の審議結果を無視したのか、非常に理解しがたい不可解な謎とし今でも残っています。

捕鯨訴訟で不可解な 日本政府のコメント

不可解と言えば、結審直後の日本政府全権代表のコメントも不可解でした。啞然とするほどあっさりとしたもので「日本は法治国家なので、判決を肅々と受け入れる」と述べています。随行取材していた有力テレビ局の記者も、長文にわたる判決を分析できる時間もないタイミングで「何故、判決文を詳細に分析した上で……」とコメントを留保できなかったのかと述べています。この政府代表のコメントを受け、内地では直ちに官房長官が記者会見で同趣旨の見解を述べ、国内的には惨敗の報道が広がりました。確かに、ICJは一審制ですが、捕獲調査そのものは合法とされた点や、副産物利用が正当とされた点は大いに強調すべきものでした。また、ICJ運行規則の中でも認められている、審判の解釈請求を行わず、何故こうもあっさり引いてしまったのか、どうにも解せない点が続きます。

その後、日本政府は2015年度のJARPA II調査を中止、引き続き計画そのものを中断することを決めます。しかし、本来の訴訟対象外であった北西太平洋鯨類捕獲調査についても、捕獲頭数を減少させるなどの譲歩措置をとり、IWC科学委員会ではかえって「現象の科学的根拠は？」との質問を浴びる皮肉な事態になりました。なお、JARPA II停止後には、日本政府は新計画「New Reg A」を提出、今期2016年度には新調査船団を派遣することになり、新計画を巡る新たな国際的議論が注目されています。

長時間のご静聴、誠にありがとうございました。

感動と爆笑の開識社講演会 「一途一心の野球道」

熱男・山崎夏生氏
(プロ野球審判技術員) 吠える

第16回開識社講演会(恵迪寮同窓会北海道支部主催)が昨年10月28日(水)夕、北大野球部出身で日本野球機構(NPB)審判技術委員・山崎夏生氏(文学部国文科卒)を講師に迎え、札幌時計台ホールで開かれました。

講演名は、波乱万丈の野球人生で得た貴重な経験を語る「一途一心の野球道」。講演ではいきなり山崎氏がプロテクターなど防具で身を固めて登場。「プレーボール!」の発声でスタートすると、会場に大きななどよめきが聞かれました。講演の前半では、子どものころから野球少年だった山崎氏が、甲子園を夢見た新潟県立高田高校時代、一度はプロ選手を目指した北大野球部時代、さらに大怪我で選手を断念し、スポーツ新聞社を経て、北大初のプロ野球審判員になるまでの波乱に満ちた野球

道を熱く語りました。

また、後半は退場宣告17回のプロ野球審判員最多記録を持つ数々の武勇伝を披露しながら、大観衆の前でジャッジする恐怖心や勇気、家族の支えなど、プロの野球人しか味わえない喜怒哀楽を、ユーモアあふれるしゃべりと、特異なパフォーマンスで表現しました。約1時間半の講演時間を忘れるほど、会場は爆笑と感動の渦でした。

北海道支部では講演会に当たり、これと言った動員はかけませんでした。が、氏の評判を聞いた多くの山崎ファンから聴講希望が殺到し、定員150名を超えたため、役員が階段下に移動して聴講するなど、嬉しい悲鳴の連続でした。



時計台ホールでは
過去最多の聴衆となった



なお、山崎氏は一昨年秋の西日本大会の開識社講演会でも講師に招かれ、講演の詳細が会誌「恵迪」15号に掲載されていますので、本号では省略します。

恵迪寮同窓会北海道支部主管

大寮歌祭のご案内

恵迪の子諸君！ 若き日に回帰し高吟しよう！

今年の大寮歌祭は札幌で北大ホームカミングデイに合わせて行われます。

心の旅路の一夜をわれらの魂の故郷恵迪寮の寮歌づくしで過ごしましょう。

社会の荒波に乗り出したばかりの若人、来し方の千々の想いにある六十路、七十路、八十路を行く寮友、皆あの恵迪の子です。花咲き散りて幾星霜、しかし若き血潮に溢れたあの危うき日々の記憶は薄れることなくますます鮮明に甦ります。

それぞれの旅をいく寮友よ。懐かしきキャンパスを行く学徒に若き日の姿を重ね、旧友と過ぎし日を語り合い、若い諸君は先人の中に未来の姿を思い描き、われらの寮歌をよすがにした盛大な集いにしていこうではありませんか。

北海道支部長 内藤 春彦

〈日時〉平成 28 年 9 月 24 日(土) 17:30~20:00 (受付開始 17:00~)

〈会場〉札幌アспенホテル（札幌市中央区北 8 条西 4 丁目 5 番地）

〈会費〉5,000 円（当日会場にてお支払いください）



〈お問い合わせ〉恵迪寮同窓会事務局

（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 8 丁目 北大クラーク会館 3F）

☎ 011-706-3276、E メール info@keiteki-ob.jp）

『文化講演』

恵迪寮同窓会では、今年の北海道大学ホームカミングデー 2016 にあわせ、クラーク会館で「文化講演」を開催します。夕方からの「大寮歌祭 IN 札幌」とともに、思い出多いキャンパスで、北大・恵迪寮の歴史風土をふりかえってはいかがですか。

北大 OB・OG が集う北海道大学ホームカミングデーへの恵迪寮同窓会の参加は今年で 4 回目です。今年は、北大名誉教授 井上勝生氏を講師に招き、文化講演会を開催します。

井上先生は日本近代政治史が専門の歴史学者で、幕末維新の研究、明治日本と北海道の研究などをされております。札幌農学校二期生の内村鑑三とその精神、行動について北海道の歴史風土とともに学びたいと企画しています。

なお、例年、「文化講演」と同時に実施している「寮歌の集い」については、3 年に一度の「大寮歌祭 IN 札幌」（主管・北海道支部）が右記のご案内のように行われますので、この大寮歌祭に吸収、合併する形で開催いたします。

記

〈文化講演〉

日時；平成 28 年 9 月 24 日(土) 14：00～16：00

場所；クラーク会館大集会室（札幌市北区北 8 条西 8 丁目）

講演；北海道大学名誉教授 井上勝生氏（元北大大学院文学研究科教授、専門は日本近代史）

演題：「内村鑑三・有島武郎と石狩川・千歳アイヌ民族」
～札幌農学校の歴史を見直す

※ 参加費無料

恵迪寮同窓会

〒 060-0808 札幌市北区北 8 条西 8 丁目 北海道大学クラーク会館 3 階

tel.&fax 011-706-3276 E-mail info@keiteki-ob.jp

<http://www.keiteki-ob.jp/>

なお、北海道大学ホームカミングデーにつきましては、下記のホームページをご参照願います。

<http://www.hokudai.ac.jp/pr/alumni/home/>



恵迪寮同窓会通信



事務所…〒060-0808

札幌市北区北8条西8丁目

北海道大学クラーク会館3F

電話兼Fax(011)706-3276

vol. 32

恵迪寮同窓会第13期平成28年度理事会報告

恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一（S40年入寮）

平成28年4月9日（土）、16:00～18:00、北大クラーク会館大集会室において、恵迪寮同窓会第13期平成28年度理事会が開催されました。会議には東日本2名、西日本3名を含め28名の役員、理事、監事が参加されました。

横山会長の挨拶に続き、ご来賓の三上北大理事・副学長が、北大近況報告と本年のホームカミングデー（9/24）、連合同窓会の校友会エルムへの改組などについてのお話を頂きました。

会議では第1号～第3号議案、第1～第4報告について、執行部の報告・提案に基づき討議が行われ、原案は異議なく承認・可決されました。特に、周年企画の進捗報告と今年度計画、4/1にリニューアルされた新HPの説明、完成間近のCD「都ぞ弥生 音楽の風景」の収録音源とジャケット・チラシ披露は参加者の関心を集めました。活発な報告と議論で予定の時間を少しオーバーして、構内の大野池に隣接するエンレイソウでの懇親会に足を運びました。

〈恵迪寮同窓会役員〉（平成28年4月現在）

○名誉会長 中瀬篤信（S26、前会長）

○会長 横山 清（S31）

○副会長 藤田正一（S38）、内藤春彦（S40、北海道支部長）、坂倉雅夫（S44、東日本支部長）、植

松高志（S44、西日本支部長）

○特別顧問 高井宗宏（S31）、新井三郎（S32）

○相談役 高橋陽一（S30）、小笠原孝之（S31）、山崎克彦（S32）、和孝雄（S32）

○会計監査 吉原照彦（S36）、佐藤市雄（S38）

○本部理事

【北海道支部】氏平増之（S38）、宮田睦彦（S38）、魚山和春（S39）、千川浩治（S40、文常）、村上昭男（S43）

【東日本支部】関口光雄（S39）、平田更一（S40）、加藤秀弘（S46）、荒木隆夫（S49）、竹下忠彦（S53）

【西日本支部】藤井洋治（S37）、浦谷義博（S41）、木村成二（S46）、岩井隆郎（S51）、薮内晴弘（S48、新任）

○代表幹事 白浜憲一（S40）

○副代表幹事 皆川吉郎（S43、会計）、吉沢武治（S45、組織）、谷口哲也（S48、事業）

○常任幹事 大隈昭二（S40、編集長）、八重樫幸一（S41、広報）、野本健（S47、文常）、岩崎正（S47、現寮）

○幹 事 木村正博（S41、文常）、佐々木宏治（S42、

現寮）、岩本栄一（S44、会誌）、佐藤文雄（S47、会誌）、都野建二郎（H7、現寮）、渕

上玲子（H8）

○事務局長 佐藤市雄（S38） 事務局員 大隈昭二（S40）、佐藤静子

○本部理事補充者…規約第7条 理事は会長が指名する。

○顧問推薦者…規約第14条 顧問及び名誉会員は、会長が

推薦し、理事会において承認する。

※28名の役員・幹事・事務局が出席した。

※来賓として…三上 隆 北海道大学理事・副学長（同

窓会担当）

※オブザーバー…吉成久和会員（S49入寮、都ぞ弥生C

D制作委員会）

早川留架 恵迪寮第306期執行委員

長

白浜代表幹事の開会の辞、横山会長の挨拶に次いで、

三上副学長より北大の近況報告があった。

◇本年入学者の内、道内出身は35・9%と40%を大きく切った。40%を維持するように努力する方針である。

◇連合同窓会が「校友会」の検討をしていたが、学部・

地区・寮同窓会だけでなく、教職員・在学生・保護者も含めた全学的な組織に発展させ、大学への支援・協

働・連携を強化する体制を構築する。6月をもって新

組織を立ち上げる。既存同窓会の会員は自動的に会員

となる。新入学生から2万円（分割可）集める。

等が報告された。

横山会長が議長となり、議事進行。

〈第1号議案〉 第13期平成27年度事業・決算報告

1. 第13期平成27年度事業報告（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

白浜代表幹事より報告。「会員増強と強靱な同窓会構築」の基本目標を共有し、ほぼ隔月に役員会・幹事会を開催、各常任委員会・実行委員会が会員とともに活発に活動を展開した。各支部・地区との連携や各年次同期会との結合を強め、着実に組織基盤は増強されつつある。

① 同窓会活動の基本…会員増強と強靱な同窓会構築…

i 恵迪寮同窓会の2つの支柱

○恵迪精神の発揚と発信 be gentleman with a lofty ambition ～自治寮の貫徹

○寮歌の継承 自然主義の潮流、求め続ける清き国未来像

ii 布を編む如き網状組織の拡充

○縦糸を太く…3支部の活動と地区恵迪会

○横糸を綿密に紡ぐ…時代と生活の場を共有した入寮年次ごとの会の結成促進

○会員名簿の系統的なクリーニング

iii 健全な財務基盤の充実

○会費納入会員の増強

○事業活動の展開

② 円滑な委員会活動の展開（分担と集中）

i 各委員会の定期的開催と実行委員会方式

○各委員会の定期的開催

○実行委員会方式：企画ごと↓CD制作委員会を発
足、開催

ii 本部幹事三役会議での情報の共有と集中

○メンバーは代表幹事、副代表幹事、常任幹事、事
務局長、北海道支部長

③ 第13期平成27年度理事會開催…平成27年4月18日
(土)、札幌パークホテル

④ 本部役員幹事會開催…年2回↓10/24、3/19

⑤ 本部幹事三役會議…7/4、1/23

⑥ 組織委員會

吉沢副代表幹事・組織委員長より別添「委員會報告」
に基づき報告がなされた。

i 名簿とメールアドレスのクリーニング

ii ○○都府県恵迪會・○○ブロック恵迪會の結成支
援：組織強化特別予算（縦糸活動）

iii ○○恵迪會の結成促進↓在寮年次同期會の結成促
進（横糸活動）

・入寮40周年（S 49・50・51）世話人會発足（8/
22）5回開催、本年5/28支笏湖で集い

・入寮35周年（S 55・56・57）世話人會招集（3/
12）スタート

iv 入會促進活動

⑦ 會計委員會

i H27年度會費。運営支援金徴収

ii 恵迪グッズ販売

⑧ 事業委員會

谷口副代表幹事・事業委員長より別添「委員會報告」
に基づき報告がなされた。（資料P.10上）

i 写真集「青春の北大恵迪寮」の企画販売、25冊

⑨ 會誌編集委員會

大隈編集委員長より會誌「恵迪」15号の編集・発行
経過の報告がなされた。

i 第15号…7/上旬発行、4000部印刷、發行費
130万円、広告掲載収入33万円

⑩ 文化活動常任委員會

野本常任幹事・文常委員長より別添「委員會報告」
に基づき報告がなされた。

i 北大ホームカミングデー2015への参加 9/
26「文化講演と寮歌の集い」実施

講演會：「有島武郎の文学と北大・恵迪寮」北大名
譽教授 神谷忠孝氏（S33入寮）

（寮歌の集い…北大交響樂團の弦樂四重奏、現寮委
員長と寮生参加）

ii 三種の「都ぞ弥生」CD制作計画

・インストルメントCD、外国語版CD、アンビシャ
ス・レクイエムCD

・制作委員會↓小委員會含めて7回。インストルメ
ントCD収録、4月中に完成予定

◇制作委員會協力者…吉成（S49、凸版印刷）ジャ
ケット、チラシのデザインを校正刷りで説明

・CD制作：デュプリケーター購入（予算30万円）

↓川原幸則さん（S31入寮）より寄贈。

iii 開拓の村「映像システム」メモリカード方式に取替

⑪ 広報委員会

▽八重樫常任幹事・広報委員長より別添「委員会報告」に基づき報告がなされた。（資料P.14～15）

i HPのリニューアルと資料の修正・追加↓4/1より全面リニューアル実施

◇HPについては佐藤事務局長より報告、旧談話室↓「サロン」への会員多数の投稿・参加、交流促進を期待する旨の意向表明があった。

ii メール一斉配信の活用について↓行事ごとに広報常任幹事より配信

iii フェイスブックの活用

⑫ 現寮委員会

・岩崎常任幹事・現寮委員長より報告がなされた。

i 現寮改修問題をめぐる大学との交渉経過と同窓会支援

◇岩崎常任幹事から、現寮建物・設備の老朽化、改修問題についての大学との交渉経過についての詳細把握と、寮執行委員会への助言支援、同窓会のスタンスについて報告。

◇早川恵迪寮第306期執行委員長から、現寮生の意識の多様化と寮運営の難しさについて報告された。

ii 現寮との交流

◇観桜会、北大祭「1万人の都ぞ弥生」、樽商対面式、

H・C・DAY、寮祭、歌始めの会など各行事に同窓

員を動員参加。あるいは現寮生を同窓会行事に動員参加。都度フォトライブラリーをアップした。

⑬ 本部事務局の移転と新事務局体制

▽佐藤市雄事務局長より、経過・現状報告がなされた。

i 4/1より本部事務局をクラーク会館3Fとした。

ii 新事務局体制

事務局長 佐藤市雄（S38） 事務局員 大隈昭

二（S40）、佐藤静子

iii 原則週3回（月・水・金）

⑭ 全国3支部の活動（第2報告）

2. 第13期平成27年度決算報告と監査報告

① 平成27年度決算

皆川副代表幹事・会計委員長より別添「会計報告」に基づき報告がなされた。

◇（収入）会費収入が増加、グッズ販売減少。

◇（支出）組織強化費にHP作成費21万、雑費に事務局PC・備品含む。グッズ製作費が少なかったのはデュプリケーターが川原先輩から寄贈、CD制作がH28年度へシフトしたことによるもの。

② 平成26年度決算監査報告

吉原会計監査より別添「会計報告」添付の「監査報告書」に基づき報告がなされた。

以上（第1号議案） 第13期平成27年度事業・決算報告は、異議なく承認・可決された。

〈第2号議案〉 平成28年度支部交付金の配分

支部名	平成 27 年度会費の納入内訳						交付金 算定額 50%	平成28年度 支部交付金	備考
	年 度 会 費		終 身 会 費		計				
	人数	金額	人数	金額	人数	金額			
北海道	117	370,000			117	370,000	185,000	185,000	
東日本	181	547,000			181	547,000	274,000	274,000	
西日本	52	159,000			52	159,000	80,000	100,000	特例措置
その他	1	3,000	0	0	1	3,000	0	0	海外
計	351	1,079,000	0	0	351	1,079,000	539,000	559,000	

▷皆川副代表幹事・会計委員長より、別添「会計報告」に記載の「平成28年度支部交付金」により、支部別会費納入実績に基づく平成28年度支部交付金の配分案が提案され、異議なくこれを承認可決した。

〈第3号議案〉 第13期平成28年度事業計画と予算案

1. 第13期平成28年度事業計画（平成28年4月1日）平成29年3月31日）

白浜代表幹事より提案

(1) 同窓会活動の基本展開 〓 会員増強と強靱な同窓会構築

① 恵迪寮同窓会の共有基盤「恵迪精神の伝承」

・ 恵迪精神の発揚と発信：恵迪学会の発足、「恵迪精神」の報告・発表・討論の場作り

◇新渡戸・内村等の偉人についてではなく、身近な人物・精神のなかに「清き国」を目指す「恵迪精神」が多数ある。報告・発表・討論の場として恵迪学会を発足する。

◇恵迪学会会長として藤田副会長が推挙され、賛同を得た。

◇藤田副会長が挨拶し、「学寮の教育施設としての意義、学寮が育むものの価値」について認識を深め、継承していくべきものを明らかにしていきたいとの抱負が述べられた。

・ 寮歌の継承：寮歌祭の実行とCDの制作・普及
◇本年9月、3年に一度の北海道での大寮歌祭となる、北海道支部主管。

◇都ぞ弥生インストルメントCDの制作には北大の多数の、多方面の協力者がいて推進されている。

早期に完成させ、普及活動に取り組む。

- ② 重層的組織活動による会員ネットワークの拡充・強化

・縦糸を太く…3支部の活動と地区恵迪会（府県・ブロック）活性化、結成促進

・横糸を紡ぐ…時代と生活の場を共有した在寮年次ごとの同期会の結成促進

・会員名簿の系統的なクリーニング（年次別不明者の組織的探索）

- ③ 健全な財務基盤の充実

・会費納入会員の増強

・事業活動の展開

- (2) 各会議の機能的運営および実行力強化

- ① 基本会議の予定

・第13期平成28年度理事会…平成28年4月9日(土) 16:00～北大クラーク会館

・第13期平成28年度総会…平成28年9月24日(土) 13:00～北大クラーク会館

・本部役員幹事会…年2回予定（在札役員・幹事）

・本部役員幹事会…年2回予定（在札役員・幹事）

・本部幹事三役会議…年2回予定（代表幹事、副代表幹事、常任幹事、事務局長、北海道支部長）

- ② 実務推進の諸会議

・各常任委員会…随時（組織・文常・広報・編集・事業・現寮）

・実行委員会…企画ごとに開催（当面は「都ぞ弥生・三種のCD制作委員会」継続）

・実行委員会…企画ごとに開催（当面は「都ぞ弥生・三種のCD制作委員会」継続）

・実行委員会…企画ごとに開催（当面は「都ぞ弥生・三種のCD制作委員会」継続）

・実行委員会…企画ごとに開催（当面は「都ぞ弥生・三種のCD制作委員会」継続）

・実行委員会…企画ごとに開催（当面は「都ぞ弥生・三種のCD制作委員会」継続）

- (3) 組織委員会

吉沢組織委員長が「平成28年度組織委員会方針」を説明。

- ① 名簿とメールアドレスのクリーニング

② 縦糸…〇〇都府県恵迪会・〇〇地区・ブロック恵迪会の結成支援

③ 横糸…周年企画5ヶ年計画による在寮年次ごとの同期会結成促進（不明者の探索取組）

④ 入会促進活動

文化常任委員会

野本文常委員長が「2016計画」を説明

- (4) 文化常任委員会

① 北大ホームカミングデー参加企画「文化講演と寮歌の集い」

② 3種の「都ぞ弥生」CD制作企画の継続、完成CDの普及・販売

事業委員会

(5) 谷口事業委員長が別紙により説明。（委員会報告P.10～11）

① 写真集「青春の北大恵迪寮」の企画販売継続

② CD「都ぞ弥生」音楽の風景」の頒布取組

③ amazon.comの活用…写真集・CDの取り扱い具

体化検討

◇都野幹事よりアマゾンも良いが、手数料はヤフーを使った方が安いとの意見があり検討案件となった。

会誌編集委員会

会誌編集委員会

会誌編集委員会

会誌編集委員会

会誌編集委員会

会誌編集委員会

- (6) 会誌編集委員会

大隈編集委員長より会誌「恵迪」16号の主な内容と、工程説明がなされた。

- ① 会誌「恵迪」第16号…7/上旬発行、3800部
(7) 広報委員会

- ① 同窓会ホームページの活用

新機能周知、内容のさらなる充実、会員の投稿参加・交流促進

- ② フェイスブックの活用

メールアドレスの活用(会員へのイベント案内・斉配信)

- (8) 現寮委員会

- ① 現恵迪寮改修問題をめぐる大学との交渉経過と同窓会の支援

- ② 現寮との交流

- (9) 会計委員会

- ① H28年度会費・運営支援金

- ② 恵迪グッズ販売

- (10) 同窓会の一般社団法人化について

2. 第13期平成28年度予算案

- ① 第13期平成28年度予算案

皆川副代表幹事・会計委員長より、別添「会計報告」に記載の「平成28年度収支予算書」の説明・提案がなされた。

◇(収入)会費納入1割増加、CD販売800枚見込み
◇(支出)地区恵迪会、年次同期会等組織強化費、3種

CD制作費等増加

以上平成28年度事業計画と予算案について議場に諮り、異議なくこれを承認可決した。

〈第1報告〉平成28年「大寮歌祭」(北海道支部主管、別紙参照)

八重樫北海道支部幹事長より報告され、承認された。

1. 開催日…平成28年9月24日(土) 北大ホームカミングデー当日

第1部 総会

クラーク会館大集会室 13:00

講演会

クラーク会館大集会室 14:00

第2部 大寮歌祭

アスペンホテル

17:00(受付)、17:30(開宴)

(北8条西4丁目5、北大正門すぐ)

2. 参加費

5000円(5000円までの会員からの

声があり、ホテルと交渉し実現した)

〈第2報告〉

恵迪寮同窓会3支部の活動報告と活動計画

I. 東日本支部

1. 平成27年度活動報告

- (1) 恵迪寮同窓会理事会に出席

平成27年4月18日(土)に開催された同上理事会に当支部より坂倉支部長、関口支部会計監査が出席し当支部活動の報告等の議事審議に参加した。

- (2) 地域恵迪会の活動

組織強化のため、東日本支部の命題の一つである地域恵迪会支援に取り組んだ。

「第4回仙台・東北恵迪会寮歌祭」の活動支援のため、平成27年7月4日(土)の寮歌祭に成ヶ澤副幹事長が参加した。また、当支部の役員長谷川健幹事が地元を中心として主宰の「第3回茨城恵迪会」が7月11日(土)に開催され関口支部会計監査、朝倉支部会計が参加した。今後も当支部受け持ちの他地域に恵迪会の立ち上げを目指して取り組んでいきたい。

(3) 草刈り寮歌祭の実施

「草刈り寮歌祭」は札幌農学校の設立日・明治9年8月14日に因み毎年8月14日近辺の日に行っている。東京都港区の芝公園内(元芝増上寺境内)に在る「開拓使仮学校跡」石碑周辺の草刈りをした後にその場で「都ぞ弥生」を歌うミニ寮歌祭で、今年も平成27年8月16日(日)に8名の参加で開催した。真夏の労働後に最寄りの東京プリンスホテルレストランにて乾杯したビールの味は格別であった。

(4) 東日本大会の開催

平成27年度は当支部主管の「恵迪寮同窓会東日本大会」を恵比寿ガーデンプレイス・ビヤステーションにて平成27年10月3日(土)に開催した。また当日は「開識社」講演会も開催した。講師は東京海洋大学大学院教授加藤秀弘氏(S46入寮・東日本支部副支部長)。演題は「捕鯨を巡る近年の国際情勢」ICJ国際司法裁判所とIWC国際捕鯨委員会」であった。IWC科学委員会委員を30年強務める講師自身の視点より捕鯨を巡る近年の動向と将来について

の講演内容であった。続く

「恵迪寮大寮歌祭」には大学本学から山口総長の代理として西口規彦総長補佐・工学部教授、北海道大学東京同窓会から杉江和男会長のお二人を来賓に迎え、恵迪寮同窓会本部から白浜憲一代表幹事、西日本支部から植松高志支部長、さらに初めて現役寮生を呼び女性初の中川智美寮長を含む4名が参加し、友誼校OBも加えて総勢90名であった。

(5) 「新春寮歌歌い初め」の開催

新年の恒例として平成28年1月17日(日) 東京駅八重洲北口サピアタワー10階・北大東京事務所大会議室にて開催し、支部役員他計24名の参加を得て盛会であった。

(6) 役員会の開催

平成27年4月、6月、8月、9月、12月、平成28年2月の計6回開催し、主として「恵迪寮同窓会東日本大会」等当支部主催の行事実施要領等の審議を



恵迪寮長 中川智美さんも参加し、現寮の状況を説明

行った。

(7) 長老会員の訃報

永年に亘り当支部に貢献していただいたお二人の長老会員が春と秋にご逝去された。前東日本支部長（2期6年）の山中義正氏（S32入寮）が平成27年4月5日に、また恵迪寮寮歌「嗚呼茫々の（S11）」の作詞者と「春未だ浅き（S12）」の作曲者である穴戸昌夫氏（S10入寮）が平成27年11月26日に永眠された。穴戸氏におかれては奇しくも同氏の誕生日当日であり白寿を迎えてまさに享年99歳であった。

2. 平成28年度活動計画

(1) 恵迪寮同窓会理事会に出席

4月9日(土)開催の本部理事会に当支部から坂倉雅夫支部長と竹下忠彦幹事長の2名が出席した。

(2) 草刈り寮歌祭の実施

本年も8月14日近辺の8月中に実施する予定である。

(3) 恵迪寮大寮歌祭の開催

今年は穴戸昌夫氏追悼記念の恵迪寮大寮歌祭を計画しており、10月8日(土)に穴戸氏ゆかりの地である横浜・重慶飯店にて講師に向井承子氏（S36法学部卒）を迎えての開識社及び「穴戸昌夫君生誕100年記念寮歌祭」を開催する予定である。

(4) 「新春寮歌い初め」

新年の恒例として平成29年1月9日（月・祝）に開催を予定している。

(5) 地域恵迪会の活動支援

「茨城恵迪会（6月中に開催予定）」、「仙台・東北恵迪会（7月2日(土)開催予定）」の地域恵迪会寮歌祭開催の助言・支援を行い、当支部役員が1人以上参加する。

(6) 役員会の開催

恵迪寮大寮歌祭等の当支部行事の準備及び当支部の課題検討・解決のため、必要に応じ1～3ヶ月に1回の頻度で開催を予定している。

3. 財政状況

平成27年度の当支部は東京・恵比寿での「東日本大会」、仙台での「地域恵迪会寮歌祭」、土浦での「地域恵迪会寮歌祭」、「草刈り寮歌祭」、「新春寮歌い初め」の5度の寮歌祭を開催しており、収支差額の余剰金は例年並みとなりほぼ収支均衡した財政状況であった。平成28年度は大規模行事が10月8日(土)の「穴戸昌夫君生誕100年記念寮歌祭」のみであるが、開催に当たっての特殊事情を考慮すると例年よりやや多い支出が予想されるが、出来るだけ適切な財政規模での活動を目指していきたい

II. 西日本支部

【1】平成27年度活動報告（平成27年4月～28年3月）

平成27年度の活動は「本部の重点施策」組織の縦糸・横糸強化の方針にのっとり、特に東海地区恵迪同窓会との交流懇親を深める「恵迪寮・北大同窓の集い」を実施し、40数名の同窓生との親交を深めることができた。

役員会開催報告日時	参加者	議事内容
H27 5/14(木)	9名	・本部理事会の報告(議事) 「平成26年度事業・決算報告」 「支部交付金の配分」 「平成27年度事業計画と予算」
7/22(水)	12名	・「本部の動きを説明(組織委員会・編集委員会・文化委員会・事業委員会・広報委員会)」 ・納涼懇親会(カフェ・イン・ザ・パーク)
9/29(火)	9名	・「本部の動き確認(開識社・文化講演会・寮歌の集い)」 ・「東日本大会について(10月3日恵比寿ガーデン)」
12/2(水)	12名	・「東日本大会の報告(植松)」 ・「東海地区恵迪同窓会との交流企画(入江)」 ・年末忘年懇親会(china dining 蓮華)
H28 2/6(土)	7名	・東海地区恵迪同窓会との交流企画 「恵迪寮・北大同窓の集い(うまいもん屋まる..名古屋駅前)」 「関西7名参加、総勢42名参加。幹事・神保氏(S48)」 「寮外生3名。現在寮生1名も参加」



名古屋市で開かれた東海地区恵迪寮・北大同窓の集い

3/16(水)	13名	・本部理事会(4月9日)に向けて 「平成27年度事業報告」 「平成28年度事業計画」
---------	-----	--

Ⅲ. 北海道支部

1. 平成27年の総括

〈成果〉

(1) 当初掲げた諸行事は、概ね実行できた。

1) 支部独自の活動

- ① 1月31日(土)、平成27年寮唱歌始めの会約90名参加。
- ② 5月16日(土)、開拓の村・旧恵迪寮舎にて観花会&観桜会開催。15名参加。
- ③ 6月21日(日)、第33回親睦ゴルフ会13名参加。
- ④ 7月25日(土)、第9回恵迪夏祭り20名参加。
- ⑤ 10月28日(水)、第16回開識社講演会(講師・日本野球機構審判技術員・山崎夏生氏(S54年北大文学部卒) 153名参加。

2) 地区恵迪会活動

- ① 6月13日(土)、第10回十勝・帯広恵迪寮祭13名参加。
- ② 6月20日(土)、第11回道南・函館恵迪寮歌祭7名参加。

③ 7月4日(土)、第12回道北・旭川恵迪寮歌祭16名の参加。『道北・旭川恵迪会会報No.12(2015. 7. 15発行)』を発行。

④ 7月11日(土)、第10回道高・苫小牧恵迪寮歌祭9名の参加。

3) 本部・他支部・現寮関係・その他

- ① 5月6日(水)、現寮の観桜会(円山公園)に恵迪寮OB、北大OB合わせて8名が参加。
- ② 9月12日(土)、開拓の村の建物(旧大石三省堂支店

(帯広町)、旧近藤染舗(旭川市)の2棟)の外壁塗装ボランティアに4名参加。

③ 9月26日(土)、北海道大学ホームカミングデー2015の午前の部・全学行事(歓迎式典・記念講演会)のフィナーレで恵迪寮同窓会の音頭による「都ぞ弥生」の斉唱。

④ 9月26日(土)、北海道大学ホームカミングデー2015の一環、「文化講演と寮歌の集い」実施主体は同窓会本部。支部は側面支援。延べ100名弱の参加。

(2) 広報活動

① 支部ニュース夏・冬号の発行。

② 情宣活動としてホームページ・Facebookページへの投稿の活用。

③ 歌始めの会・開識社講演会等でのメール一斉配信の活用。本部の名簿整理の進展によって、使えるメールアドレスも増加した(道内約370メールアドレス先)。

(3) 役員の異動

① 4月に小関忠雄君(S47)、6月に関俊一君(S52)がそれぞれ支部役員に就任する。今後のご活躍に期待します。

② 9月5日に名誉支部長・安井勉君(S18)が逝去された(享年90歳)。1月10日に元副代表幹事河村征治君(S32)が逝去された(享年76歳)。

〈課題〉

- (1) 地区恵迪会の活動に、バラツキがある。平成27年は、「道北・旭川」、「道南・函館」、「日高・苫小牧」、「十勝・帯広」の寮歌祭はそれぞれ盛会裏に開催された。「オホーツク」、「室蘭」、「釧路・根室」ともそれなりにコミュニケーションはとれたが開催までには至らなかった。

2. 平成28年の活動方針と事業計画

(1) 活動方針

- 1) 事業計画を着実に実行していく。
- 2) 地区恵迪会との連携を密にしていく。
- 3) 支部役員について若手の登用を図る。

(2) 事業計画

別紙のとおりとする。

〈第3報告〉 第14期役員選考委員会

白浜代表幹事より、9月の第14期総会に向けた役員選考委員会委員として、横山会長、藤田副会長、内藤北海道支部長、坂倉東日本支部長、植松西日本支部長、高井特別顧問、新井特別顧問、白浜代表幹事の8名の選任が提案され、異議なく承認された。

〈第4報告〉 恵迪寮同窓会の個人情報保護に関する基本方針

吉沢副代表幹事・組織委員長より、昨年7月4日の幹事三役会議で決定・運用されている「恵迪寮同窓会の個人情報

保護に関する基本方針」について、本理事会にて正式決定するよう提案され、異議なく承認された。

〈その他〉

同窓会の一般社団法人化について

皆川副代表幹事・会計委員長から別紙のメモが提出され、「一般社団法人」の税法上の概要と、税制優遇制度適用の「共益的活動目的法人」としての要件について報告・説明が行われ、一般社団法人の設立・運営の経験者である谷口事業委員長を交えて検討、継続協議することとなった。

全ての議事を完了し、横山会長の議長降壇挨拶、藤田副会長の閉会の辞を以て終了した。

了

北海道支部 平成 28 年事業計画（保存版）

月	日	行 事	総会・幹事会・その他
1 月			9 日(土)第 1 回幹事会
	30 日(土)	平成 28 年寮歌歌始めの会（氷雪の門）	30 日(土)第 15 回北海道支部総会
2 月			
3 月			
4 月			9 日(土)第 2 回幹事会（現寮交流会・観桜会）
			16 日(土)恵迪寮同窓会本部定期理事会
5 月	1 日(日)	恵迪寮円山観桜会&現寮交流会	
	14 日(土)	開拓の村旧恵迪寮舎「観花会・観桜会」	
	?	北大室蘭恵迪会寮歌祭	21 日(土)第 3 回幹事会（ゴルフ・地区恵迪会）
6 月	11 日(土)	第 11 回十勝恵迪寮歌祭（ふじもり食堂）	…十勝恵迪会は毎年 6 月第 2 土曜日開催
	19 日(日)	第 34 回親睦ゴルフ大会	
	25 日(土)	第 12 回道南恵迪寮歌祭（パークホテル）	…道南恵迪会は毎年 6 月第 3 土曜日開催
	下旬	支部ニュース（夏号）発行	25 日(土)第 4 回幹事会（夏祭り・開識社）
7 月	2 日(土)	第 13 回道北・旭川「開識社&寮歌祭」	…道北恵迪会は毎年 7 月第 1 土曜日開催
	9 日(土)	第 11 回日高・苫小牧恵迪寮歌祭	…日高恵迪会は毎年 7 月第 2 土曜日開催
	?	第 2 回釧路根室恵迪寮歌祭	
	30 日(土)	第 10 回恵迪夏祭り（サッポロビール・ライオン）	
8 月			6 日(土)第 5 回幹事会（HC 企画・開識社）
9 月			17 日(土)第 6 回幹事会（HC 企画・開識社）
	24 日(土)	北海道支部主管「大寮歌祭 in 札幌」 （北海道大学ホームカミングデー 2016）	恵迪寮同窓会本部総会・講演会 …毎年 9 月最終土曜日開催
10 月	?	第 3 回オホーツク恵迪寮歌祭	
			15 日(土)第 7 回幹事会（開識社）
	26 日(水)	第 17 回開識社講演会（札幌時計台ホール）	
11 月			
12 月			3 日(土)第 8 回幹事会（歌始めの会）
	下旬	支部ニュース（冬号）発行	
1 月			14 日(土)第 1 回幹事会
	28 日(土)	平成 29 年寮歌歌始めの会（氷雪の門）	28 日(土)第 16 回北海道支部総会

※HC：「北海道大学ホームカミングデー 2016」の略称

※「月 日」は、一部暫定的に設定しているものがあります。

平成 27 年度収支計算書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(予 算) (決 算) (対 比)

収 入 合 計 2,264,000 2,463,088 108.80%
 支 出 合 計 4,663,000 4,330,514 93.00%
 収 支 差 額 △ 2,399,000 △ 1,867,426

〈収入の部〉

科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	対 比 C = B - A	備 考
1. 会費収入				
年 度 会 費 収 入	750,000	1,079,000	329,000	351 名
運 営 支 援 資 金	360,000	385,000	25,000	189 名
終 身 会 費 収 入	0	0	0	
カ ン パ 収 入	250,000	322,714	72,714	102 名
小 計	1,360,000	1,786,714	426,714	
2. 事業収入				
恵迪グッズ販売収入	500,000	341,482	△ 158,518	
「恵 迪」販 売 収 入	0	3,000	3,000	
広 告 収 入	400,000	330,000	△ 70,000	
雑 収 入	0	0	0	
小 計	900,000	674,482	△ 225,518	
3. 利息収入	4,000	1,892	△ 2,108	
4. 前期繰越金	0	0	0	
5. 基本金取崩収入	0	0	0	
収 入 合 計	2,264,000	2,463,088	199,088	

〈支出の部〉

科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	対 比 C = B - A	備 考
1. 運営費				
事 務 局 費	789,000	796,200	7,200	事務局手当・光熱電話料・HP、ML 保守
総 会 費	0	0	0	総会資料・会場費等
会 議 費	400,000	344,641	△ 55,359	理事会・幹事会等経費
通 信 費	250,000	127,548	△ 122,452	電話代、送料
印 刷 費	50,000	22,680	△ 27,320	
組 織 強 化 費	200,000	442,153	242,153	県・ブロック恵迪会
雑 費	100,000	382,864	282,864	
小 計	1,789,000	2,116,086	327,086	
2. 事業費				
恵 迪 発 行 関 係 費	1,250,000	1,303,676	53,676	
同 窓 会 名 簿 発 行 費	0	0	0	
現 寮 関 係 費	50,000	42,342	△ 7,658	
支 部 交 付 金	524,000	524,000	0	
恵 迪 グ ッ ズ 制 作 費	1,000,000	205,369	△ 794,631	
開 拓 の 村 寮 舎 整 備 費	50,000	139,041	89,041	
記 念 事 業 費	0	0	0	
小 計	2,874,000	2,214,428	△ 659,572	
3. 予備費				
支 出 合 計	4,663,000	4,330,514	△ 332,486	

平成 28 年度収支予算書
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)
収 入 合 計 4,001,000
支 出 合 計 5,709,000
次年度繰越額 - 1,708,000

〈収入の部〉

科 目	27 年度予算 (A)	28 年度予算 (B)	対 27 年度対比 C = B - A	備 考
1. 会費収入				
年 度 会 費 収 入	750,000	1,140,000	390,000	380 名× 3,000 円
運 営 支 援 資 金	360,000	360,000	0	180 名× 2,000 円
終 身 会 費 収 入	0	0	0	
カ ン パ 収 入	250,000	300,000	50,000	
小 計	1,360,000	1,800,000	440,000	
2. 事業収入				
恵迪グッズ販売収入	500,000	1,800,000	1,300,000	
「恵 迪」販 売 収 入	0	0	0	
広 告 収 入	400,000	400,000	0	
雑 収 入	0	0	0	
小 計	900,000	2,200,000	1,300,000	
3. 利息収入	4,000	1,000	△ 3,000	
4. 前期 繰越金	0	0	0	
5. 基本金取崩収入	0		0	
収 入 合 計	2,264,000	4,001,000	1,737,000	

〈支出の部〉

科 目	27 年度予算 (A)	28 年度予算 (B)	対 27 年度対比 C = B - A	備 考
1. 運営費				
事 務 局 費	789,000	850,000	61,000	日当・クラ館支払・HP、ML 管理
総 会 費	0	0	0	
会 議 費	400,000	400,000	0	理事会・幹事会等経費
通 信 費	250,000	300,000	50,000	送料
印 刷 費	50,000	50,000	0	
組 織 強 化 費	200,000	500,000	300,000	県・ブロック恵迪会
雑 費	100,000	300,000	200,000	
小 計	1,789,000	2,400,000	611,000	
2. 事業費				
恵 迪 発 行 関 係 費	1,250,000	1,300,000	50,000	4,000 部
同 窓 会 名 簿 発 行 費	0	0	0	
現 寮 関 係 費	50,000	50,000	0	
支 部 交 付 金	524,000	559,000	35,000	
恵 迪 グ ッ ズ 制 作 費	1,000,000	1,300,000	300,000	
開拓の村両寮舎整備費	50,000	100,000	50,000	
記 念 事 業 費	0	0	0	
小 計	2,874,000	3,309,000	435,000	
3. 予備費	0	0	0	
支 出 合 計	4,663,000	5,709,000	1,046,000	

信頼された技術と人のやさしさを未来に

- ◇ コンピューターシステムの設計開発、運用保守サービス
- ◇ 情報システム構築のコンサルティング、パッケージ制作
- ◇ インターネットサーバー機能サービス、WEBコンテンツ制作
- ◇ 海外オフショア・ソフトウェア現地受託生産
- ◇ 高度管理医療機器などの販売賃貸業務

代表取締役社長 呉 敦

(昭和 58 年入寮)



株式会社 **ノーステクノロジー**

(プライバシーマーク 第 10820479 号)

本社/札幌市北区北 9 条西 3 丁目 1-1、支店/東京、中国大連
<http://www.north-t.co.jp> Tel(代) 011-707-5344



国際マネジメントシステム規格を活用して、経営の国際化を図りましょう。

北関東以北唯一の ISO 認証機関

北日本認証サービス株式会社

North Japan Certification Service Co.,Ltd.

取締役会長	谷藤 和三 (北海道大学ほっかいどう同窓会 前事務局長)
取締役社長	安彦 和之 (昭和 38 年入寮)
主任審査員	片桐 政司 (昭和 38 年入寮)

〒060-0001

北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 2 番地 1 北海道経済センター6F

TEL (011) 200-6364 FAX (011) 200-6365
www.njcs.jp

おいしく、北海道らしく。



絹 艶

き
ぬ
つ
や

焼いてふっくら。

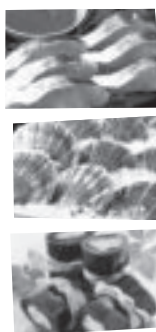


日糧製パン株式会社
<http://www.nichiryo-pan.co.jp/>

きよく、おいしく、
たくましく。

いつだって、食べるあなたを守りたい。
いつだって、作るあなたのそばにいたい。
いつまでも、あなたに元気でいてほしい。

きよく、おいしく、たくましく。
私たちは、北海道ぎょれんです。



北 海 道
ぎょれん

<http://www.gyoren.or.jp>

脳神経外科
神経内科
精神科
循環器内科
リハビリテーション科
放射線科
麻酔科

特定医療法人

柏葉脳神経外科病院

理事長・院長 金子貞男

(昭和39年入寮)

名誉理事長 柏葉 武

(昭和24年入寮)

診療時間 脳神経外科 (月)~(金)9:00~17:00 (土)9:00~12:00
神経内科 (月)~(金)9:00~12:00 (土・隔週)9:00~12:00
精神科 (火)~(木)9:00~17:00
循環器内科 (月)(火)(金)9:00~12:00 (水)13:30~17:00
(木)9:00~17:00

脳ドック(毎週火・木※完全予約制)

①13:30~ ②14:00~

予約電話:011-859-5636

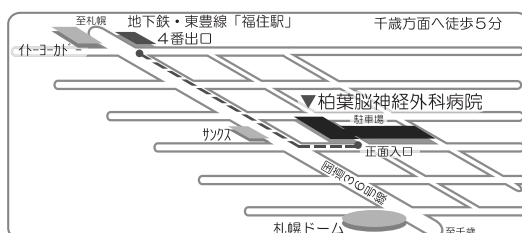
061-8513

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7番20号

TEL 011-851-2333 FAX 011-851-2131

地下鉄東豊線「福住駅」4番出口より徒歩5分

<http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp>



ありがとう恵迪寮いつまでも

おおきた内科胃腸科医院

院長: 大北健雄(昭和40年入寮)(日本東洋医学認定漢方医)

嘱託医: 大北一郎(日本消化器学会専門医)(日本内視鏡学会専門医)

診療科目: 内科一般・消化器内科・漢方科

北斗市七重浜8丁目17番1号(新幹線:新函館北斗駅より10分)

TEL (0138) 49-5720



WISM 21 ウィズム21
ムトウの医療総合支援システム

WISM 21は、21世紀の医療をトータルでサポートし、お客様のニーズと共に成長するシステムです。

病院の近代化が進むなか、取り巻く環境が厳しさを増しつつある医療施設において、**WISM21**は医療の変化に対応すべく、お客様のニーズに合わせていたいただいた医療総合支援システムです。必要な時に必要なシステムを選び、ご利用ください。

- | | | |
|----------------------|--------------------|---------|
| 医療・理化学機器の販売・アフターフォロー | 情報システムの提案・開発 | 在宅医療・福祉 |
| 最新医療情報の提供 | 経営分析・診断・改善 | 通信販売 |
| 医療機器の設置・メンテナンス・保守契約 | 資金計画・償還計画・物件調査及び建築 | 貿易 |
| 学会イベントの企画・運営 | 大型プロジェクトコンサルティング | |
| 旅行・広告代理 | SPDシステム | |

総合医療機器商社

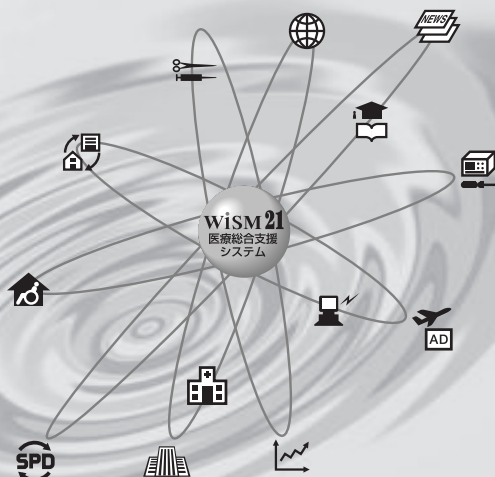
WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備
放射線機器・メディカルコンピューター・貿易業務・歯科機器
福祉機器・介護用品

札幌本社(北海道事業本部) / 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1番15号
TEL 011-746-5111
東京本社(東京事業本部) / 〒110-8681 東京都台東区入谷1丁目19番2号
TEL 03-3874-7141
名古屋支社(名古屋事業本部) / 〒465-0014 名古屋市中区上三軒2丁目1108番地
TEL 052-799-3011
大阪支社(大阪事業本部) / 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13番20号
TEL 06-6974-0550
福岡支社(福岡事業本部) / 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目29番27号
TEL 092-641-8161

支店/札幌中央・札幌西・札幌白旗・新札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見・遠紋・八雲・室蘭・苫小牧・日高・小樽・千歳・岩見沢・空知・名士・稚内・秋田・仙台・いわき・群馬・栃木・日立・水戸・茨城・熊谷・埼玉東・埼玉西・所沢・東京西・本郷・城北・城西・城南・城東・多摩・多摩西・武蔵野・練馬・和・千葉西・千葉東・鶴川・神奈川・横浜・横浜南・横浜市中区・川崎・川崎北・相模・名古屋南・伊勢志摩・北大阪・南大阪・西大阪・奈良・広島・鳥取・小倉・飯塚・筑豊・大川・久留米・佐賀・大牟田・唐津

営業所/青森・島根
出張所/鹿島



<http://www.wism-mutoh.co.jp/>

おすすめ

北大GOODS!
記念品にも最適です

ポスラの
黒板消しストラップ



スノークリスタル&
テディーベアグッズ



北海道大学オリジナル
キャンパスバッグ

エンレイ草ノート A4



クリアファイル
2枚セット

他にも素敵な
北大オリジナルグッズがいっぱい

お求めは生協会館 1F・中央購買・エルムの森店にて!



株式会社 **エルムプロジェクト**

〒060-0808

札幌市北区北8条西7丁目 北大生協会館 2階

TEL: 011-708-0388 FAX: 011-708-0389 E-Mail: hokudai-shop@coop.hokudai.ac.jp

エルムプロジェクトは
北海道大学と共に大学グッズを企画しています。

北大グッズ受注センター ☎ **0120-0656-38**



北海道
札幌 キタリッシュ
奇塔里旭
SAPPORO KITARISSYU

代表取締役社長

荒木 隆夫

台灣勝利方舟有限公司

台湾：高雄市苓雅區青年一路6之3號

TEL：07-3310239

Mobile：0970-321378 +81(0)8041500961

E-mail：araki@wins-ark.com

Web：http://www.sapporokitarch.com.tw/bin/home.php

TAIPEIのバスの広告
(私が出ています。)



代表取締役

荒木 隆夫

株式会社ウィンズ・アーク

〒348-0032 埼玉県羽生市大字秀安407

TEL：048-563-0691

FAX：048-563-0692

Mobile：080-4150-0961

E-mail：araki@wins-ark.com

bba195493@gmail.com

これが、
北海道の
ビール。

この地の気候や、
食材に合わせて、つくったビールは、
北海道で飲むと、格別にうまい。



※2001年から2015年まで、15年連続売上前年比100%超えを達成。(当社調べ)



★ 乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO

ONLY
サッポロクラシック 北海道!

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
のんだあとはリサイクル。



www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

ふるさとのために、何ができるだろう?

★ 北海道はサッポロビール

人がつくる。人でつくる。

ここで過ごす人々の姿を、
ここからはじまるしあわせをイメージしながら。

アイデアでつくろう。情熱でつくろう。
さまざまな人の想いをつないでつくろう。

アタマとココロを使って
人間にしかできないものづくりを目指して。

人がつくる。人でつくる。
それが戸田建設のやりかたです。

 戸田建設



ISO 9001・14001 認証取得

札幌支店 〒060-8535 札幌市中央区北3条東2丁目2番地 ☎011-231-9211 www.toda.co.jp

東京基準より北海道基準、北の夢。

 ふらう

代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ふらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL : 011-219-2223 FAX : 011-219-2885

大塚製薬のエクオール含有食品

エクエル EQUELLE

1日4粒目安
エクオール10mg含有



112粒(1日4粒目安・28日分)

メーカー希望小売価格:4,000円(税込価格 4,320円)

特定のクリニック・調剤薬局にてお買い求め頂けます。

販売店は「<http://www.otsuka.co.jp/eq/shop/>」にてご確認ください。

※大豆アレルギーのある方はご注意ください。



女性ホルモンの減少による、ちょっとした体の変化。そんなゆらぎを感じはじめたら、エクオール含有食品のエクエルです。

製品に関する
お問い合わせ先

大塚製薬株式会社 0120-004-890

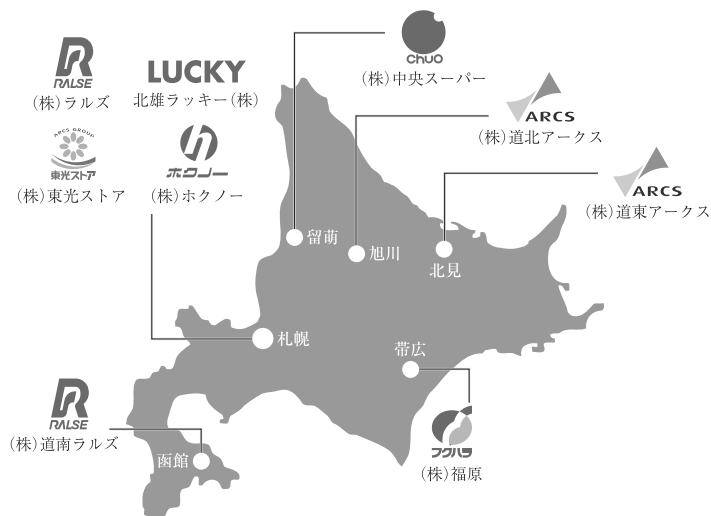
受付時間 9:00~20:00
(年中無休) ※1月1日~3日は除く

エクエル

検索

<http://op1.info/eq-kk1602>

北海道CGCは地域の皆様の健康で心豊かな毎日に貢献する
スーパーマーケットのグループです。



株式会社北海道シジシー

代表取締役社長

横山

清

2016 年は、北大創基 140 年！ アニバーサリー・イヤーを祝うプレ企画として 幻の名著『青春の北大恵迪寮』を特別販売



平成 3 年に刊行された本著は、恵迪寮の百十有余年の歩みが豊富な写真と資料、そして格調高い文章で綴られた名著です。

発刊から四半世紀、北大創基 140 年を記念して貴重な保存在庫 300 部を特別販売します。この機会をお見逃しなく。



今回の特別企画として、絵葉書 2 種「北大恵迪寮歌と北の花」と
「北大恵迪寮歌と構内風景」を添えて……

記念価格 1,500 円(送料込み)で頒布します。
購入申し込みは、会誌に同封された振込み用紙に記入・入金願います。

☆お問合せは、恵迪寮同窓会事務局まで。

***** 編集後記 *****

「天災は忘れた頃にやってくる」。寺田寅彦博士の格言ですが、5年前の東日本大震災が脳裏から消えない中、今度は震度7の強靱な地震が熊本を襲いました。熊本と言えば、旧制第五高等学校（現・熊本大学）の寮歌「武夫原頭に草萌えて」がつとに知られ、本学の「都ぞ弥生」と同様入学式や卒業式、同窓会などで高唱されています。今回の地震では旧制五高のシンボル、国指定文化財・赤レンガ本館跡「五高記念館」や化学実験場の煙突が倒壊するなど大きな被害に遭いました。この場をお借りして、被災者の皆様の一日も早い復興をお祈りします。

話は変わりますが、最近、担当役員の努力で同窓会に入会する20代の後輩や定年を迎えた60代の仲間が増えています。その一人から会誌の有り様について「先輩方の恵迪寮や寮歌に対する熱い思いは理解できますが、今の内容では若い人が魅力を感じないと思います」と耳の痛い話を聞きました。彼は寮の委員長も務め、卒寮後も、同窓会のイベントにも積極的に参加するなど頼もしい存在だけに、「価値観の相違」と決めつけるわけにもいきません。

確かに、この十数年、「恵迪寮百年記念」や「都ぞ弥生」誕生100年記念特集など寮歌史や寮時代の回顧的な原稿が中心で、執筆者の平均年齢も60～70代と高齢化が目立ちます。小説もスマホで読み、活字文化からますます遠ざかる世代から見れば、当然かもしれません。

しかし、若い人が入会してくるということは未来への希望です。同窓会員のさらなる若返りとともに、若手会員の声を聞きながら六十数歳に及ぶ年齢差のギャップをどう埋めていくか、これからの課題と思います。

「恵迪」編集長 大隈 昭二（S40年入寮）

【編集委員】 高井 宗宏（S31年入寮） 佐藤 市雄（S38年入寮）
 氏平 増之（S38年入寮） 内藤 春彦（S40年入寮）
 白浜 憲一（S40年入寮） 八重樫幸一（S41年入寮）
 岩本 栄一（S44年入寮） 吉澤 武治（S47年入寮）
 吉成 久和（S49年入寮）

会誌「恵迪」第16号 2016年7月

発行 恵迪寮同窓会

〒060-0808 札幌市北区北8条西8丁目

北海道大学クラーク会館3F

TEL & FAX 011-706-3276

E-mail（メールアドレス）

info@keiteki-ob.jp

同窓会ホームページ

<http://www.keiteki-ob.jp/>

発行者

恵迪寮同窓会会長

横山 清

印刷・製本 株式会社アイワード

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5-91

TEL 011-241-9341

FAX 011-207-6178

さまざまな想いがつまった本づくりは
実績豊かなアイワードにおまかせください

自費出版

自分史やエッセイ集、画集や写真集・作品集など自費出版から
記念誌、研究論文、報告書、出版物、辞書・事典まで

本づくり

原稿作成、リライト、工程、撮影、費用…、どんなことでもご相談ください。創業以来
40年以上にわたり蓄積してきた本づくりのノウハウと最新技術でお手伝いします。
お気軽にご連絡ください。詳しくはアイワードホームページでもご覧いただけます。



ホームページ

[http://www.](http://www.iword.co.jp)

iword.
co.jp



新時代の〈企画・情報処理・印刷〉企業

株式会社アイワード

本社：〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5-91

TEL(011)241-9341 FAX(011)207-6178

東京営業部：〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階

TEL(03)3239-3939 FAX(03)3239-3945



個人情報保護の
マネジメントシステム
プライバシーマーク
2005.9.6 認証取得



障がい者就労支援マーク
北海道が制定し、障がい
者の就労支援企業である
ことを示します。



ハートフルマーク
全国重度障害者雇用事業所
協会が制定した会員事業所
共通のシンボルマークです。

豊かな大地に輝く懸け橋



株式会社 道北アークス



株式会社 道南ラルズ



株式会社 ベルジョイス



株式会社 ラルス



株式会社 ユニバース



株式会社 福原



株式会社 東光ストア



北海道・東北地方に広がる341店舗

ARCS アークスグループ

株式会社アークス 代表取締役社長 横山 清
札幌市中央区南13条西11丁目2番32号 TEL.011-530-1000



株式会社 道東アークス

〈関連会社〉 株式会社エルディ
〈関連事業〉 ホテル福原
アークストラベル